

## 月 26 日(木)曇・12 度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019 年 12 月 26 日(木)06 時 41 分 0 秒

2019 年は、もうじきお終いです。  
今年 は 6 回 目 の 年 男 で し た 。  
一 年 、 お 世 話 に な り ま し た 。

年 末 登 山 は 、 中 ア ・ 空 木 岳 池 山 尾 根 で す 。  
本 年 の 登 山 回 数 は 、 4 9 回 で し た 。 印 象 的 の 山 は 、

1. 7 月 = 幌 尻 岳 周 遊  
<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-161.pdf>
2. 4 月 = 越 後 駒 ヶ 岳  
<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-119.pdf>
3. 10 月 = 赤 岳 日 帰 り  
<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-188.pdf>
4. 8 月 = 一 連 の 西 丹 沢 バ リ エ ー シ ョ ン  
<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-175.pdf>

ほ か 、 伊 豆 八 十 八 札 所 巡 礼 、 伊 豆 ジ オ パ ー ク 一 周 ウ ォ ー キ ン グ も 楽 し み  
頑 張 り ま し た 。

皆 様 に お か れ て は 、 よ い お 年 を お 迎 え 下 さ い 。  
ま た 、 2 0 2 0 年 も よ ろ し く お 願 い い た し ま す 。





<http://>

## 12月24日(水)晴・11度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月24日(火)05時21分12秒

つづき

植樹は10本。実生から育てたもの。下界で育てたが、結構、大きくなる。16年で大きいのは1本のみ。多くは盆栽のような感じ。何故かは不明。

しかし、16年で確かに大きくはなっている。ま、50年でも余り大きくなれないというから、こんなものかも知れない。大きくなるのは時間が掛かる。枯れるのは早い。

杭も傷んだものがあった。斜めになったものもある。ロープも弛んでいた。全て直し完了。あまりに寒いので、早めに下山。下の展望台で昼食にした。

富士山の雲が取れてきた。時間があったので温泉に入り、午後からソバを打って忘年会を行った。ソバは美味しかった。





## 12月23日(月)晴・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月23日(月)06時18分24秒

土曜日は

越前岳・ブナ植樹地で整備でした。コースは、十里木～越前往復。  
天気は、ガス～晴れ。参加は7名。

久しぶりに十里木から越前上る。最初の階段の高さが大きく大変。  
展望台から上の登山道は、荒れに荒れている。大昔の本来の登山道は  
とっくに廃道で、好き勝手な道が、あちらこちらに走っている。

典型的なオーバーユースの山。その証拠に登山者が多いこと多いこと。  
一時間半で頂上着。ガスのうえ風が強く、モーレツに寒い。植樹地整備は  
ブナ観察班、ロープ・杭整備班と分かれ作業。

ブナ植樹地は、2003年からだから今年で16年になる。何故、ブナ  
植樹なのかは、以前も書いたが、かつて50年前、越前岳はブナ巨木が  
林立し展望が悪かった。ところがその後、ブナは枯死し全て消滅した。  
ブナ植樹は、それを復活させようとした事業だった。

つづく







## 12月20日(金)曇・13度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月20日(金)06時37分55秒

つづき

上り下りが多い道を進む。

頂稜部は快適だったが、北面に下った沢筋は、昨夜の雨が残りグジャグジャだった。

南谷川浜分岐辺りは、奇妙な風化した「さざれ石(岩)」が見られた。

・・・さざれ石は、もともと小さな石の意味であるが、長い年月をかけて小石の欠片の隙間を炭酸カルシウム(CaCO<sub>3</sub>)や水酸化鉄が埋めることによって、

1つの大きな岩の塊に変化した「石灰質角礫岩」・・・ネット

大きな洞穴があった。穴には時としてハチの巣が下がっている場合があるが、今回はなかった。ここは風が強すぎるかも知れない。下りきると北谷川浜分岐。海からモーレツな風が吹く。

しかし、この辺りは美しい所だった。沢筋に大きなハンノキ(?)が梢を揺らしていた。急登が終わると林道に出た。ここから先がない、この林道はどのような目的で作られたものか。

林道を30分ほどで妻良に到着。今回はこれで終了。午後は松崎「まつざき荘」で昼食を兼ねた忘年会。先週より「イイ」の感想の海鮮丼をいただき、温泉に入り、カラオケを楽しんだ。

今年のウォーキングも無事に終わって良かった。





## 12月19日(木)時雨・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月19日(木)06時45分12秒

昨日は

12月・伊豆ウオークでした。  
コースは、吉田～南伊豆歩道～妻良。午後から「まつぎき荘」で忘年会。天気は晴れ、暖風強。参加は15名。

前々回、アクシデントで歩けなかった、吉田～妻良間を歩く。吉田集落に入り、トイレを済ませ白鳥神社に向かう。ここで大ビヤクシンを見学。

ビヤクシンは、樹齢800年のしろもの。海岸のすぐ近くだがいままで津波などの影響を受けなかったのだろうか??。バスで歩道入口に移動。途中、前回世話になった、吉田亭の主人がいた。

陽だまりで、老婆が二人日向ぼっこ。ここの集落では情報はすべて「筒抜けだろうね」の話題。歩道に入る。Sさんは、前々回終了時、杖をデポしてあった。今回もそれを使った。しっかりしている。

最初は岩交じりのグズグズ・ヌルヌルの道。台風の被害が少し。上りきると乾いた道。海風が強い。ただ、暖風で辛くはない。歩道に鮮明な足跡。最初、人間かと思ったが、よく観察したらどうやら、イノシシか何かの跡だった。



つづく



## 12月18日(水)晴・15度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2019年12月18日(水)04時54分25秒

このところ暖かい

昨日、年賀状約100枚を投函した。  
今年は早かった。

毎年、25日過ぎで汲々としていたが余裕だった。  
大掃除も終わり、残すはあと二つ三つ。

六回目の年男は、もうじき終わる。  
来年は、心機一転ですね。







[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 12月17日(火)雨・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月17日(火)06時49分8秒

先週末は

久しぶりに登山はなしで大掃除だった。  
食品庫を大掃除だったが、20年前の手紙が大量に出てきた。  
読んでいるとキリがなかった。

20年前にタイムスリップした感じだった。  
当時はまだSNSなど盛んでなかったなので、手紙が多かったようだ。  
この日記も電子的なものだが、やっぱり「紙」はいいものだ。

午後は、沼津・角池まで散歩した。  
角池は勤務地だった所の近くだが、素晴らしい所です。





## 12月16日(月)晴・12度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月16日(月)06時11分13秒

鈴木さま

投稿、有難うございます。

・・・峠を下り河津着。予定は、三十四番・三養院までだったが、午後から結願 祝いと忘年会があるので終了。バスで今井浜の「舟戸の番屋」に向かった。番屋の露天風呂は素晴らしかった。

昼食は「サザエ丼」だった。

しかし、実際は「サザエ(だったかもしれない)丼」で、ゴムの様な「乾きものサザエ」でガッカリした。



温泉が素晴らしかっただけに残念だった。  
このようなワースト記憶は何故かいつまでも、語り継がれるものですね～。  
(笑い) . . .

#### 昨日のその他

1. 久しぶりに、土日登山なし。
2. 家の片づけ。食品庫スッキリ。大量のゴミ。20年前の資料・手紙多数。
3. 山の会例会あり。







## 河津の海鮮丼

[返信・引用](#)

投稿者:鈴木@下田市 投稿日:2019年12月15日(日)23時33分36秒

> [No. 3773\[元記事へ\]](#)

> 「まつぎ荘」で海鮮丼の昼食。海鮮丼は、案外よかった。今年の河津の「さざえ丼」は、酷かったと、しばし話題。

お疲れ様です。

河津の酷い海鮮丼は、どこのお店ですか？  
河津駅の近く？

---

## 12月13日(金)時雨・11度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月13日(金)06時44分59秒

まつぎ荘で

皆さんに「今年の一文字」を披露してもらった。集まったのは、

基（基本）、続（継続）、光奏（音楽活動）、結（数々の結願）  
巡（巡礼万歳）、仏（フランス）、活（活動）、遊（遊んだ）  
痛（腰痛）、元（復元）、一（いち）、空（くう）、嵐（台風で）  
始（巡礼の始め）、忘。だった。

これを一つの文章にした。

基 (G) が光り (K) 続ける (W) 仏 (S) の道を  
遊び (O) 始め (W) 活かす (O)  
元々 (W) の空 (S) が一番 (S) で痛い (M)  
嵐 (N) が巡ったが (N)  
忘れず (M) 奏で (T) 結んだ (M)

気になったこと

1. 美宇ちゃんが、気の毒だったね。
2. 長男を殺害した事務次官が気の毒だった。





[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 12月12日(木)晴・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月12日(木)08時25分49秒

昨日は

12月度・伊豆巡礼でした。

コースはm、51番・龍雲寺～50番・玄通寺～65番・最福寺。

天気=晴れ、参加=16名。午後から、松崎「まつぎき荘」で昼食会。

51番・龍雲寺前から寺に上りお勤め。ここは無住職。下って林道をたどり、八声トンネルから「たけのこ村」に向かう。村でトイレを借りる。

下れば、50番・玄通寺。ここも無住職。さらに下って、65番・最福寺。ここも無住職。南伊豆は、無住職が多い。これは今後も続く。

午後から、松崎・まつぎき荘で昼食会なので終了。松崎に向かう。

「まつぎき荘」で海鮮丼の昼食。海鮮丼は、案外よかった。昨年の河津の「さざえ丼」は、酷かったと、しばし話題。

カラオケを少し敢行し温泉。ほろよいで昼間の温泉は気持ちよかった。

15時終了。バスで三島に帰る。時間が早く、西海岸の夕日が見れなくて残念でした。

気になったこと

1. 「まつぎき荘」は、仲居さんがパートで14時までしかいない。片づけが早くて、落ち着かなかった。



2. 下田から松崎に行くに、海岸線か峠越かで検討。結局、バサラ峠にした。
3. 「まつぎ荘」で、引率者割引はなくなった。



## 12月10日(火)曇・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月10日(火)06時22分25秒

つづき

観察木 NO. 1 「まりこ」の結実は、△だった。  
結実度観察判定は、

○=豊作・沢山付いている。沢山落ちている  
△=普通・まあまあ。多くもなし、少なくもない  
?=不作・全くない。ほとんどない

で行っている。

落ち葉を掘り返して、実生を捜すが、汚れているのは、去年のものの可能性があるから、気を付けなければならない。

今回は、そもそも観察時期が遅すぎた。  
理想は、枝に実生が付いているのを観察することだ。  
NO. 2、NO. 3、と観察するが全体的に「豊作」だった。

割石沢を上り詰めて割石峠を經由して呼子岳に立った。  
NO. 4「ひでこ」の観察木がある。  
呼子岳は切り立った峰で自然条件は厳しい。

最上部の枝が少し欠損しているが元気だった。  
再び割石峠に戻り、鋸岳に向かった。

つづく







## 12月9日(月)曇・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月9日(月)06時28分45秒

昨日は、

愛鷹連峰で、ブナ観察でした。

コースは、山神社～大沢～割石峠～呼子岳～鋸岳～位牌岳～前岳～大沢～山神社。天気＝無風快晴、単純標高差＝707m（ただ長い）、参加＝3名。

延び延びになっていた、ブナ観察を実施。この事業は2000年から続いている。

愛鷹連峰のブナを春は、活力度、秋は結実度を観察する。

20年前、丹沢・伊豆・愛鷹のブナ枯死が問題になった。

枯死原因は、酸性雨・ブナ虫・排気ガス（東名道路）・登山者過剰利用などなどだが、ハッキリはしない。私が登山を始めた50年前、越前岳はブナ巨木が林立し展望・見晴らしが良くない頂上だった。

しかしその後、上記の理由なので、巨木は見事に枯死し、丸坊主の展望の良い頂に変わった。（その後、当会で頂上西のガレ場にブナ植樹を行い、現在、順調に育っている）

山の変化は、すなわち下界の変化と同じ。人間社会に大きな影響がある。では、調査をしましょうで、19年前から観察・調査が始まった。

山神社から出発。天気は良く非常に寒い。（割石沢では氷が見られた）日曜日で登山者が多かった。この時期、珍しく水流がある大沢を渡り割石沢下部を詰める。ここにNO.1 観測木＝愛称「まりこ」がある。

愛称は、参加者のIくんの愛娘さんの名前から、今回いただいた。大きなブナで、樹高は約20m、目通は約70cm。さっそく落ち葉を掘り返し実生をさがした。

つづく







## 12月6日(金)曇・13度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月6日(金)06時43分2秒

昨日は

所用があって、新座市でした。

電車は、東京～京浜東北線（南浦和駅）～武蔵野線（新座駅）で、約3時間掛かりました。

車の場合は、厚木～圏央道～鶴ヶ島～関越（新潟方面でなく東京方面に行く）

～所沢 IC～新座市。

交代運転手がいれば、車のが楽なようです。

平日の午前の遅い時間でしたので、全て座って移動が出来ました。

市内に入ると、ウオーカーがゾロゾロ。調べてみたら、国指定天然記念物の

「平林寺境内林」があって、今、紅葉が見事とのことでした。  
広大な敷地の境内で、昔の武蔵野を感じさせるものでした。

時間があれば、ゆっくりしたいところでしたが、ゆっくりできず残念でした。







[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 12月5日(木)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月5日(木)06時24分25秒

今年は

いつになく、年賀状の準備が進んでいる。  
毎年、25日ごろ、ガタガタするのに・・・。

今週中にも、100枚終わる。  
ところが、今頃になって、訃報が2枚届いた。

しかし、2枚とも既に書いてしまった。  
一人の方は、5月に亡くなったというが、う～ん、  
もう少し早く連絡をいただきかった。

今年は、一番に投函します！！。((´▽`))





## 12月4日(水)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月4日(水)06時39分27秒

つづき

宝永山南斜面を大横断する。  
ここからの富士山東面は雄大だった。  
北に山中湖、先日上った御正体山、その左が割石山。

御正体の右は大室山、そこから大きなくびれが犬越路。  
上れば檜洞丸。更に右に蛭ヶ岳、丹沢山と続き、最後の右端は大山だった。

天気は良く風はなく暖かい。雲の下が平行で連なっている。このような雲は気圧が安定し好天気が続く。  
上塚コルに達した。「どうしますか??(上塚に上るかどうか)」と聞かれたが、上らない手はない。簡単に上れた。ただ、皆が頂上下で待っていた。最高齢者の私に先に行ってくれという。「・・・・・・・・。」

写真を撮りすぐ下る。しかし、腹が減りすぎた。下塚のコルで昼食。ビアと熱燗が美味い。提供したダイコンとタマゴ焼きがいい。歩荷をしたHさんは、食欲がなかった。疲れすぎたか??ラーメンも完食できなかった。

コルから下る。雪が「キュッキュッキュ」と気持ちよい。先ほどの宝永の横断の悪雪とは違う。理由はあった。斜面の向きが違うのだ。宝永は南斜面、下塚は北斜面。雪の「締り」が違う。スキーもそうだが、南斜面はスキーにならないが、北斜面は快適なスキーが出来る。同じことだ。

富士山をバックにいい写真が撮れた。山・雪・登山者・雲・影・・・。  
素晴らしい景色だった。ガンガン下って洞門着。S山の会の二人がいて声を掛けられた。一番に来て上塚に上ったといった。今回ははからずも、今期初雪山でしたが、イイ山でした。

PS 写真家の白籟史郎氏が11月30日亡くなったという。86歳。  
講演は一度聞いた。豪快な感じの方だった。合掌。





## 12月3日(火)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月3日(火)06時02分44秒

### つづき

幕岩沢・左岸（向かって右）を上る。かなり急だった。  
ここでHさんが、Kの約13kgの荷物を背負う。「体験歩荷（ぼっか）」だ。

人間の体は、（荷物で）楽をしていると、それを覚えてしまう。だから、比較的軽い登山でも、ある程度の荷物を背負って体に負荷を掛けないと、本番の山で通用しなくなる。それを「歩荷訓練」と呼ぶ。

ハイキング志向の方は、とにかく軽い荷物で参加するので、重たい荷物で上るのはかなりの負担になる。コースは、幕岩から幕岩の上で沢を渡り、西に向かい宝永山・南尾根（仮称）の標高点・1913mまで、標高差＝約300m（約1H）を上る。

Hさんは、もともと強い方で、標高差約300mを頑張って上り切った。ただ、相当疲れたようで、その後の昼食で食物が喉を通らなかった。

・標高点1913mから更に南尾根を上り、東に大きく横断し、ニツ塚・上塚（1929m）を目指す。「塚」というのは、富士山用語で、「寄生火山」を指す。富士山には、いたるところに「塚」が存在する。

トップは、若手のI君に変わった。若いだけに速い。モタモタしていたら、置いて行かれた。雪がグズグズで歩き難い。しかし、後で分かるが上塚の下りは非常にいい雪で歩きやすかった。皆さん、何故だか分かりますか?? これは「山の基本」です。

### つづく







## 12月2日(月)曇・13度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年12月2日(月)06時22分43秒

土曜日は

富士山でした。コースは、洞門～幕岩～宝永山南尾根・1913m～南尾根約2050m～トラバース～上塚～洞門。単純標高差＝750m（ただし長い）、天気＝晴れ・風なし、参加＝5名。

前々日、富士山は大雪。愛鷹でブナ観察予定だったが、富士山に変更。周遊道は樹木の雪が綺麗だった。（樹氷ではない）洞門から出発準備。ここでトラブル。Iの冬山用プラブーツが「崩壊」した。

「経年劣化」だった。革靴はこのようなことはないが、プラとビブラムを接着した靴は、しばしばある。かれこれ、20年近くなるから無理もないかも。靴を二足持ってきて良かった。

サクサクと上る。半年ぶりの雪。やっぱり雪はサイコー!!! 真っ白な富士山が見事。二合目から幕岩を目指す。結構長い。幕岩沢（仮称）左岸を上る。急な上りだった。

つづく







[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 11月29日(金)晴・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月29日(金)06時58分27秒

今朝は、冷え込んだ。  
庭の寒暖計は7度だった。

雨でモミジが落ちて、庭が「京都状態(??!!)」  
になった。

雨と寒さで富士山が素晴らしい。  
明日は富士山か??





## 11月28日(木)曇・15度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月28日(木)05時48分0秒

昨日は

11月度・伊豆ウオークでした。コースは、妻良～子浦～日和山～R136～伊浜～海岸道～波勝崎分岐～R136。参加～13名、天気＝小雨～曇り、距離＝15km。

決行か中止か悩ましい天気だった。先週の日曜日も判断が難しかったが、今回はそれ以上だった。ただ予報は、雨は朝方だけで後は曇り。これを信じて決行したが、結果は良かった。



計画は、吉田～妻良～子浦だったが、吉田～妻良は昨夜からの雨で足場が悪いので計画変更し妻良から出発。小雨がパラついていて、R136を進む。子浦は漁港を歩き、日和山遊歩道に入る。

少し上ると三十三観音が祀ってあった。数えたら三十四あったが、間違えたかな??ぐんぐん上り展望台。雨は止み、、海・山が展望できた。三角点があるはずだが見つからなかった。

R136を歩き伊浜入り口でバスに乗り、伊浜に降りて昼食。食事はバスの中でいただいた。午後は、再び伊浜入り口に戻り歩く。伊豆札所・普照寺前を通過し海岸道に行く。上り切れば波勝崎分岐。

ここからR136までの上りが厳しかった。ルートは、高通山の上るなら採用できるが、上らない場合は、伊浜から直にR136を目指したほうが良い。車道は大回りなので、効率が悪い。

喚声台で「大声で叫び」、無事R136着。天気はイマイチでしたが、充実した  
ウォークでした。





## 11月27日(水)曇・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月26日(火)16時09分24秒

つづき

紛失したスマホはロープウェイの上駅にあった。  
では、どのように回収するか。

1. 上駅に取りに行く . . . . . 面倒
2. 着払いで送ってもらう . . . . . 時間が掛かる
3. 下駅に送って貰い取りに行く . . . . . 現実的

結局、下駅に届けてもらい取りに行くで決定。  
ただ、下山口からロープウェイ駅はバスで往復30分掛かる。

[返信・引用](#)

[編集済](#)



帰着が遅くなるし、皆に迷惑を掛けられない。それは避けたい。

Sさんと私が皆より先行して取りに行くことになった。久しぶりに山道を走った。岩道でなく、フカフカ道で助かった。気温が高かったので大汗をかいた。バスドライバーの携帯を聞こうと思って該当者に電話したが中々出ない。これは基本的でない。

長とろ橋に着くとドライバーが丁度いた。すぐ出発。駅まで結構あった。スマホは無事回収。なんか手馴れている感じ。紛失物が多いのか?? バスで戻ると、皆も下山しトイレだった。先行して正解だった。

復路のバス反省会で意外な話を聞いた。実は紛失したスマホを同会の仲間が拾って駅に届けたという!!! えええ~だったが、無くしたSさんは落とした意識が無かったので分からなかったのだ。ま、よくあることかも。

バスは混雑もなく、いただいたワインとビアを楽しみ、おおむね予定通り帰着。楽しい一日でした。

- 追伸
1. 下山時、Sさんに黄葉の「ダンコウバイ（壇香梅）」を教えて貰った。
  2. 私は2万5千円、持参せず基本を外した。
  2. 日記は、26日に書きました。





## 11月26日(火)晴・16度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月26日(火)06時22分28秒

つづき

白砂山は花崗岩の白ザレだった。北に先ほど上った、羅漢寺山が大きかった。左に茶屋も見えた。山名だが、昇仙峡に同名の寺がある。「羅漢」とは・・・

羅漢の意味(羅漢とは)羅漢とは、悟りを開いた高僧のことです。サンスクリットのアルハンの音訳を阿羅漢として、それを略称にしたものが羅漢です。

釈迦の直弟子のうちでも位の高いものは阿羅漢で、弟子の中でも



最高の階位としていました。

羅漢とは、煩惱をすべてなくした人のことで、小乗の悟りを得た聖者のことをいいます。また、大乘仏教では、小乗の修行者という意味で否定的に使うこともあります・・・ネット

往路のバスで「羅漢」の意味を説明したが、うろ覚えで、ひどい説明をしてしまった。(´;ω;`)格好のビューポイントで全員で記念撮影。いいものが撮れた。

下山は案外長かった。「白砂」に寄った。ここも白ザレの展望台だった。日向八丁の日向山に似ている。ポイントから下って事件。S山の会のSさんがスマホを落としたことが発覚。「ザックの何処かにあるのでは」でTさんがSさんのNOに発信。

すると間髪を入れず返信があった。ロープウェイ駅からだった。最初、何故返信があったか分からなかったが、駅で着信に返信しただけのことだった。実はこの話、帰りのバスの中で、意外なことが判明した・・・。

つづく





## 11月25日(月)曇・18度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月25日(月)06時59分8秒

昨日は

静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック交流ハイクで、山梨・昇仙峡  
羅漢寺山（弥三郎岳・1058m）でした。天気＝晴れ、参加47名。

10:25、金桜神社下から出発。神社前道路を進むが、この道は間違い。  
戻り本来の道を進む。台風崩れのLが抜けて、蒸し暑かった。紅葉は  
まあまあ。

車道を30分進むと砂利道になったが、最後まで登山道にならなかった。  
鳥居が見えると、パノラマ台だった。ロープウェイで来た観光客が多い。  
和合権現の御神木があった。覗くと「例のモノ」だった。

会の4名で山頂に向かう。トップだった。花崗岩の登山道が続く。  
山頂はいい展望だった。花崗岩の大きな岩をくり抜いて、三角点が  
埋め込んであった。茅ヶ岳が大きい。南アは雲が掛かっていた。

12:30全員集合だが揃わない。その間、缶ビアをやった。  
サービスが良い店で、キノコのつまみを出してくれた。美味しかった。

12:45、下山開始。コースが分かりにくい。100mほど下り  
白砂山に登り返す。簡単に頂上着。北に羅漢寺山が大きかった。



つづく



## 11月12日(金)曇・14度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2019年11月22日(金)06時19分6秒

昨日は

白菜を干した。

漬物のためだ。

いよいよ、冬が来た感じですね。

白菜はキレイで美しい!!!







[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 11月21日(木)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月21日(木)06時26分30秒

昨日は

畑の白菜を初収穫した。  
種を蒔いたのは、9月3日。  
日にちが正確にわかるのは、2008年から「畑日記」をつけているから。いわば、畑の備忘録。

白菜は、早生・中生・晩生がある。  
みんな同じでは面白くないから、早生・晩生を蒔くとよい。

白菜の種は、1ミリ程度。かなり小さい。  
あんな種から、あんなに大きくなるのは、信じられない。

今年は、畑に直に蒔いた。昨年まであらかじめポットに蒔いて移植したが、面倒なうえポットから出す際、土が崩れたりトラブルが多かった。

直蒔きは、その点が改善された。  
ただ、夏野菜が残っていると出来ないのである程度、畑に余裕が必要。

種を蒔いて約3ヶ月。重さは不要な部分を除いて、約2kgあった。

白菜は冬欠かせない。美味しくて有難いですね。





## 11月19日(火)曇・19度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月19日(火)05時18分56秒

つづき

私は笹やぶを避けてグングン上った。  
今回の山行で話題が「基本」だった。ボクサーの井上尚也が  
スランプに陥った時、再確認したのが「基本」だった。  
天才ボクサーにしても「基本」が全てなのだ。

登山の「基本」は何か。様々なシーンがある。  
超急登で藪漕ぎは辛い。ここでの基本は、「まず、藪がない・薄い  
ルートを探し上る」ことだ。

半端でないバリエーションで無理に藪に突っ込むことはない。  
出来るだけ楽に上ることを選択すべきだ。

標高約1450mで一息つく。傾斜はやや落ちた。同時にここは  
下山のポイントだった。下山は左に派生する尾根を下る。しかし、  
地図のイメージと違い急峻な尾根が伸びていた。

これでは無理が出来ない。下山は一般道を選択した。これも当然の  
「基本」で、上るとき下山ルートを確認する。当たり前のことである。

ひと上りで一般道に出た。すぐ上が頂上だった。御正体山は本当に  
久しぶりだった。子犬を連れた先客が一人いた。ベンチで昼食。  
頂上は樹木が多く、富士山は見えない。寒からず暑からずの頂だった。

一般道の下山は快適。何人か上って来る。午後の日差しに紅葉が見事。  
別荘地を通過し、今朝の御正橋着。前述通り、借りた駐車場の建物は  
パン工房で、辺りにイイ匂いを漂わせていた。仲間がお礼がてら、食  
パンを一斤購入した。出来立てで熱々だった。

おわり





## 11月18日(月)雨・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月18日(月)06時46分35秒

土曜日は

西丹沢・御正体山（日本二百名山・1681m・一等三角点）東尾根でした。

コースは、御正沢～東尾根～御正体山～一般道～御正沢。天気は快晴。標高差＝881m。参加＝5名。

久しぶりのバリエーション。山中湖から山伏峠を越えて、白井平着。御正沢・御正橋反対の広場に駐車。主に許可をお願いします。快諾だった。この建物、新しく瀟洒な建物だったが、下山して判明したのは、何と「パン工場」だった。

御正沢のひとつ上の沢の左岸から取り付く。入り口は墓地だった。集落の犬が朝のしじまを破る。最初は杉の植林地。枝打ちの残骸がはびこり歩きにくい。

上に送電線の鉄塔があった。ここから自然林が広がり、紅葉が素晴らしい。標高点・1116mまで程よい上りだった。

標高点上の標高1150mから本格的な上りとなる。頂上まで約500mが超厳しい上りだった。更に笹やぶが進路を妨げる。この笹だが、竹なのか笹なのかハッキリしない。

文献等では、節に「さや」が残っているのが笹、孟宗竹のように無いのが竹という。ここのは笹のようだった。私は笹を避けて、左手の藪がない斜面を快適に上ったが、他は笹に突入。急斜面で背丈ほどの藪漕ぎは厳しい。したがって大分遅れた。

つづく





## 11月15日(金)晴・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月15日(金)06時45分50秒

13日、つづき

バスで昨日の最終地に移動。道がやや狭かったが、地元の方がガイドしてくれた。

大日峠に向かって二日目が始まった。今日も好天。沢沿いに上っていく。台風の影響は少なかった。

皆さんは山道で嬉々としていた。やっぱり自然の道はいい。沢は静岡では見られない、「板状節理(ばんじょうせつり)」が続いた。沢を離れて大日峠に着いた。お地蔵さまが二体あった。



Mさんが地蔵のうんちくを披露。左は昭和年代、  
右は明治維新以前時代。なぜなら、右の地蔵は首が付け替えられている。  
それは明治維新後、神道を進める「廃仏毀釈」で首をはねられたからとい  
う。  
皆さん納得でした。

峠から下り道になった。柿ノ久保集落に出た。山中に立派な家が点在して  
いた。廃屋と思いきや、洗濯物が干してあった。  
更に下ると三十二番・法性寺（ほうしょうじ）着。立派な寺だった。

玄関わきの部屋に乳飲み子を抱えた若い女性がいた。本堂でお勤め。  
山上に「お船観音」と呼ばれる、200mの巨岩に奥の院がある。  
行ってみたかったが、今日は時間が厳しいので中止。ここで富士川町の方  
に会った。  
食道がんで長泉がんセンターに通っていたという。名刺を渡し後日、連絡  
を貰った。

つづく





## 11月14日(木)晴・17度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月14日(木)06時35分43秒

昨日は

11月度・伊豆巡礼でした。

コースは、アロエ工場―入間第一トンネル―59番・海蔵寺―R246―62番・法伝寺―63番・保春寺―64番・慈雲寺（入口まで）。

天気＝晴れ、歩数＝約24000、距離＝約18km、参加＝16名。

前回最終のアロエ工場から出発。天気は良い。気温はやや高い。入間第一トンネルをくぐり、急坂を下り海蔵寺着。最近、寺はずいぶん綺麗になった。法事で忙しそう。外でお勤め。

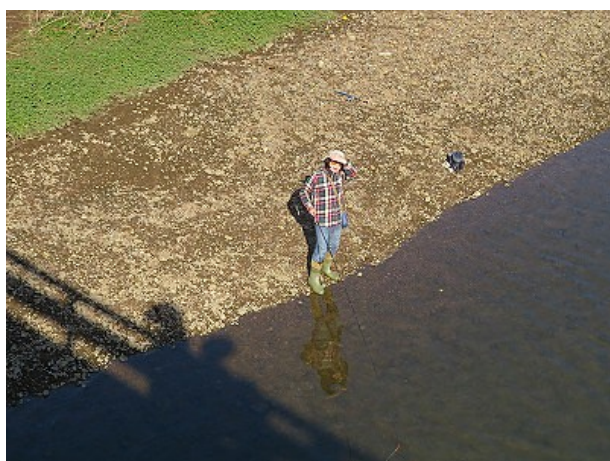
寺入り口にジオ断層がある。Mさんの解説を聞き、坂を上り返す。R246に出て、なだらかな坂を歩き、62番・法伝寺着。ここは無住職。先月の石廊崎の正眼寺が管理している。

本堂の梁を交換で職人さんが入っていた。作業実習の高校生もいた。棟梁はお父さんのようだ。寺を辞し、再びブラブラ下れば、63番。保春寺。大きくないがキレイな寺。

お勤め後、昼食。大きな一枚板の机で食べる。赤い毛氈がひいてあった。昼食後、勝田住職のお話。以前も聞いたことがある「無財の七施」。この話は、私の「赤本」にも書いてある。初めての方には、いい話だっただろう。住職も年齢を重ねた。聞けば「古希」を過ぎたという。



午後は、64番・慈雲寺から青野川を歩く。ここはイイ感じ。川では「ハゼ」  
を釣る方が3名いた。51番・龍雲寺入り口まで歩き終了した。



## 11月13日(水)晴・17度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月12日(火)17時40分10秒

つづき

この辺りは太古は海で、「礫質砂岩(れきしつさがん)」で刻みやすいようだ。今回最初のお勤めを済ませ下山。階段の途中に年配の方がベンチで休んでいた。小鹿野の町を下る。宿場町だったか、静かで落ち着いた雰囲気。お接待の店があってコーヒーが飲めたが、靴を脱がないと上がれないので止めた。

途中、地元のオジサンが道を教えてくれた。話すと、今日の宿「梁山泊」と親戚といった。三島という信号を右折して小森川を渡る。大きな川で台風の痕跡が凄まじかった。この橋が流れないで良かった。

橋が流れたら三十二番・法性寺に山道で行けなかった。小判沢集落を上り、明日の大日峠登山口を確認して本日は終了。バスで宿に向かった。

2日目(11月6日・水)晴 距離=約22km

起床5:00-温泉-朝食6:45-バス発7:15-大日峠登山道  
7:33-大日峠8:15-法性寺8:42~9:10-赤平橋-赤  
倉橋-菊水寺(昼食)  
10:57~12:00-番戸大橋-奈良川大橋-札立峠14:15  
-水潜寺14:55~15:20-梁山泊(泊)

宿の「梁山泊」は、安価(8250-・税込み+150-・入湯税)だが、なかなか良い宿だった。料理は悪くない。温泉は24時間OK。カラオケは無料。部屋はやや狭いが、二人なら問題なかった。

料理の部屋出しもあり、夜は無料、朝は有料だった。(運転者は朝も無料)朝食は6:50予定だったが、用意が出来たので、早くやってくれた。随所に「温かみ」を感じる宿だった。引率者としてこんな有難いことはない。

つづく(12日に書きました)





## 11月12日(火)晴・17度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月12日(火)06時31分4秒

昨夜は、何年振りかで「飲まなかった」。スッキリ爆睡でした。  
11月5日～8日は、秩父三十四か所巡礼・結願でした。

2019・秩父三十四か所観音巡礼報告書（第3回・満願成就、結願）

期 日 2019年11月5日(火)～8日(金)

参加者 G藤、T岡、W邊典、K藤、G谷、S木新、S木綾、H千、M永、  
(一般=T屋、K原) = 11名

1日目(11月5日・火)晴 距離=約18km

三島・イトーヨーカ堂6:00—御殿場—塩山—雁坂トンネル—前

回最終・両神

=小森橋10:11—途中昼食—三十一番・観音院12:48—小  
鹿野—小判沢  
—大日峠入口15:40—小鹿野町「梁山泊」(泊)昨年秋最終地、  
両神・小森橋から出発。天気は良い。紅葉はちょっと早い。

郵便局の角を左折すると、地元のオジサンが道を教えてくれた。

「本来、ここにバイパス道があるが、先日の19号台風で橋が流さ  
れたから、  
本道を行って下さい」とのこと。

小森川支流の橋を渡る。確かに台風の痕跡が凄かった。板戸から峠  
を越えて上飯田に到着。

昼食時間なので、田んぼの畔に座って昼ご飯。天気が良く暖かくノ  
ンビリした。

午後は、ちょっとした峠を越えて、上飯田に出た。

左折して観音寺に向かう。途中に地藏寺があった。この寺は水子供  
養で有名。

境内・山の斜面に一万体以上の風車が回っていた。

更に上ると三十一番・観音寺着。山門に4mの石造りの仁王が睥睨  
していた。

石造りでは、日本一という。先は石段が続く。般若心経の276字  
+回向文20字=

296段といわれる。上り切れば本堂。左後方に落差60mの「聖  
浄の滝」が落ちていた。



その昔、修験者が滝行をしたという。

滝の続きの岩肌には、弘法大師が刻んだ「鷲窟磨崖仏（しゅうくつ  
まがいぶつ）」があった。

この辺りは太古は海で、「礫質砂岩（れきしつさがん）」という。

つづく





## 11月11日(月)晴・18度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月11日(月)08時49分26秒

昨日は

富士宮・あさぎり山の会、30周年記念レセプションでした。  
場所は、富士宮・フォレストヒルズ。  
50名ほど集い、賑やかな会でした。  
三次会まで流れ、今朝は、いささか眠いです。







**11月5日(火)晴・18度**

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月5日(火)04時21分21秒

先日

庭の「ミョウガ」(?)の花が咲いていた。  
ただ、ネットでは、「ミョウガ」の花は、新芽(食べる部位)に  
咲くとある。

これは、新芽でなく成長しきった先に咲いた。  
ただ、花は酷似している。

この花は、果たして何でしょうね??!!





## 11月4日(月)晴・18度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2019年11月4日(月)06時46分39秒

夏

野菜はすでにキュウリ・トマト・ナスなどはとっくにお終い。  
ただ、  
ピーマン・シシトウは、寒さに強い。

いまだに、ギリギリ収穫できる。  
これは有難い。

ピーマンは収穫時期を過ぎると、真っ赤になる。  
その色が見事です。  
ちなみに、これは辛くないです。



## 11月3日(日)曇・17度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月3日(日)05時33分4秒

つづき

鎖場を上る。夏はあまり来ないが、快適な岩場だ。  
真教寺尾根分岐に達したら、一人中年男性が上って来た。  
聞けば今朝、東京から来たという。時間的に速い。これはやはり厳しい。

頂上着。登山者は少なかった。カップルの写真を撮った。  
小屋でコーヒーを飲みたいがあったが、時間が押してるので下山。  
厳しい山の頂上でユックリすると、緊張が緩むからしたくない。

下山は速い。上るとき分からなかったが結構、上って来る。  
上りの休憩場所で再び休憩。天気が良く有難い。  
再び文三郎を下って、行者小屋着。腹が減った。気が付いたら  
12時を回っていた。いつも行者は13時ころである。

800-の生をやってしまった。ジョッキに「マンモス」のマーク  
があった。提携しているのか。昨日収穫した、おろぬきダイコンが  
美味かった。風がなく暖かい。イイ季節である。

南沢を下る。歩きにくい。赤岳山荘から美濃戸に向かう。  
山ブドウが美味しかった。午後の陽光に紅葉が素晴らしい。  
柳川の橋は、年内に出来るらしい。  
ハヶ岳山荘は駐車場代は取らなかった。(??!!)

久しぶりの、赤岳日帰り。なかなか手ごたえありでした。







## 11月2日(土)晴・16度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月2日(土)06時34分33秒

つづき

天気は快晴。気温が9度と低くモーレツに寒い。耳は痛く指はガジガジ。  
南沢を上る。北面で早朝は日陰で低温。  
霜柱があり、一部凍っていた。  
台風の影響はあまり無かった。行者小屋着。山々に新雪が光っていた。

当初、地蔵尾根計画だったが、少雪でアイゼン使用が面倒で文三郎尾根に変更した。  
こんな時期、多くの方は、チェーン・アイゼンを使っていた。

少ない雪の場合、チェーンが丁度よい。

文三郎を上る。無雪期はほとんど来ないが、階段が凄い。  
小屋泊者は早くも下って来る。富士山がイイとかいっていた。  
過去の記録を調べてみた。

今回 . . . . 赤岳山荘 7 : 15 ~ 赤岳 11 : 35 = 4 時間  
16 分  
2015. 3. 28 . . . . 赤岳山荘 7 : 46 ~ 赤岳 12 : 08 = 4 時間  
22 分 . . 勝又、ほか  
2015. 2. 28 . . . . 赤岳山荘 8 : 13 ~ 赤岳 12 : 12 = 3 時間  
59 分 . . 単独  
2009. 2. 15 . . . . 赤岳山荘 7 : 30 ~ 赤岳 11 : 30 = 約 4 時  
間 . . . . 山本  
2008. 4. 13 . . . . 赤岳山荘 7 : 05 ~ 赤岳 11 : 10 = 4 時間  
5 分 . . . . 井上、石和

記録は、いずれも積雪期が多い。時間的には、ほとんど変わらない。  
気温は雪山が楽。歩行も雪山が楽。富士山登頂の記録もそうだが、  
年齢を重ねても案外、時間は変わらないもの。

しかし、毎回苦しいのは同じだ。  
息が苦しく時々、立ち止まって息つき。苦しくて苦しくて。心臓はバクバク。  
この辺りが、日帰りの厳しさ。やっぱり睡眠が足りないだろう。

ただ、相方は全く息切れはない。  
どの様な身体構造なのか不思議で分からない。多分、心臓が強いか、  
肺活量があるかだろう。マラソンが強かった話からそれが伺える。  
私もこんな体に生まれたかった。

階段帯が終わると、トラバース道になる。新雪が積もっていた。  
ただ、アイゼンを使う程ではない。上り切れば阿弥陀岳分岐。  
展望が広がる。西風が強くなる。が、冬のそれではなかった。

少し上った所で休憩。北岳・仙丈・甲斐駒が大きい。駒はまだ  
黒い。空腹を感じた。リンゴを頬張る。美味しかった。上は  
鎖場が続く。誰かのザックが置いてあった。空身で頂上に向かった  
ようだ。

つづく





## 11月1日(金)晴・19度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年11月1日(金)09時14分9秒

ハローインって、何ですかね??!!

昨日は、

久しぶりに、赤岳ワンデイ（日帰り）だった。

コース・タイムは、起床3:45～長泉発5:00－美濃戸口発6:30  
～南沢～行者小屋9:36～文三郎尾根～赤岳11:41～行者小屋12:  
57

南沢～美濃戸口15:52。

往復＝約9時間30分。天気＝快晴・上部風あり。標高差＝1419m。

参加＝2名

赤岳日帰りは、久しぶりだった。8月の北海道以降、高山に上って  
いなかった。理由は、猛暑・長雨・家庭の事情など。この辺りで  
アルペンの登山をしたかった。

一口に「赤岳日帰り」というが、前夜、麓泊の日帰りもある。長泉  
から日帰りが本当の日帰り。これは、なかかな厳しい。ここ一番の  
気合が必要。

3:45起床、4:00発。美濃戸口発6:30。通常8:00ころ  
発だから今回は早かった。下ってすぐの柳沢の橋は、台風19号で流され  
仮橋が作られていた。従って、山は極めて静か。当然だが、いつも車で  
賑わっている、赤岳山荘駐車場の車はゼロだった。

気温が低くモーレツに寒い。耳は痛く指はガジガジ。南沢を上る。  
台風の影響はあまり無かった。行者小屋着。山々には新雪が光って  
いた。当初、地蔵尾根計画だったが、少雪でアイゼン使用が面倒  
なので文三郎尾根に変更した。

つづく







## 10月30日(水)晴・17度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月30日(水)05時05分44秒

気温は、いよいよ10度台になった。

村越教授は、ワイルドな感じだった。  
お父さんが気象庁勤務で、南極越冬をした。  
その影響ではないだろうが、氏も今年南極に行く予定だった。

しかし、健康診断で引っ掛かり、精密検査で決定的なものとなり  
結局、今回の南極行は中止となった。日常生活は問題ないが、南極の  
場合、最速でもケープタウンまで4日かかり救助は困難という。

南極越冬は1年4ヶ月、リスクは大きい。教授は、これを「神のおぼしめし」と書いている。

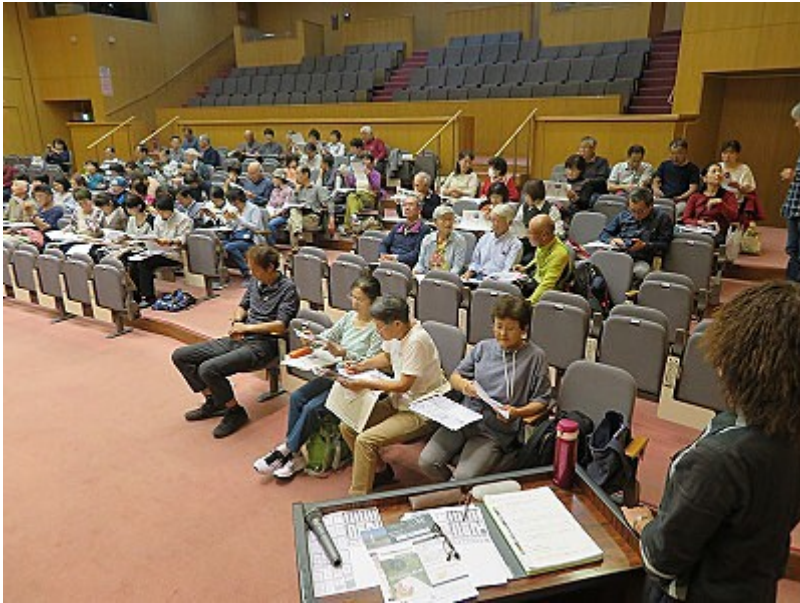
技術的な問題で参加不可ならいざしらず、身体的な問題で不参加では教授は辛いだろう。また、簡単に解決できる問題ならいいが、そういかない場合は、気持ちの整理が難しい。

毎年、成人病検査をしているが、特に問題はない。しかし、その一段上の精密検査をすると、我々も何かある可能性はいなめない。

健康的な生活で人生を全うするのは、難しいものだ。







## 10月29日(火)雨・18度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月29日(火)06時28分57秒

ウッズは、やっぱり凄いね！！

一昨日は、清水区・ふれあいホールで県連の安全登山講習会「地図読み」があった。

講師は、静大教授の村越 真氏（59）。参加は92名。  
全体的に初歩的なものだったが、最後のクイズ「尾根か谷か」  
を判別する地図読みは難しかった。

全部で七問出たが、小さな範囲で読むので難しい。  
講師いわく、二問正解が「正しい」だったが、七問正解者はいなかった。  
五問正解の沼津の会員が、南極のカレンダーをゲットした。

近年、GPS・スマホが全盛だが、基本はやっぱり「読図」。  
さらに精進を重ねることですね。





## 10月25日(金)雨・19度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月25日(金)05時56分12秒

昨日、極早生タマネギを100本植えた。あれは美味しい！！  
今朝は、やや寒い。

つづき

昨日、三島市役所に山中城跡トイレの件で電話した。  
対応はオヤジだった。聞けば、10月～3月は、7時～16時、  
4月～9月は、7時～17時だった。  
シャッターは建設時からあったそうだ。また、開場時間は、いままで  
クレームはなかったという。

話の要点は、時間設定の根拠だ。何を根拠にその時間したか。  
私はこの3年、北海道に車で行っているが、公共のトイレが  
閉まっているところは皆無とっていい。夏、旅行者が多い  
北海道でそんなことをしたら、総スカン（好かん）だ。

車旅行者にとって一番の問題はトイレ。水は貯水出来るので  
何とかなる。トイレはそうはいかない。対応のオヤジは、暴走族・  
浮浪者対策といった。しかし閉場が、夏＝17時、冬＝16時設定は、  
納得できない。開場も夏7時では遅い。

事実、一昨日もキャンピングカーが止まって（泊まって）いたがどうしたか。  
夏など7時といえば行動開始時間だ。普通、遅くても5時起床、6時には  
トイレを済ませたい。市はそれが分かっていない。

開場係が時間が早くなるとどうか、遅くなるとどうかとか、いったが、  
そもそも、目線が利用者目線でない。税金でやっていて、利用者無視、  
管理者利益を考える馬鹿野郎だ。以前も富士宮・白糸の滝トイレでも、  
同じようなシーンに出会った。

観光地は様々な方が、イレギュラーの時間で訪れる。それに対応できなければ  
観光地の宣伝なんか止めたほうが良い。観光地として広く呼び掛けている  
なら  
それなりの対応が必要だ。三島市は猛省し改善すべきですね。

つづく



## 10月24日(木)曇・20度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月24日(木)08時17分4秒

昨日は

10月度・伊豆ウオークでした。コースは、中山城跡下～中山城跡～函南原生林農道～土砂崩れ～原生林～県道R20～イモリヶ池先・道路崩壊～戻り～箱根稜線～再び県道～十国峠レストハウス(昼食)～日金山・東光寺～仏の道～伊豆山・般若院。天気は晴れ。歩数=3万、距離=21km。参加=16名。

昨年12月、山中城跡下まで歩いてきた続き。約1年振りは、暑い時期・



花に合わせた

ウォーキングで他に行ったから。道路工事の道を進み山中城跡。ここでトラブル。7時前でトイレが開いていない。仕方がないので、箱根峠下のトイレを利用した。

城跡で待っていると、乗用車が来てトイレを開けた。7時だった。聞けば利用時間は7時～16時という。ここ3年北海道に旅しているが、北海道はそんなところはない。

キャンピングカー利用が多い北海道では、そんなことをしたら訪れる人はいなくなる。車で移動する人にとって、トイレが最も重要な問題なのだ。

実際、昨日もキャンピングカーが1台いた。トイレはどうしているのか?? 確かに浮浪者・訳不明の人間が悪さをすることもあられるかもしれない。結局、車旅行者などの「締め出し」である。しかも、16時で閉めるって何だ。16時では、観光客・ウォーカーがいるだろうに。車で来た女性に聞いたら「市役所で決まっていること」

「時間がないので行きます」と、にべもない。ったく～である。

これが昨日のトラブル・1だった。結局昨日は、この後、更にトラブルが続くことになった。写真・3が問題のトイレ。

つづく





## 10月24日(木)曇・20度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月24日(木)06時20分41秒

つづき

静岡シネ・ギャラリーは、宝泰寺がやっていた。

1381年(永徳元年)に開創され、金剛山と号して臨済宗の寺院となった。開山は後醍醐天皇の皇子である無文元選禅師。中興は雪峰禅師であり、この時に臨済宗妙心寺派の寺院となった。江戸時代には朝鮮通信使の正使・副使・従事上官などの休憩所となった[1]。駿府の臨済寺、興津の清見寺とともに「駿河三刹」と称えられ、またその境内の美しさが「東海一」と称えられた。・・・ネット



境内から道路を挟んで南側に多目的ホールのサールナートホールがあり、サールナートホールは宝泰寺の檀信徒会館としての性格を持つ。サールナートホールの館長は宝泰寺住職の藤原靖爾であり、インドにあるサールナートは釈迦の初転法輪の地とされる場所である。1階のメインホールに加えて、3階には映画館の静岡シネ・ギャラリーがある。・・・ネット

映画に行く前にネットを見たら、館内で「法話」があるとあった。映画館で「法話」と思ったら、実は館は寺の経営だった。寺は大きく立派な寺。静岡駅前の一等地。

## 10月23日(水)晴・19度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月23日(水)04時54分58秒

昨日は

静岡・シネギャラリーで「フリー・ソロ」の鑑賞でした。

「フリー・ソロ」とは、ロープや安全装置を一切使わずに山や絶壁を登る「フリーソロ」と呼ばれるクライミングスタイルで世界的に知られるクライマー、アレックス・オノルドの緊迫感あふれるクライミングに密着したドキュメンタリー。ナショナル・ジオグラフィック誌の表紙を飾るなど、世界で著名なクライマーの1人として活躍するアレックス・オノルドには、1つの夢があった。それは、世界屈指の危険な断崖絶壁であり、これまで誰もフリーソロで登りきった者はいない、米カリフォルニア州ヨセミテ国立公園にそびえる巨岩エル・キャピタンに挑むこと。この前人未到のフリーソロのために幾度の失敗と練習を重ねてきたオノルドは、2017年6月3日、ついにエル・キャピタンへの挑戦を開始する。オノルドが登攀する様子を臨場感あふれるカメラワークで収め、第91回アカデミー賞で長編ドキュメンタリー賞を受賞。監督は、山岳ドキュメンタリー「MERU メルー」も高い評価を得たエリザベス・チャイ・バサルヘリィ&ジミー・チン。・・・ネット

「手に汗を握る」とは、このことだろう。実際、手のひらに汗を掻いてい

た。心の中は、無事に終わることは分かっているが「早く終わってくれ～」と叫んでいた。

私も若いころは??!! 岩登りに熱中した。滝谷・前穂高東壁・屏風岩・北岳バットレス・ハッ・剣と一応の足跡は残した。岩登りは、面白いが危険は多い。墜落を数回目撃し、亡くなった方もいた。

また、アルパイン・クライミングは、「ガチャ類」（ロープ・ハーケン・カラビナなど。当時、カラビナは鉄製だった）だけで、約10kgあり、体力がないと出来ない山だった。

つづく







[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 10月22日(火)台風・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月22日(火)05時06分33秒

天気が悪い。野菜は日照不足です。

つづき

長田山荘からお中道を探すが、記憶が定かではない。  
記録も詳細がなかった。何となく山荘からかなり上った記憶で  
ブル道を上った。

file:///C:/Users/Administrator/Pictures/お中道.pdf

200mほど上ると、赤いテープがお中道を示していた。  
コノスジから急激に上っていた。昔、ここから富士吉田には  
コノスジ・ルートでなく、もっと上部に道があったかもしれない。

御中道（おちゅうどう）は、富士山を一周するルートのこと、  
富士講信者における修行として利用された道。富士山の五合目～六合目  
（河口湖五合目～吉田口六合目～須走口本六合目～御殿場口六合目  
～富士宮口六合目）あたりを一周する登山道であったが、現在は一部、  
登山道としては廃止された。現在は、一般的には、そのうち、河口湖五合  
目  
～御庭～大沢崩れの部分をさす。・・・ネット

やはり、この記述から見ると、吉田口は六合とあるので、現在より高い位  
置に  
お中道はあったと思われる。コノスジは後年、作られたものだろう。20

0 m

も上る、お中道は考えられない。

手元に明治31年（1898年）の富士山の5万分之一相当の地形図のコピー（大日本帝國陸地測量部・作成）があるが、それには須走口から南（宝永方面）は、現在より高い2800m付近がお中道になっている。

ただ、何故か吉田口からのコースは、須走口直前まで2800m付近を走るが、寸前で2300m付近に下降している。何故そうなのか、更に調べないと分からない。

つづく







## 10月21日(月)曇・21度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月21日(月)06時28分14秒

昨日は

富士山・お中道偵察でした。

コースは、須走五合目～新六合・長田山荘～ブル道～標高2620m

お中道入り口～最高到達点・約2670m～引き返す～ブル道～駐車場下  
～東富士山荘（昼食）。天気＝霧・小雨、標高差＝約700m、参加＝三  
名。

計画は、西丹沢・御正体山だが天気が悪い。丹沢はバリエーションで藪がある。藪で露に濡れるのは辛いで、藪がない富士山に変更。当初、御殿場口方面を目指したが、昨日は、自転車競技で通行止めだった。

そんなことで、近々「お中道」計画があるので、須走口偵察に向かった。須走口は、2014年8月以来だった。東富士山荘で米山さんと歓談。久しぶりだったが、元気そうだった。

天気は当初、青空も見えていたが、次第に霧が去来し、霧雨も落ちる。お中道は、2013年以来だった。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/363.pdf>

2時間ほどで、須走口・新六合の長田山荘着。ここから「コノスジ道」が富士吉田口に伸びている。当初、こちらの偵察だったが、問題なさそうなので急遽、宝永山方面に変更した。山荘前で若い男女の外人さんに会っ

た。聞けば「オーストラリアから来た」といった。

つづく





## 10月18日(金)雨・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月18日(金)06時28分14秒

台風

19号は山岳にも大きな痕跡を残した。  
南アルプス・北岳の広河原・北沢峠周辺は、道路の崩壊  
などが著しいという。

八ヶ岳・美濃戸地先、南沢の橋が流されて車・登山者が  
入山できない状況。

山岳の報告はまだないが、山岳部でもそれなりの被害はあるだろう。  
入山は山々が安定するまで、しばらく控えたほうが賢明だろう。

自然災害は怖いものだ。





## 10月17日(木)晴・19度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月17日(木)07時38分45秒  
台風19号で

先日、歩いた入間（いるま）の千畳敷歩道が崩れ通行止めになったようだ。

もともと、ここは急峻な地形で脆い岩場が続く場所。過去にも落石・崩壊があり、歩道は巨石がゴロゴロ転がっている。

従って、いつ崩れてもおかしくない所。今回、犠牲者がいなくてよかった。町には早急に通行できるよう手当をしていただきたいですね。



# ジオ、国史跡にも打撃



伊豆半島ジオパークのジオサイト「入間千歳敷」(向かう道歩道が崩落した現場=14日、南伊豆町入間(町役場提供))

### 台風19号

## 伊豆観光影響続く

伊豆半島で、台風19号の被害もあつた。伊豆半島が上陸して約半年、観光客の減少もあつた。伊豆半島は、観光客の減少もあつた。伊豆半島は、観光客の減少もあつた。伊豆半島は、観光客の減少もあつた。

## 関係者、早期復旧を切望

関係者、早期復旧を切望。伊豆半島ジオパークのジオサイト「入間千歳敷」(向かう道歩道が崩落した現場=14日、南伊豆町入間(町役場提供))

## 今夏参院選「違憲」

### 3.00倍の1票格差

「一票の格差」問題が、参院選の「違憲」問題に発展する。参院選の「違憲」問題に発展する。参院選の「違憲」問題に発展する。参院選の「違憲」問題に発展する。





[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 10月16日(水)雨・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月16日(水)07時41分7秒

グッと

涼しくなって、夏野菜は終わりを迎えた。  
温室はこの時期でも、全く問題ない。  
露地は、そうはいかない。ナス・キュウリは温度が低く  
花は咲くが、実が大きくなならない。

昨日、最後のナスを収穫した。  
長ナスは、焼いて食べた。  
秋ナスは、美味しいといわれる。

何故か。ナスは、暑い夏より、涼しい秋のが実に  
うまみ成分・養分がいきわたるといふ。そんな訳で  
美味しいナスをいただきました。

畑は今後、ハクサイ・ダイコンの冬野菜になります。





## 10月15日(火)曇・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月15日(火)06時15分36秒

台風の犠牲者は、58名になった。合掌

つづき

過去の私の講座で事故は5件あった。

1件目は、2007年夏の巡礼だったと思うが、蒸し暑い日だった。行程は、蕪山から畑毛に差し掛かった。真夏の日射が照りつけていた。

あまり暑いのでコンビニで休憩。そのとき年配の某さんが倒れた。コンビニの車侵入禁止のパイプに寄りかかっていたが、めまいを起こした。

熱中症の感じだった。意識はしっかりしていたが、大事をとり、救急車で三島の病院に向かった。結果はOKだったが、転倒時、打ち所が悪かったら、大事に至った。休憩時は、しっかり座るべきだった。

2件目は、伊豆ウオークだった。2013年6月だった。やはり蒸し暑い日だった。朝一番で高通山東登山口から出発。15分上ったところで、Yさんが倒れた。軽い痙攣もあり、やや心配だったが横にして冷たい飲み物を与え安静。

しばらくして、元気が回復した。やはり軽い熱中症だっただろう。2~3名でサポートしてバスの人となった。その後は問題なかった。十分な睡眠・しっかり朝食摂る。トイレを済ませる。が、肝心です。

つづく







## 10月14日(月)雨・22度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月14日(月)06時02分52秒

台風で31名亡くなった。合掌。ラグビー、感動した。  
金星でなく「ダイヤモンド星」ですね。今日は靴下が欲しい。

つづき

正眼寺に着いた。急坂を上り境内に入る。前住職の山本文雄さんが迎えてくれた。奥様は2年前になくなったという。2年前は前回訪ねたころだ。住職は92歳になったという。でも、まだまだお元気だ。

お勤め後、昼食をいただいた。季節柄、落花生・サトイモが回る。

日差しは強かったが、空気は乾いてカラッとしている。裏山から流れる風は冷たいくらい。もう、セミの声は聞けない。

記念写真を撮って寺を辞した。次の入間（いるま）海蔵寺まで長い。上り下りが多い。海岸線を行けないところは、上り道になっている。

中木を通過して上りになる。ここは長く厳しい。皆さんはやや疲れ気味。Sさんが先行したが、ゆっくり上る。隊はバラけた。アロエ加工場を過ぎたあたりで、後ろから緊急連絡。Nさんが事故ったらしい。

駆けつけると、顔面から出血し横になっていた。ただ、意識はしっかりしている。歩行中、ペットボトルを手にして飲もうとしたら、足がもつれ転倒し顔面擦過したようだ。顔面だから出血は多いが、重症ではない。救急袋を出して、強力テープで手当。Nさんは翌日、通院し精密検査をしたが、大きな問題はなかった。一安心だった。

つづく







[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 10月12日(土)台風・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月12日(土)06時54分21秒

モーレツな台風が来襲。戦々恐々。

つづき

成晃園は大瀬で暮らす〇〇〇〇さんがやっている。高齢だがお元気。夏は園に大きなお花畑を作る。聞けば、種代金が10万くらい掛かるという。

見事な花園だが、特に通販はしていない。自身が楽しんで来た方に分けられればイイという。奇特な方だ。いつまでも元気にやっていただきたい。

今はオフシーズンだが、極楽鳥花(ストレリチア)を作っている。聞けば、一本50ーと安価。4本購入した。そうしたら一本、おまけしてくれた。花だけでは寂しいので、葉もつけてくれた。

綺麗に梱包し楽に持ち運べるように、取手がついたビニール袋に入れてくれた。何というサービスの良さ。室内に咲く、ブーゲンビリヤは、年2回咲くという。ものすごく大きな木で見事だ。

干物のお土産を買ったり食べたり、すっかりユックリ英気を養い再び出発。石廊崎を過ぎれば、正眼寺着。

つづく





## 10月11日(金)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月11日(金)06時29分37秒

昨日は、台風に備え、野菜に風対策を施した。  
昨年も風で大きな痛手。

つづき

海岸線を歩く。潮風が心地よい。

「下流」(したる)集落を通過。この辺りは、静岡東部の我々でもめったに訪れない。仲間が、では「上流」は、「中流」はと、混ぜっ返す。路傍の「ブーゲンビリア」が見事。

この先で休憩。目の前の海の小さな岩礁に、我々の間で「有名」な一本松がある。私が巡礼を始めた10数年前から健在。写真のように本当に小さな岩礁で、どのように水を供給されているのか不思議。

松は盆栽などで多く見られるが、もともと乾燥に強い。むしろ大事なものは日照らしい。この場合、遮るものは全くないので、日照は問題ない。明日、台風が来れば、大量の雨でしばらく凌げる。次回、2年後まで頑張っ欲しい。

岬を回ると、アロエセンターがある。皆は「アロエソフトクリーム」をなめた。向かいには「花狩・成晃園」と、ひもの製造販売「旭洋丸水産」。花狩は、極楽鳥花(ストレリチア)が素晴らしい。水産で、ひものを購入し  
焼き魚をいただいた。

つづく





## 10月10日(木)晴・20度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月10日(木)06時42分16秒

今朝は、靴下が欲しいね。

昨日は、10月度・伊豆巡礼でした。

コースは、青野川河口～青野川～56番・正善寺～57番・青龍寺  
～58番・正眼寺～入間トンネル。天気＝快晴・風あり。参加＝18名。  
歩数・距離＝25000、17.5km。

前回最終地から出発。快晴で風が気持ちよい。青野川堤防を遡り、正善寺着。ここは無住職。しかし、大日如来像は、運慶の作といわれる。県重文指定。



・・・仏像のいわれなど

正善寺は現在は曹洞宗だが、もとは真言宗寺院という。

伝大日如来像は正善寺のお堂の正面向って左の間、壇上に安置される。

まげを結び、冠や胸飾りをつける場所は菩薩の姿だが、如来の袈裟をつける。

手は胸前でふわりと合わせる。この手先は後補だが、腕の付き方として、手は胸前で構えていたことは確実に、金剛界、胎蔵いずれの大日如来像の印相とも異なり、

本来の像名は決しがたい。・・・ネットから。

仏像は確かに素晴らしい。青野川を下り、青龍寺着。境内・本堂はキレイ。出された緑茶が美味しい。住職と面会。白隠禅師直筆の「宝鏡屈の記」を見せてといたら、「1000ーくらいかな（一人）」で、「次回見せる」だった。住職は、率直な方だった。帰り際、「Gさんって、あなた」といわれた。

青龍寺から、次の正眼寺まで約7 km。南伊豆の海岸線を歩く。台風之余波か

波があった。船が何隻か行き交う。磯の香りが心地よい。

つづく





## 10月8日(火)晴・21度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月8日(火)06時39分0秒

富士山は

快晴だった。雨上がりなの大気が澄み、山々が素晴らしく輝いていた。

イタドリの黄葉は実際、黄金色だった。

この時期、花は少ない。

ただ、フジアザミは、色は落ちたが、かろうじて咲いていた。  
富士山頂をバックに、なかなかよらしい。



富士山に、フジアザミは似合います。



## 10月7日(月)晴・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月7日(月)06時20分31秒

土曜日は

富士山宝永山・2352m峰でした。幕岩沢(仮称)の周遊道橋から出発。素晴らしい天気で、蒼穹が広がる。

溶岩流の沢をグングン上る。幕岩上で前方にガサガサ。キノコ採りのオバサンだった。

見れば「ジゴボウ(ハナイグチ)がたくさん出ている。

昨日の雨が良かったのだろう。

当方も夢中で採った。セシウムが問題視されているが、大量に食べるわけではないので・・・。

山行の目的は、宝永山だったが、結局、2352m峰でおしまい。

そのかわりキノコは、スーパー袋に4袋とった。

ジゴボウは、おいしいキノコです。







## 10月3日(木)晴・22度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月3日(木)06時31分32秒

狭い

我が家の庭だが、よく観察したら、それなりに草花が咲いていた。  
まったく手入れなしの「自然」(??!!)

山岳の草花は素晴らしいが、身近なものも、なかなかよろしい。  
数えたら、10種類だった。







## 10月2日(水)晴・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月2日(水)06時43分53秒

今、

ヨーグルトが美味しい。  
ジャムと一緒にいただく。

ジャムは、いただいたものが多い。  
イチゴは一般的で、  
イチジク・ブルーベリー・梅もいける。

ブドウをトッピングすると、更によろしい！！



## 10月1日(火)晴・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年10月1日(火)06時01分24秒

管理人さま

投稿、ありがとうございます。富戸の浜手前、倒木が多かったですね。  
翌日、町で処分したそうです。

ただ、南伊豆は「携帯が死んでいる」は、早く改善ですね〜!!!

日曜日は、山行が中止だったので、仲間のG宅で「ソバ打ち」だった。  
山仲間でソバは二回目。

こねるのは、上手になった。

ただ、切るのがまだまだ難しい。

今後、さらなる「精進」が必要。

あまりに「うどん状態」のソバなので煮込んで頂いた。(´艸`)

しかし、努力の甲斐があって、ソバは極めて美味しかった!!!

12月、再度挑戦ですね。







## Re: 9月28日(土)晴・23度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者: 管理人@らいおん 投稿日: 2019年9月30日(月)16時19分3秒

富戸の浜、大好きな場所ですが、きついんですね。  
南伊豆歩道の全体が公共交通機関とか本線道路と離れているし。  
暑い時期はお勧めしません。  
助け合って無事の帰還、良かったです。

爪木崎歩道も、天城寒天車道も台風15号でだめです。

---

## 9月30日(月)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月30日(月)06時59分26秒

昨夜のひばりのAI新曲は感動だった。亡くなった方の新曲がリリースされるなんて・・・。信じられない。

昨日は県連の遭難対策訓練だったが、朝、雨だったので中止。ただ、雨は朝方だけで、完全に見込み違いだった。

先日、仲間が飯豊連峰に上った。  
調べたら、同じコースを昔、歩いていた。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/987.pdf>

年度は1975年だった。  
私は年齢を重ねたが、山は変わらない。  
そこを若い方が歩く。いいことですね。







## 9月28日(土)晴・23度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月28日(土)05時29分25秒

つづき

風通しが良い涼しい木陰で小1時間休んだ。

Iさんは、時々、上半身を起こしたり経過は順調だった。

サポート隊は、空腹だったのでタイミングは良かった。

12:15、食事を終え、Iさんも元気回復になったので下る。

Iさんは自力で歩行できた。本当に良かった。皆さんのお陰だ。

急坂を下り、吉田浜着。Iさんは、冷房を利かしたバスに乗車。

我々は妻良道の入り口まで歩く。昼食を終えた皆もゾロゾロ出て来た。吉田亭に寄ってお礼をする。今回は妻良までの予定だったが、時間がないのと残暑が厳しいので、ここでお終い。バスに乗った。

今回の反省・教訓

1. 靴はくるぶしまであるハイカットのしっかりした靴を使う。  
足が靴の中で遊ぶような靴は履かない。
2. 靴下は、靴に合わせ、やや厚手のものを使用。ペラペラの靴下は使わない。
3. 下着は速乾性のものを使う。木綿は絶対使わない。
4. 南伊豆歩道は、携帯が入らない。緊急時を考えると無線も必要。
5. 今回、ロープが無かったが、ロープは必要。

6. 熱中症予防の飲み物は、「麦茶」が良い。スポーツ飲料は駄目。
7. 体温計があったが、体温を計らなかった。計るべきだった。
8. 前夜、睡眠は十分にとる。
9. 日頃、ほどほどの訓練に励む。

ほか



**9月27日(金)晴・23度**

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月27日(金)03時09分16秒

つづき

熱中症は、重症度によって、次の3つの段階に分けられます。



- ・ I 度： 現場での応急処置で対応できる軽症
  - ・・・立ちくらみ（脳への血流が瞬間的に不十分になったことで生じる）筋肉痛、筋肉の硬直（発汗に伴う塩分の不足で生じるこむら返り）大量の発汗
- ・ II 度： 病院への搬送を必要とする中等症
  - ・・・頭痛、気分の不快、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感
- ・ III 度： 入院して集中治療の必要性のある重症
  - ・・・意識障害、けいれん、手足の運動障害
  - 高体温（体に触ると熱い。いわゆる熱射病、重度の日射病）・・・ネットから

I さんの症状は、

1. 気持ちは悪くない・・・嘔吐感はない
2. 脈拍は、休憩中で100くらい・・・やや高かった
3. 体温は計らなかった・・・計るべきだった
4. 息苦しい・・・ドキドキ・ハーハーする
5. 足元がおぼつかない・・・ふらつく・・・介助があれば何とか歩行
6. 言語は、ハッキリしている
7. 大量の発汗・・・この日は、残暑が厳しかった・日なたで30度くらい
8. 生あくび出る・・・熱中症の症状
9. 前夜は20時就寝、4時起床・・・やや寝不足
10. 朝食は、しっかり食べた
11. 11時30過ぎ、自力で排便をした
12. 飲料水は摂取したが、固形物は摂らなかった

大体こんな感じだった。富戸の浜で荷物は全てあずけ出発。厳しい急坂がつづく。少し歩き上り休憩を繰り返す。息苦しさを訴える。皆でマッサージをしたり、傘で日陰を作り体力維持に努める。周りは急傾斜なので、とにかく横になれる場所まで頑張ってもらおう。この辺りが正念場だった。

一時、背負い上げを考えたが、長身のIさんは体重があり厳しい。道も狭い。いよいよになったら外部に救助を依頼するしかないと思った。重篤で緊急を要する場合は、ヘリも考えなくてははいけないだろう。

何とか、ようやく下り気味の平坦地になった。時間は12時近くなった。吉田浜にバスが見えた。サポーターのKがバスに走り、冷房を最大限にするよう依頼。

Iさんが便意を訴えたので木陰で排便。これで腸はスッキリしたかも。

Iさんを風通しの良い木陰に寝かせ休んでもらう。横になるのが最良だ。KYさんが冷却シップを提供してくれた。これで少し安心した。数名残し、皆には吉田亭で昼食に下ってもらう。サポーターのKが帰って来た。残ったメンバーはここで昼食にした。Iさんは気持ちよさそうに休んでいた。これで何とかなるだろう。良かった。

つづく







## 9月26日(木)晴・23度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月26日(木)06時29分4秒

昨日は、

9月度・伊豆ウォーキングでした。コースは、入間（いるま）～千畳敷～富戸の浜～吉田。天気は晴れ、高温。距離＝約9 km。参加＝17名。

前回最終の入間から出発。9月末で涼しいかと思いきや、残暑は厳しかった。千畳敷に向かう。林道の上りで早くも汗が噴き出る。海拔0mまで下りて千畳敷着。

何回来てもイイところ。浜風が気持ちよかった。

記念写真を撮影。北側の千畳敷は更に良いところだった。岩壁におかしな模様があり、ここでも記念写真。林道に上り返す。またまた大汗。富戸の浜目指す。藪っぽく、先日の台風の倒木が邪魔だった。

急下降で富戸の浜に降りる。浜は様々なゴミであふれていた。もうすこし綺麗なら素晴らしいところだが……。サポーターから緊急連絡があった。Iさんが不調で歩行がままならない状況。熱中症かもとのこと。

ちょうど、沢水が流れていたなので、体温を下げる。入間に戻るか、進むか検討。富戸の浜は、吉田との中間地点。吉田のがやや短い。小人数で入間に戻っても十分な措置は出来ない。結局、皆でサポート出来る吉田に向かった。



つづく





## 9月25日(水)晴・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月25日(水)04時22分37秒

先日

初サトイモを掘って食べた。  
今年は、ちょっと作り方を変えた。  
結果はサイコーの出来だった。

サトイモは、美味しいのって毎日でもイイです。





## 9月24日(火)晴・24度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月24日(火)06時03分47秒

つづき

コルに上った。男性は単独。横浜・W山の会のFさんだった。崖で下れなかった所は、左のザレた沢状を下ると教えてくれた。ここは経験済みだったようだ。彼は先行した。

コルから・926に上る。・926は綺麗なピークだった。計画では、ここから北西の尾根を下る。石棚山稜・1210m峰に向かう。標高差は300m近くある。

しばらく上ると、先行したFさんが右の尾根で昼食だった。「いつも一人ですか?」と聞けば「こういう所は、誰も一緒に来てくれな  
い」  
だった。

やや荒れた尾根を上る。途中から岩塊帯が続き上り難い。ここを下るわけだが難儀しそう。もっと綺麗な尾根を期待だったが・・・。

標高差300mは厳しかった。全員、バテバテ。12時前ようやく一般道の縦走路に出た。すぐ上が・1210m峰。ここで昼食。今回も累計標高差は、1000m近かった。バリエーションで1000mは厳しい。

昼食は楽しみ。今期初のサトイモの煮っころがし、これまた



初の落花生はオオマサリ。ほか、絶妙なユデタマゴ。全て美味しかった。途中、Fさんが上って来た。小一時間で終了。

下降は結局、一般道を下った。下る尾根が難儀予想だったからだ。ま、一般道はやっぱり道があるので楽。仲間は「安心して下れる」という。下りきれば、箒沢キャンプ場。既にオフで閑散としていた。

河内川を渡り、道路を15分で駐車場着。今回も厳しい山だったが、充実度は100%だった。

おわり





## 9月23日(月)晴・25度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月23日(月)09時01分19秒

昨日は

西丹沢・河内川左岸＝・956m峰～石棚山稜・1210m峰でした。  
累計標高差＝上り・1060m。天気は晴れ。参加は3名。

台風で天候が懸念されたが、午前は晴れで実行。  
西丹沢は、これで6週連続。

箒杉下から出発。河内川にかかる古い吊り橋を渡り左岸に着く。  
廃屋のキャンプ場があった。  
小沢左岸のバンガロー脇から上る。ただ、計画は右岸だった。

鹿柵をまたぎ尾根に乗る。モーレツな上り。稜線まで標高差約500m。  
約1時間半で上り切った。前週昼食を摂った・956mに寄る。  
辺りは美しいブナ林が広がっている。

北に向かい、標高950mから最低コルに約150m下る。  
最低部で尾根は、真北に向かうが崖になっていた。回避して右の尾根  
を下る。ここも急で細引きを3回使って沢に降りた。

沢を上り返してコルに出る。同行のIが「鈴音が聞こえる」といった。  
耳を澄ますと確かに聞こえた。コルに男性が一人立っていた。



つづく



## 9月21日(土)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月21日(土)07時19分2秒  
ベランダに

知らないうちに、足長バチの巣が出来た。  
大きさは、13センチくらい。

殺生は気が進まなかったが、洗濯を干したりで危険だったので、  
撤去した。

夕方、うす暗くなって、アース・ジェットを吹きかけた。  
今朝、覗いたら、ベランダに数十匹転がっていた。  
中に一匹、僅かに動いているのもいた。

恐るべし、アース・ジェット。  
足長バチには、気の毒でした。合掌。







## 9月20日(金)晴・24度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月20日(金)06時33分52秒

### 収穫の秋

落花生を収穫した。  
毎年、この時期に「試し収穫」する。

種類は、大粒の「おおまさり」  
小粒のものは、食べ難いので作らない。

「おおまさり」は、富士宮地方で盛んに作られている。  
先日、TVで品評会をやっていた。

二株収穫した。昨年まで未成熟の「白実」が多かったが、今年はいい塩梅で少なかった。  
今回は、ちょっと作り方を工夫した次第。

茹でる場合、「おおまさり」は、殻が頑固なので、必ずニッパーで殻の真ん中に亀裂を入れて茹でます。茹で時間短縮と塩がうまくまわるようしています。

あとは、茹でるとき綺麗に出来るようにしたいですね。







## 9月19日(木)晴・24度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月19日(木)06時25分48秒

敬老の日

で、今年も区から「紅白饅頭」、町から祝い金「5000-」をいただいた。

70歳以上の措置だが、これで二回目。「ありがたい」か??!!聞けば、毎年このような措置をする市町村は少ないようだ。

町で一体どのくらい予算を取ってあるのか??人口は約43144名。70歳以上は、町の統計では、約7517名。

$7517 \times 5000 =$  約3758万円。我が長泉町は裕福なのか。もちろん税金だが、将来のある子供に使うか、ただの厄介者の??!!高齢者に使うか、である。

でも、返上せず(そんな方はいるかな(´艸`))、ありがたく、いただきました。





## 9月18日(水)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月18日(水)06時23分58秒

つづき

一時間の昼食は終わった。下山にかかる。出だしがやや難しい。最低コルに下り、再び50mほど上り、・762m峰。南西尾根を中川温泉に降りる。標高500mで右手の尾根に移るところが難しかった。尾根は急で細く厳しかった。

降りきれば易しい尾根。管理された山らしく階段があり、何やらローマ字を書いたブルーシート地べたに張ってあった。下りきれば中川温泉。休館（廃館）の宿もある。河内川の橋を渡る。連休で川遊びの家族が多かった。その先が信玄館。

玄関前に温泉が出ていて飲める。やや硫黄っぽいが、不味くはなかった。ビアをやって、ブラブラ下る。車まで20分の下りだが、モーレツに暑い。途中でKが車を取りに下ってくれた。途中、靴下で走ったという。ああ、有難や。

今回もイイ山だった。ただ、期待の「タマゴダケ」は、先週の弩収穫と違いたったの二つ。いかにも残念・無念でした。（`艸`）

おわり





## 9月17日(火)晴・24度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月17日(火)06時40分10秒

つづき

三角点、標高860.8mを後にする。

この先は、また自然林になった。

50mほど下り、・(標高点)845m着。展望がよい頂。

東に檜洞丸(1600m)とおぼしき峰が大きかった。

ルートは、細い山稜と急な上りを経て、今回の最高峰、・956m峰着。

広い開放的な頂で気分はサイコーだった。



西に屏風岩山、北の奥に畦ヶ丸、その手前の南に上権現山、更に右奥に先週の大室山があった。

時間は11時。計画書通りで昼食にする。いろいろ出て来た。今期、最後の露地エダマメ、キュウリ糠づけ、今期最初のサトイモ、おいしいウインナー、塩もみ細キュウリ、オニギリ、デザートは、イチジクのワイン漬けとブルベリーのヨーグルトと超豪華だった。

誰もいない静かな頂上。渡る風は秋だった。丹沢はイイ山だ。近くて十分満足できる。釣りは「フナで始まってフナで終わる」という。私の山は、「丹沢で始まり、丹沢で終わる」だろう。

事実、本格的な初めての山は、第6回登山、1966年3月、表丹沢・源次郎沢だった。あれから53年。現在の登山回数は、今回で1837回。まだ、上りたい山は沢山あるが、ま、無理せずぼちぼちかもしれない。

つづき





## 9月16日(月)曇・24度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月16日(月)09時03分31秒

昨日は

西丹沢・中川橋～・540m峰～・880m峰～三角点861m～  
・956m峰～・762m峰～中川温泉でした。天気＝晴れ・風は涼しい。  
標高差＝約606m（ただし、上り下り多い）。参加＝4名。

中川橋から出発。ダム駐車場で湘南のオジサンが一人で朝餉。聞けば、「衝動キャンプ」で、装備は全て前日量販店で2万で用意したという。夜は車中で寝た。「子供さんは??」に、家でゲームのがイイだった。

地図にない橋の脇から上る。グズグズの急登で上り難い。しかも、人工林の横でブッシュが多かった。・540m峰に上がると、綺麗な自然林で快適なルートが伸びていた。

快適な尾根を上っていくと、前方に何やら動物が。親イノシシとウリ坊が二頭、急坂を駆けて行った。尾根に掘りっ返しが多いが、イノシシか。

自然林は、・880mまでで、そこから杉の人工林が三角点・大杉山まで続いていた。三角点は土に埋もれ、眼を凝らして探さないと分からなかった。気が付いたら、足元にあった。

昨今の三角点は、表土の流出で倒れそうなくらい露出しているの多いが、こんなにしっかり埋まっている（当たり前??!!）のは珍しかった。



手製の山名表示板があった。山名の上に凝った書体の表記をよく読んだら、そこには「丹沢百名山」とあった。

ついにそこまで来たかと思った。(´艸`)では、一体、丹沢にはどの位の峰があるのだろうか??!! ネットにはサイトがなかった。他山で同様のものを見た方は、賛否両論だった。

つづく





## 9月12日(木)晴・25度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月12日(木)07時00分46秒

今朝の気温はイイ感じですが。台風の影響で伊東の仲間も少し停電だったようです。停電は、電気のありがたみを痛感する。

タワーマンションは、エレベーターが使えず、水の確保は階段を上り下りで大変という。車の運行は、信号が点灯せず、注意とのことだ。電気は来ているのが当たり前と思うが、来ないときもある。例の計画停電を思い出した。

先日、野暮用で東京駅周辺を歩いた。めったにないこと。駅周辺の通りの幅が大きいことに驚いた。地下鉄の駅が随所にあった。

皇居の外堀沿いを歩いたが、そのわきが、国道一号線とは知らなかった。外堀には、白鳥がいた。オジサンが餌を投げていた。周辺は、日本の行政中枢機関が多く点在する。ここにミサイルが一発飛来したら大変なことだ。

地下鉄に乗車したが、女性はキレイな方が多い。スカートをはいた、髭を長く伸ばしたジジもいた。電車はスタート・ストップが乱暴だった。

東京駅で寿司を食べたが、案外、美味しかったです。





## 9月11日(水)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月11日(水)06時43分15秒

つづき

1350m峰・南尾根を下る。極めて急な尾根だった。上部はやや分かりにくい尾根だったが、次第にハッキリしてきた。

ただ、登山道と違い、土は柔らかく靴のエッジは利くので問題はない。このような急な山稜は、ストックを前に突き、靴はスキーのように山側のエッジを充分利かせて下る。

こちらの尾根も、タマゴダケが豊富だった。一定の標高に多かった。たくさん収穫したので、開いたモノ、まだ小さいのは取らなかった。

標高1000mで尾根は右に大きく曲がる。真っすぐは大きくイイ尾根で引き込まれそう。ただ、そこには手製の道標があった。

「直進不可・沢に落ちるよ」と親切な言葉。一見、まったく登山者が来ないような尾根だが、どっこい、意外と利用されているようだ。

この先は800m下り、12m上り返して尾根の末端に到着。俯瞰するとちょうど車の上だった。ドンピシャ、予定通りだった。大汗だったので、「時の栖」で汗を流した。

下山後、同行の仲間が誕生日だったので、タマゴダケでお祝い。真っ赤なキノコがお祝いに相応しかった。

おわり







## 9月10日(火)晴・24度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月10日(火)06時28分56秒

つづき

厳しいのぼりを経て稜線についた。鹿柵があった。回り込むと柵は切れ  
登山道が伸びていた。なだらかな上りを頂上に向かう。あたりは、小ぶりな

「トリカブト」の花が延々と続いた。

大室山は前回いつ上ったか記憶にないくらい遠い昔。トリカブトの花が  
こんなに素晴らしいとは知らなかった。それにしてもこの繁殖は何故か。  
トリカブトは、毒があるのでシカも食べないのだろうか。

上から若い衆が2名下って来た。犬越路の道をパスしてほどなく頂上着。丹沢に多いベンチはなかった。とにかく疲れ切った心身をいやす。時間があるので出来るだけゆっくりする。

登山者は3名。女性二人の一人は、背中が丸い年配の方だった。年齢は不詳。

女性の年齢はわからない。ここの頂上名は、以前、大群山だったが、いつか、

大室山になった。理由は、調べないと分からない。静かな山だった。

1時間ほど休憩し下山。犬越路方面に向かう。一般道は歩き難い。途中、富士山の展望があった。標高約1350m峰から南尾根を下る。上部は尾根がなだらかで、やや難しかった。

つづく







## 9月9日(月)雨・24度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月9日(月)06時13分37秒

台風15号は伊豆半島をかすめた。かすめても風雨は強烈だった。台風が来ると畑がメチャメチャ。これが一番困る。

土曜日は、またまた西丹沢だった。今回は、大室山(1587m)・1543m峰南尾根～犬越路からの1350m峰・南尾根でした。天気=晴れ、標高差=937m、参加=5名。

西丹沢のドン詰まり、用木沢出合付近先から南尾根に取りつく。最初から物凄い急登。綺麗な尾根が伸びている。赤布が適当に入っていた。利用者はいらそうだ。

「わお～」の仲間の声。何かかと思いきや「タマゴダケ」という、美味しいキノコをたくさん収穫。柔らかいデリケートなキノコだから、ティッシュで丁寧に包みザックに収める。

このキノコ、色は赤というより、緋色・赤紅色というべきか。派手な色はしている。猛毒の「ベニテングダケ」に似ているが、味はシコシコ・コリコリでサイコー。バター炒めがよろしい。「ベニテング」は、笠に白点があるので判別は出来る。

ちょうど今日は参加者のGYさんの誕生日だった。下山後、キノコで一杯やろうと一気に盛り上がった。キノコは、その後もたくさん収穫。今回は、開いたもの

でなく。正にタマゴから生まれたような、見事なキノコばかりだった。

尾根は藪もなく快適だった。途中、岩交じりの個所があった。ただ、依然として急な尾根。バリエーションの場合は、登山道がないから、足がフラットに置けない。その分、ふくらはぎ・ふとももの負担が増える。

標高差的には937mだから、普通の山だが厳しい。それに「暑さ」。黙って動かなければ、木陰はイイ風があって涼しい。しかし、登山は物凄い「踏ん張り」がある。いってみれば、「重量挙げ」を続けている感じ。汗の量は半端でない。

つづく







## 9月6日(金)晴・24度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月6日(金)06時33分48秒  
旧聞

で恐縮ですが、今年も「夕張メロン」を楽しみました。  
価格は、大きさで決まるようです。  
このサイズで、一個＝2000ーです。

味はというと、  
だいたい、どこのメロンも似たか寄ったか。  
特に夕張が、超美味しいというわけでもなさそう。  
ブランドといえばブランド。

まあ、年一回の贅沢でしょうか??!!





## 9月5日(木)晴・24度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月5日(木)05時31分55秒

昨日

巡礼仲間のNさんに、太刀魚を頂きました。

一昨日、夜釣りをしたそうです。

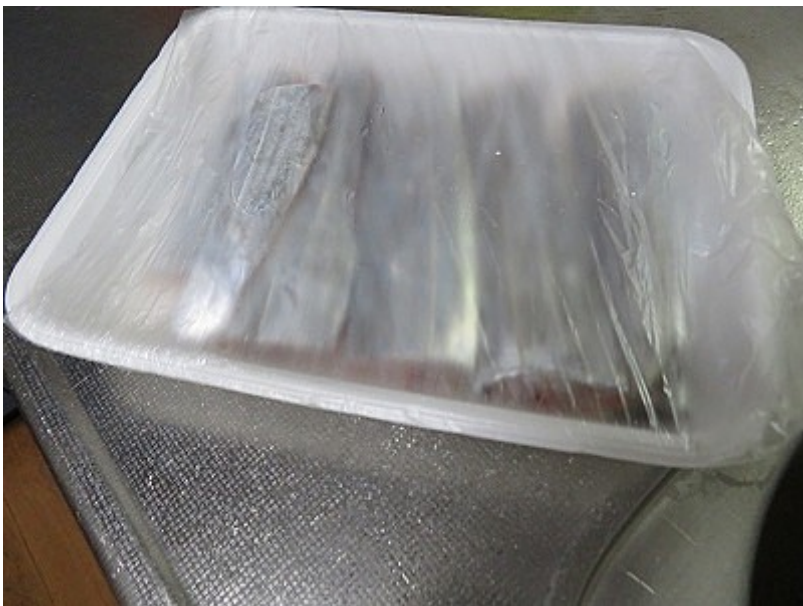
さっそく、

煮つけでいただきました。

美味しかったです。

合掌





## 9月4日(水)晴・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月4日(水)05時55分21秒

今朝は、やや涼しい

・1033m峰で大休憩。汗が凄い。  
その時、・1119m峰方向から、一人やって来た。  
赤いシャツを着た50代くらいの男性だった。しかも、靴は「ゴロー」  
の注文靴だった。

こんなところで、人に会うなんて。聞けば、・1119m峰からでなく、  
一般道を善六のタワい来る途中から、尾根に向かって来たという。  
「迷った??!!」に、「意識して来た」といった。これから、善六のタワ  
を經由し、畦ヶ丸に上り、滝を見ながら下るといった。

ここから東尾根を下る。出だしがやや難しい。左の尾根に入るとまずい。  
ほどなく尾根に乗った。急だが問題はなかった。グングン下る。  
右下にキャンプ場がある。子供の声が聞こえた。予定通り、ピッタリ  
林道に降りた。完ぺきだった。

9月最初の日曜日だったが、キャンプ場は賑やかだった。私が丹沢に  
通いだした頃、つまり50年前は、この辺りは、何もなかった河原  
だった。あったのは、箒沢山の家がポツンと一軒あっただけ。

しかし1972年、未曾有の大雨で山荘は流失した。私は前夜、山荘前で  
テント泊をしていた。夜半、テントの中を沢水が流れていた。異常を感じ  
すぐテントを撤収して、逃げ帰った。

<https://isabou.net/knowhow/colum-rekishu/colum43.asp>

そんな出来事もあった。その河原は現在、オート・キャンプ場だが、  
50年(または100年)に一回の大雨は要注意である。あの時、  
ギターを弾いてくれた管理人はもういない。(その後、一度会ったが)

おわり







## 9月3日(火)晴・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年9月2日(月)09時31分17秒

一昨日は

西丹沢自然教室～西沢1119m・峰南東尾根～1033m峰・東尾根～自然教室でした。天気＝晴れ、標高差＝約569m。

このところ連続で西丹沢に通っている。最近は、一般道は全く興味なし。登山道のない、バリエーションでないと面白みはない。いずれ西丹沢のバリを纏めたい。

自然教室から出発。南東尾根は、西沢の出合から派生している。出合を覗きに行くが水量が多く渡れない。戻って堰堤を越え、標高約720m峰を目指す。所々にトラロープがあった。

720m峰は綺麗なピーク。尾根も藪なしで伸びていた。快適に上り・849着。尾根は、左(西)にガクッと切れていた。この先はちょっと岩っぽい尾根だった。

・1033峰は、西に長いピーク。美しいブナ林があった。ここから今回の最高峰・1119峰に向かう。ここも西に長いピーク。西端に立つと展望が開け、先週の屏風岩山・畦ヶ丸が大きかった。自然教室から畦への一般道がこの下、約70mにある。善六のタワである。「タワ」とは、「たわみ」で一種の峠だ。

本来は、ここから畦まで頑張るところだが、先週の山が、厳しかったのでたまには「息抜き」で、ここでお終いで踵を返した。

つづく







## 8月30日(金)雨・25度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月30日(金)10時00分3秒

今朝は、カミナリで日記が遅れた。昨夜も、ジュードーが面白かった。

つづき

南東尾根を下る。上部は尾根がハッキリせず難しい。

山はバリエーションでなくても、下降は難しい。

事故の大半は、下降時だ。人間の体は、そもそも上りに適して、下降に向いていない。ま、四つ足動物も、それがいえる。

それでも、GPSがあるから問題はない。GPSの最大の特徴は、あらかじめ

下降ルート画面の地図に落とせる。それに、現在地が表示されるから間違えればすぐ気が付く。ありがたい世の中になった。

昔は、2万5千円・コンパス・高度計しかなかった。しかし、ある「事件」で私もGPSを購入した。当時、価格は10万近くした。それに値するものだった。

口の良くない仲間は、「これで当分、遊べるね」だった。事実、そうだった。購入したキッカケは、以下の報告書に詳しい。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/630.pdf>

途中、別の尾根に入ってしまったし上り返した。目視では、完全な尾根だったが、間違いだった。難しいけど面白い。

なんだかんだで、上権現山コルに着いた。ここには西沢に一般道もある。が、バリバリの二本は終えた。もう一本のバリを終わらせるべく、根性で上り返す。

ほどなく、上権現山着。可愛いベンチがあり、南に展望が広がる。最後のバリの北東尾根に入る。入口が少し分かり難いが、後は快適。グングン下る。ただ、ちょっと気になることがあった。

実は、この尾根は6/1にも往復していた。が、その時はなかった、赤いペンキのマーキングが樹木に延々と付けられていた。マーキングは、一般道は、ある程度

仕方がない。しかし、バリエーションは、まずい、御法度。バリエーションの意味がなくなる。道のない山をいかに歩くかの「楽しみ・喜び・好奇心」を完全に奪うものだ。

確信はないが、前回、単独行に会ったが、その輩だろうか。それにしても次回、マーキング消したい心境だった。上権現山には、一応、一般道もある。バリエーション指向でなかったら、そちらを使うべきだ。この程度のバリでマーキングが必要なら、バリは辞めたほうが良い。許せない行為である。

水の多い西沢を飛んで、自然教室着。夏の終わりでキャンパーは少なかった。デポした自転車で車を回収した。時之栖で温泉。JAF割引で600円。平日は何と400円。まさか、「工業用水」では、ないだろうね。以前、仲間が消毒臭かった」といっていたが……。最近、危ない温泉（風呂??!!）が多い……。





## 8月29日(木)晴・25度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2019年8月28日(水)08時21分12秒

TVの話題で恐縮だが、昨夜の鳥人間と柔道女子は感動的だった。TVが二台ほしかったですね。

26日つづき

・669の下で何か動物が走って行った。

登山開始直後も見たが、子供のイノシシだった。生まれたての「ウリ坊」ではなかった。でも大人ではない。ある程度、成長した子供だった。それにしても、昼間、堂々と遊んでいるのか??!!

南尾根の上部は厳しい上りがつづく。二人はやや遅れていた。姿が見えないので「ヨロ・レイホー」のお声がけ。下から返事が来た。先日、歩いた東尾根の分岐で休憩。10分後、二人はやってきた。

汗まみれだった。Iは私より二回り若い。ただ、3年ほど単身赴任で体重が5kg増えた。私より身長は少なく、体重は多い。5kg背負って上るのは厳しい。

屏風岩山に着いた。10時なら畦ヶ丸・南西尾根の計画だったが、10時を回ったので変更し、畦まで一般道に行く。大滝峠上から本格的な上り。二人は再び遅くなった。畦まで標高差=342m・約1時間が厳しかった。特に上部の「避難小屋まで200m」は、修行だった。

ようやく避難小屋着。頂上はすぐ上だが、ここで二人を待つ。小屋を覗いた。煙臭くて堪らない。窓が小さく暗くて開放感がない。外のベンチで昼食にした。15分後、二人は上ってきた。全員で昼食。山の楽しみは、やっぱり食事だ。今回のメニューは、ゆで卵二個、畑の中トマト数個、混ぜご飯のおむすび二つ、ビア二本だった。

食事中に伊勢原の女性二人がやってきた。二人もここで昼食。二人とも若いと思ったら、一人の方は40代で子供が一人いるそう。聞けば子供は「旦那が面倒みている」とのこと。イクメンですね。

昼食は美味しかった。午後はどうするか検討。計画は、畦の南東尾根を下り、権現山から東尾根を西沢に下るだった。一般道を下る手もあった。前者なら今回の報告書の表題は、バリエーション三本で「西丹沢のバリバリ・コース」

となるが、一般道では、一本で「・・・バリ・コース」になり、面白く



ない。

しかし、それでは、今回の大きな目的の、睦ヶ丸・南東尾根を下れない。  
これでは何のために計画したか、分からなくなる。計画通り「南東尾根を  
下る」こととした。

つづく



## 8月27日(火)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月27日(火)06時39分31秒

富士山で

26日午前5時10分ごろ、富士山の頂上付近で、登山中の女性が倒れているのを安全誘導員が見つke、山梨県富士山五合目総合管理センターに連絡した。女性の胸部などに落石が直撃したといい、駆けつけた救護所の医師が死亡を確認した。

県警富士吉田署などによると、女性はロシア国籍で東京都品川区のドゥブロビナ・アンナさん(29)。日本人の夫と25日夜、同県側の富士吉田口から登山を始めていた。事故を受け、県は登山道を点検するため、8・5合目の御来光館から山頂までを一時通行止めにした。当時、頂上付近はご来光(日の出)を目指す登山客で混雑していた。(毎日新聞)

登山事故は、不可抗力的なものもあるが、ある程度、知識・経験で防ぐことができる。今回の事故は、記事にはないが、ヘルメットを被っていれば、状況は変わっていたかも。富士山は、脆い岩石が積み重なった山。ちょっとした刺激で落石が発生する。

ただ、登山者が登山道を普通に歩いていけば、それほど頻繁に起きるわけではない。一番怖いのは、記事にあるように、混雑時、登山道外を上り下りする輩だ。見ているとこの行為をする人は多い。富士山の登山道以外は、正に「累卵(るいらん)の岩場」。登山経験の長い我々でも落石を誘発する。

登山道は、ジグザグに付いているので、落石はまともに下の登山者を直撃する。午前5時だと、ようやく明るくなって来た頃だが、登山中は「下を見ているだけ」でなく、特に混雑時は「常に上も注意」する心構えである。また、休憩は「上からモノが落ちてこない場所」を選んで、休む必要がある。

以前、冬の八ヶ岳登山時、上から物凄い速度で「何かが落ちてきて頭をかすめた」雪に刺さったモノは、満タンのペットボトルだった。上の登山者がザックの脇に入れてあったが、何かの拍子に落ちた。登山中は、落ちるものは、必ずザックにしまうことが肝要。重々、諭してあげた。

今回の場合、仮に人為的な落石の事故ならば、これは「殺人罪」に値する。



登山は、特に下に登山者がいる場合、絶対、登山道以外を上り下りしてはならない。また、自身は身を守る、ヘルメットは必携です。



## 8月26日(月)曇・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月26日(月)06時03分43秒

今日は、しのぎやすい。

土曜日は、またまた丹沢バリバリバリ（バリエーション3本）でした。コースは、時之栖～屏風岩山・南尾根～畦ヶ丸～南東尾根～上権現山～東尾根～西沢～西丹沢自然教室。天気は晴れ。参加者＝3名。総合標高差＝1151m。

女子が穂高に行ったので、野郎のみ。最初は、屏風岩山・南尾根を目指す。西丹沢・時之栖から出発。他の2名は、南尾根初見なので、地図読みを兼ねて先頭を任せた。

入口がちょっと分かり難い。バンガローの裏から取り付く。昨日の雨で山はシットリしていた。小一時間上ったら、珍しい「つちあけび」を発見。

<AHREF="http://mikawanoyasou.org/data/tutiakebi.htm">http://mikawanoyasou.org/data/tutiakebi.htm

この植物は、ちょっと変わった感じだが一応、ランである。

標高・669mに例の標高点がある。柱はあったが、これは境界を示すもので、標高点ではない。今回は、先週の東尾根の標高点再調査も目的だったが、ここで「あることが分かった」。

つまり、小数点がない標高点は、地図上で落とした標高点でもともと、柱はないのだ。従って、東尾根もしかりで、再調査の必要はなくなった。

つづく







## 8月23日(木)曇・24度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月23日(金)06時36分5秒

北海道に

初めて渡ったのは、1975年だった。  
その時、利尻に上り、大雪に移動して、トムラウシ～十勝岳まで縦走。  
再び下山して、石狩岳に向かった。

当時は、士幌線が在線で十勝三股まで汽車で行った。  
三股駅は、北海道で一番高い、標高661mの高標高駅だった。  
(ちなみに、御殿場駅標高は、455m)  
その後、1987年、士幌線は廃線になってしまった。

今夏、石狩岳に上るべく、十勝三股駅跡に行った。  
当然、当たり前だが、何もなかった。あったのは喫茶店のみ。  
44年前の記憶も全くなかった。

ただ、駅にあったと思われる、駅表示板（写真＝正式名は不明）  
が喫茶店の前に立っていた。  
十勝三股は終着駅だから、次の駅の表示はなかった。

結局、その時、悪天候で石狩岳は上れなかった。  
記録では、当時あった、御殿小屋まで上ったとあった。  
ただ、これまた全く記憶がない。  
ある記憶は、長旅で足を痛めたこと、林道で大量の蚊に襲われたことだけ。

今回の石狩岳は林道が通行止めで上れなかった。林道を3時間歩けば  
登山口まで行けた。しかし、最近では北海道の長い林道歩きはウンザリ。  
ファイトは湧かなかったのは残念だった。





## 8月22日(木)晴・24度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2019年8月22日(木)06時26分50秒

つづき

大滝峠上で大休憩。少し早い昼食。自身はそれほど空腹でないが、伊東・富士の参加者は、朝食が早く空腹とのこと。歩行中も「腹が減った腹が減った」と賑やか。

超大汗だったので、ビアを二本半いただいた。「半」は、GMの一本の半分をいただいた。以前、槍の小屋で「生」を三杯やったことがある。大ジョッキで一杯=1000ml。美味しく、養分の吸収が速いので元気が出る。本来、登山中の飲酒は、ご法度だろうが、これまでは問題ない。

ちょっと前、赤岳の天望荘で缶ビアを求めたら「行動中の飲酒はダメ」で断られた。上記の槍の場合は、そこまでは言わなかった。正解はない。どちらも正論だ。判断するのは自身だろう。

ただ、毎日・毎月、事故情報をチェックしているが、当たり前だが、飲酒原因の事故は聞かない。もし飲酒が原因で事故の場合、山岳保険が給付されるかどうか・・・。

大滝峠上から下り。途中でランナーの若い集団に会った。が、「今日は歩きです」だった。この暑さでは無理は出来ない。「下の橋が流され渡渉です」の情報を得た。確かにそこは渡渉だった。普段はそんなことはないが、台風の水が、まだ引いていなかった。

途中、綺麗なスラブ（一枚岩）の沢があった。他の三名は、水遊びを敢行。体が熱を帯びているので、サイコーの爽やかさ。傍らで何処かのカップルが光景を眺めていたが、ようやるな〜と「呆れ顔」だった。

ガラガラの林道を歩き、大滝橋着で終了。暑い熱い一日だったが、それなりに「心身はスッキリ」だった。暑い夏ほど、心身を鍛えなくてはいけない。夕方、GM会員の夏祭りに参戦。ただ、年々参加者が減るようで、淋しいですね。

おわり





## 8月21日(水)晴・25度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2019年8月21日(水)04時44分16秒

つづき

結局、本来の・965には、標高点柱は調べたがなかった。(と思う)この先で、左から南尾根が合流する。今回の調査で判明したのは、東尾根は藪が二か所あるから、上るなら南尾根がよろしい。これで屏風岩山の標高差がある、南・東方面の調査は終了。あと、北東面が一本残るが、ここはちょっと難しそうだ。

1050mのジャンクション・ピークをパスして屏風岩山着。ピークには、山名表示板・方向表示板がない。何か淋しいし、名無しの権兵衛さんで可哀そう。次回、付けようか。

そんなこともあり、ここは道が間違え易い。前回はジャンクション・ピークに着いたら、向こうから若い衆がやって来た。ここはバリエーションで、基本的に道はない。まず、よほどの好き者(研究者)でない限り、踏み込まない。

聞けば、「畔ヶ丸に行きます」だった。90度道が違った。山頂から、こちらのがハッキリしているので、引き込まれやすい。スマホで確認するように勧めたら、「ああ、分かりました」と踵を返した。このまま下ったら、大変なことになる。

時間が早いので、大滝峠に向かう。直下で「タマゴダケ」をゲット。山の季節は早い。大滝峠で早い昼食をいただいた。

つづく





## 8月20日(火)晴・28度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月20日(火)06時27分46秒

今朝は、だいぶ楽ですね～。

ま、そんなことを考えながら、標高点はどこかで上っていった。  
すぐ標高点はあった。  
三角点標柱より小さいが、確かに標高点だった。

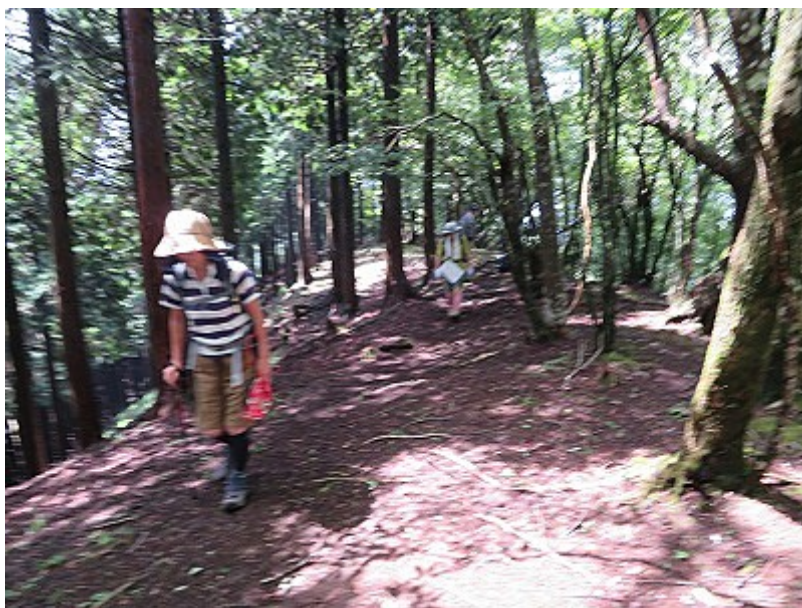
だが、変だった。  
標高点の位置がおかしい。標高点は、・965だから当然、標高965m  
になければならない。GPSで確認すると、標柱は、約900mだった。  
そんなことがあるだろうか。

天下の国土地理院が標高点柱設置を間違った場所に埋めるだろう  
か??!!  
しかし、現実は間違いなかった。GPSがない時代なら、正確に分からなかつ  
た  
かもしれない。

今はスマホでも明瞭な2万5千図が表示され、いまいる位置が正確に表示  
される。確かにスマホの現在位置は、965mより下だった。ただ、以前  
スマホで問題があったことがある。

つまり、現在位置の反映が、条件次第で「やや遅れる」現象だった。つま  
り、  
スマホを節電モードにしておくと、立ち上げた時、正確な位置を把握する  
には、  
ある程度時間が必要ということである。

通過後、そんなことが脳裏をよぎった。この疑問を解明するためには、も  
う一度  
いくっきゃないね。(´艸`)





## 8月19日(月)晴・23度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2019年8月19日(月)06時43分56秒

18日、沼津の若い衆が、北岳バットレスで滑落死したようだ。先日も御殿場の方が飯豊山で亡くなった。山岳遭難は身近にある。我々も戒めよう。

土曜日は、西丹沢＝屏風岩山(1051m)・東尾根でした。天気は晴・高温。標高差＝601m。参加＝4名。

西丹沢のバリエーション・シリーズ。屏風岩山は、以前、南尾根を上った。今回は、東に延びる尾根の研究。初心者は、地図読みの訓練を兼ねている。

暑い夏だが、暑い夏ほど心身を鍛える。7時50分、大滝橋発。林道すぐのヘアピンから尾根に取りつく。ほどなく東尾根に乗った。植林地は少しヤブが五月蠅かったが、先は綺麗な尾根が伸びていた。

尾根は急登。早くも汗が飛び散る。ただ、前夜の雨で森はしっとり潤い、オゾンが溢れていた。途中、再び植林地があり、鹿柵があって、そこは日当たりが良く、草が背丈ほど伸びていた。自然林は、樹木が密で日光が届かず草は生えない。鹿の食害もあるが。

東尾根には、・標高965mに標高点がある。・＝標高店の表示。標高点とは、地図作成時、特定の場所の標高を表すものである。ただ、標高点は二種類あり、小数点以下を表示は、現地測量による標高点。そうでないものは、写真測量の標高点という。

同じようなものに三角点がある。これは、高さでなく位置を表す点だ。・965は、小数点がないので、写真測量の点だ。ただ、写真測量とは、よく分からない。樹木に覆われた尾根で、どのように測量するのか??!!

つづく





## 8月16日(金)曇・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月16日(金)06時20分37秒

山岳同志会は、

一時代を築き、多くの実力岳人を輩出した。

小西政継（1996 マナスルで行方不明）

遠藤二郎（1967年・マッターホルン冬北壁）

小川信之（エベレスト、K2、カンチェンジュンガと8000m峰の上位三峰を全て無酸素登頂を成し遂げた）

川村晴一（ジャヌー北壁初登、エベレスト無酸素登頂（日本人初）、K2北稜登頂、カンチェンジュンガ北壁初登、等。ヒマラヤはすべて無酸素登頂）

坂下直枝（ロストアロー代表）

鈴木昇己（ジャヌー北壁 初登頂・カンチェンジュンガ北壁 初登頂エベレスト日本人初無酸素登頂）

星野隆男（マッターホルン・アイガー・グランドジョラスの冬三大北壁を上るが、1973年、涸沢岳西尾根で雪庇を踏み抜き死亡）

今野和義（冬衝立岩単独で墜落死）

岡田 昇（後に写真家・2002年冬・奥穂高で行方不明）・・・。

そうそうたるメンバーだった。しかし、常に先鋭的登山を続ける宿命で多くの方は山に召された。鈴木氏は無事現在でもガイドとして活躍している。年齢は66歳。誕生日が私と一日違いだった。いつまでも頑張っていて貰いたいですね。

（写真は、山の会 AT さんの入笠山をお借りしました）





## 8月15日(木)曇・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月15日(木)05時43分14秒

山岳同志会は、  
一時代を築き、多くの実力岳人を輩出した。  
小西政継（1996 マナスルで行方不明）・遠藤二郎・小川信之（エベレスト、K2、カンチェンジュンガと8000m峰の上位三峰を全て無酸素登頂を成し遂げた）  
川村晴一（ジャヌー北壁初登、エベレスト無酸素登頂（日本人初）、K2北稜登頂、カンチェンジュンガ北壁初登、等。ヒマラヤはすべて無酸素登頂）  
坂下直枝（ロストアロー代表）・星野隆男（涸沢岳西尾根で雪庇を踏み抜き死亡）  
今野和義（冬衝立岩単独で墜落死）、岡田昇（後に写真家・2002年冬・奥穂高で行方不明）・・・。

そうそうたるメンバー。

## 8月14日(水)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月14日(水)05時54分5秒

今日は、気温が大分楽だ。8月度・伊豆巡礼だったが、猛暑で中止した。昨夜の雨は、「イイお湿り」だった。干ばつで庭の植物・畑の野菜はグッタリ。庭のモッコウバラは、半分枯れ状態。有難い雨でした。  
先日、NHKの人工壁のTVを見ていたら、結構、イイオヤジがガンガン上っていた。体は細身。長い髪で頭は禿げていた。  
奥様と上っていたが、奥様曰く「うちの旦那は、日本人で初めて無酸素でエベレストの上った人」と紹介した。

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~shomi/profile.htm>

驚いた。この方は、本当に凄い方。山岳同志会OBの鈴木昇己。クドクドいうより上記のHPを見て下さい。これだけの実績のある方が大きな事故にあわず健在は嬉しく、山岳界の宝といってもよい。

現在66歳。まだまだいける。誕生日が私と一日違いだった。ガイドを依頼するならこんな方を希望しますね！！





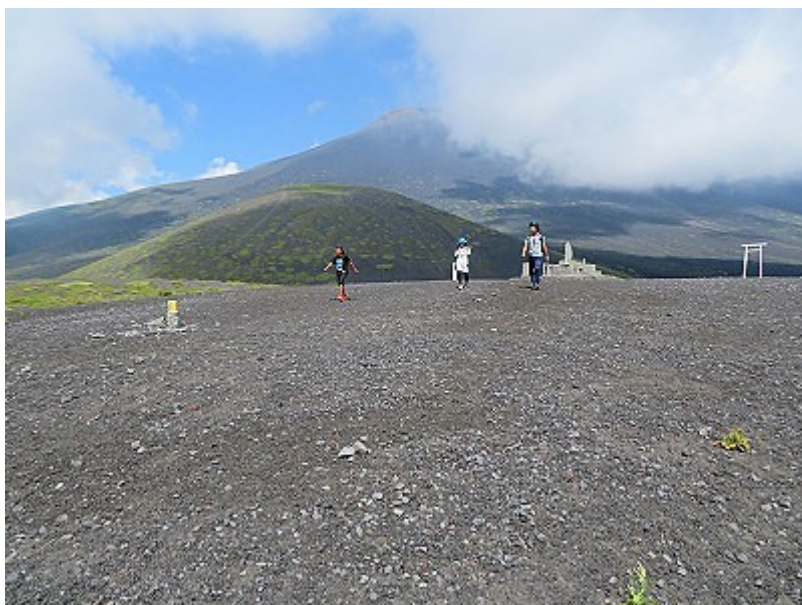
## 8月13日(火)晴・14度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2019年8月13日(火)07時09分44秒  
土曜日は、

富士山・ニッ塚でした。

気温は19度、風は爽やか。

しばらく、住みたい気持ちになりました。(´艸`)





## 8月12日(月)晴・23度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月12日(月)13時55分55秒

今朝は、少し涼しかった。庭のモッコウバラが干ばつで少し枯れてしまった。

そのかわり、今年は今のところ台風もなく、畑が順調。なかなか、うまくいかなかった、枝豆も実が入った。

今回はプロの方に聞いて作った。プロは、  
1. 間隔を離す 2. あまり早く植えない、だった。  
それを実行したら、うまくいった。

中型トマトが順調でたくさん収穫している。  
シシトウは成長はやく、毎日のように収穫。炒めていただくと美味しい。  
キュウリもぬか味噌が美味しいです。





**8月9日(金)晴・24度**

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月9日(金)08時12分9秒

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

つづき

Kも無理せず、途中で止めて降りてきた。事故があれば多くの方に迷惑・負担を掛ける。

小屋に下って大休憩。女性軍は何か購入希望だったが、何も無かったらしい。

管理人も不愛想だったようだ。

この小屋には、以前、冬2回泊まったことがある。最後は2011年1月。その記録を読むと夕食時、赤ワインを一本差し入れとあった。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/2011.01.18kinpu.pdf>

小屋前で先ほどの地下足袋カップル・キャンプ場の若い衆と談笑。地下足袋の二人は、ご夫婦だった。富士見小屋から来たという。昔、富士見小屋であった殺人事件で話題沸騰。キャンプ場の若い衆は山形出身でスキーがうまい。将来は、山スキーをやりたいだった。HPを見てで名刺を渡した。

下山は速かった。林道終点まで約1時間。その間、上ってきたのは4～5名。

やっぱり登山者は少なかった。キャンプ場まで林道が意外と長い。林道歩きは退屈で面白くない。途中の岩でクライマーが練習。

キャンプ場はガラガラ。今夜宿泊者がパラパラ。朝の残りゴハンを食べる。美味しかった。退出時に清算。一人一泊二日・900ー。まあまあか。ただ、人数のチェックはなし。自己申告。太っ腹。

清里の産直に寄って帰静。渋滞なし。下界は、相変わらず暑かった。







## 8月8日(木)晴・24度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月8日(木)09時38分46秒

つづき

結局、登山者が少なかったのは、下山後、判明した。下山したら予想通りキャンプ場は、ガラガラだった。要するに多くの方は、キャンプのみのキャンパーで登山者でなかった訳。考えてみれば、あんな人数が登山をしたら、逆にエライことだ。

イイ感じの登山道をグングン上る。北海道以来でややきつかった。花は少なかった。残りシャクナゲがパラパラ。山腹をトラバースして上ると小屋だった。小屋の看板は「金峯小屋」。

看板が、山名の「金峰山」ではない。ただ、読みは「きんぷさんこや」と呼ぶ。何故かは、判然としない。ネットでは、峰と峯の違いが一応あるが、やっぱり分かりにくい。

["http://lcymeeke.blog90.fc2.com/blog-entry-208.html"](http://lcymeeke.blog90.fc2.com/blog-entry-208.html)

小屋の物置に黒いラブラドルがいた。首輪がないのに大人しくしていた。下で会った3名は、この犬に会いに行くといっていた。小屋裏から直線的に頂上に向かう。背後に展望が広がる。

瑞牆山・小川山・廻り目平・眼下に金峯小屋が見えた。上から若いカップルが下りてきた。若い衆は「地下足袋」を履いていた。最近では珍しい。聞けば「歩き易い」だった。ただ、上りはよいが、下りで岩にぶつけると



痛い。雑談をして分かれたが、後で小屋でまた、一緒になった。

山頂は人が溢れていた。大弛峠からの人も多いが、瑞牆山荘方面も少なくない。五丈岩に何人か上っていた。Kが挑んだ。途中で先行の女性が下りれなくなり、助けてあげた。どうやら、上りはイイが下りが難しそうだった。

つづく





## 8月7日(水)晴・23度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月7日(水)06時00分53秒

つづき

そう言えば、先ほど会った犬を連れた3人組の若い女性は、「きんぽうさん・・・」と言っていた。

実は、金峰山は、「きんぷさん」、「きんぽうさん」と呼ばれている。甲斐(山梨)は、「きんぷさん」、信州は「きんぽうさん」と呼んでいる。それは、例えばヒマラヤの「エベレスト」も同じで、ネパールは「サガルマータ」、チベットは、「チョモランマ」と呼ぶ。

「エベレスト」もネパールの呼称。ちなみに「エベレスト」は、測量したイギリスの技師の名前から付けた。とすると、彼女は信州の方か??そんなことを考えながら沢を渡り尾根に取り付く。

金峰山は登山道が多い。1. 東の大弛峠から 2. 西の瑞牆山荘から 3. 南の表参道 4. そして今回の北の廻り目平から。いずれも素晴らしいコース。2. と4. は標高差が、1000m以上ある厳しいコース。

今回の北からのコースは、その方向故、夏向きのコース。樹林帯は直射日光が避けられ涼しく快適。加えて、昨夕の夕立でシットリ湿り、オゾンが溢れていた。

カラマツの落ち葉が登山道に積り、実に気持ちよく上れた。



しかし、キャンプ場に溢れていた人は何処に行ったのだろうか。登山者は少なかった。

途中、抜かしたのが、犬連れが3名、単独のオジサン。抜かれたのが、単独の若い衆、若いカップル、中年の単独。それだけである。これはおかしい。変だ。何故だ〜!!!

つづく



## 8月6日(火)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月6日(火)06時10分20秒

### つづき

早朝、キャンプ場を出発。天気は良い。すぐ上に若い衆が2名朝食中。専門のパン焼き器で調理していた。女性軍が物欲しそうなシナを作ったら「あげましょうか」で一片いただいた。聞けば、山形の出身で1名は清水に住んでいるという。感じの良い若い衆だった。結果的にはその後、山で交流した。

登山は当初、唐沢の滝までだった。登山口を目指したが、ずいぶん遠い。おかしいと思い地図を見たら、登山口はキャンプ場下だった。まだ、時間が早く金峰山を狙えるので、目標を金峰山に変更した。

2名はまだ上ったことがないので、2人はイイ山に変更でラッキーだった。超清流の西股沢沿いの林道を上る。尾根の取る付きまで標高差が約300mありから傾斜は案外強い。

キレイな青空が梢に広がっていた。前に犬を連れた3人組がいた。本来、山に犬はご法度。犬は雑菌が多いからだ。でも、面倒なので黙っていた。沢を渡る。丸木橋があった。丸木橋には金網が張ってあった。滑り止めだった。随分、優しい配慮だった。

南ALPSに大門沢がある。沢には丸木橋が沢山架かっている。中には、樹皮を剥いたばかりの橋がある。早朝、丸木橋を渡るが、朝露で濡れていると「怖ろしい」。実際、滑落事故も多い。激流の大門沢に落ちたらどうなるか。

### つづく







## 8月5日(月)晴・24度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月5日(月)11時29分42秒

今朝は、暑さが案外よかった。

土曜・日曜は、小川山・廻り目平キャンプと金峰山(2599m)登山でした。

下界が余りに暑いので、山に逃げた。

川系か高原系か山系か迷ったが、結局、山系の小川山・廻り目平にした。廻り目は、標高約1500m。空気はカラッとしている。直射日光は流石に熱いが、木陰は寒いくらいに涼しい。

廻り目平は、広大な林間にテントサイトが無数にある。何処にするかは自由。村営の金峰山荘はあるが、特に何も言わない。その辺は、自由でよろしい。

飲み水はサイト近くに水道があり、ガンガン流れている。トイレは歩いて2～3分にある。ウォシュレットでないが、極めてキレイ。ジュース・ビアとか自販機もある。ビア値段は、発泡酒でない350mlが、300円と良心的。

キャンパーは多い。車でガンガン入って来る。首都圏が多い。中には北海道のNOもあった。16時ころから、チビチビ始める。ワイン・ビアが進む。長ズボン・長袖・ジャンパーを着ないと寒い。

雲行きが怪しいと思ったら、そのうち、ピカピカ・ガラガラと派手な雷。真上ではないが、かなり近く感じ。夕立もあったが止んだ。夕食は、「すき焼き」涼しいので、食は進む。

夜はキャンパーが24時過ぎまで騒がしかったのが欠点だった。

つづく







## 8月2日(金)晴・24度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月2日(金)09時32分10秒

つづき

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・写真 K

H

山行NO	山行NO. 1825-2
日時	2019.07.17日(水)
山域	雌阿寒岳(1499m・深田百名山)
コース	阿寒温泉5:07-七合目6:37-雌阿寒岳7:16- オンネト-登山口9:16-湖畔道-阿寒温泉10:48-斜 里岳移動
標高差	上り 阿寒温泉約710m~雌阿寒岳1499m=約789m 下り 雌阿寒岳1499m~オンネト-約640m=859m

青沼・赤沼を見に行く

雌阿寒岳は現役の活火山である。八合目付近からゴオーゴオーと噴煙の音が凄くて今にも噴火するんじゃないかと不安を感じた程である。今回は雄阿寒温泉コースから上りオンネト-コースを辿る。

雄阿寒温泉には昔2件の宿があったが、1件のお風呂で入浴中に硫化水素を吸い亡くなった。それで宿を閉めてしまった。今は1件のみです。と登山客から教えてもらった。野中温泉は現存しているが、もう1件は廃

屋化していた。

無料駐車場は広い。きれいな立派なトイレもあり、此処で皆車中泊をしていた。大阪

からきていたご夫婦は毎年3ヶ月位北海道を巡り歩くとか。駐車場から少し下り⇒横看板

をよく読んでから登山開始。

火山の恐さと熊の顔の迫力にまける。ザックの鈴を確認し、木の根の張り出した赤エゾ松

のスッキリとした林の中を森林浴をゆっくりと味わいながら歩く。

空は高く、曇り日和だが雨は感じられない。これなら阿寒富士までいけそうだ。

小鳥のさえずりが後押ししてくれた。駐車場にあんなに車があったのに誰も登って

こないのが不思議。

だが、山はやっぱり静かに登れるのが一番いい。「こんにちは。こんにちは」

と米つきバツタのように挨拶ばかりでは山に登っている感じが全くしない。

つづく







## 8月12日(金)晴・24度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年8月1日(木)06時04分7秒

つづき

額平川・六ノ沢出合まで標高差約826mは半端でなかった。体はガタガタ、  
膝はガクガク。行動時間は既に6時間だった。沢靴に替えて山荘に下る。  
大きな渡渉はなかった。山荘裏で「水力発電装置」を確認したが分からなかった。

山荘で大休止。ラーメンを食う。例の幌尻で深田百名山の方と再会。  
しかし、明日の天気はハッキリしない。倍以上になったザック

を背負い、再び下山。沢はやっぱり下りが楽だった。ツアーが2パーティー上って来た。

年配の女性が多い。危なっかしい歩きでガイドも大変だ。女性のサブ・ガイドもいる。

小屋管理人の話では、ちょっと前、この辺でクマがシカを食べていたという。

しかも2回だ。シカの足が早いと思うが、管理人いわく「クマの足はあなどれない」だった。

確かに山レコを見たら、昨年、1日に2回クマが目撃されている。

実際、会ったらビビるね。今夜の山荘は、ツアーが3パーティーで混雑。混んだ小屋は辛い。

程なく林道。登山靴に履き替え歩く。長い、暑い、足は重い、荷も重い、疲れた、の「五重苦」。今日、日帰りの若い衆（といっても50歳代のバツイチ）と交流。百名山狙いで兵庫から来た。

明日は、トムラウシを日帰りという。サーフィンが好きで伊豆に時々来るという。

バス停に着いた。疲れて口を利くのも億劫だった。

無理もない、この歳で今日の行動は、11時間に及んだ。プレハブ小屋でバタンキュー。

1時間でバスが来た。ドライバーは同じ若い衆。感じはよい。

バスには、ジュース・ビア販売がある。ロング缶600円でゲット。

有難い。再び、とよぬか荘泊。素泊まりは3000円。ガラガラだった。長い長い、幌尻岳は終わった。

つづく







## 7月31日(水)晴・23度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月31日(水)06時33分34秒

つづき

長居せず戸蔦別に向かう。ガスが去来。程なく、下から男性3名が上って来た。

チロロからだ。年配の方がいた。よく頑張る。幌尻山荘の下降点を聞く。北戸蔦別の道標はあるが、山荘の道標はないという。「注意して」のアドバイス。

有難い。エールを交わし分かれた。昨夜の自衛隊員が「ハイマツが酷い」といってたが、驚くほどのものではなかった。この程度は南ALPSにもある。

ただ、昨日午後は雨だったから、その分は大変と思う。

最低コルからセツ沼に下る道があった。情報では、高校生パーティーが泊まったとあったが、確認できなかった。ここに泊まるのはよいが、皆さん「大」の処理をどうするか。ひと夏、大人数が泊り「大」を行えば環境への影響は大きい。本来「持ち帰り」をすべきだろう。マッキンリーなど徹底しているが、日本は甘い。

最低コルから、戸蔦別まで標高差約200mは厳しい上り。ガスが晴れそうで晴れない。

ここからスッキリした幌尻を期待したが・・・。戸蔦別に上った。未練はあったが下山。

ヨツバシオガマの色が素晴らしい。花丈が低く纏まっている。

山荘下降点は分かりにくかったが分かった。ハイマツが大きい。

左手に幌尻の北カールが広がっていた。「よくぞこんな尾根に道を作った」感じの尾根。

大昔は、山荘からの道はなかったから、ここを上ったであろう。

ただ、深田久弥は、東の新冠川からセツ沼経由で上っている。1961年（S36年）

8月初旬。58年前だった。

（山荘は、1966年ころ建設。北カールの登山道も同じころ）

つづく







## 7月30日(火)晴・25度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月30日(火)05時54分3秒

幌尻岳つづき

涼しくて上りやすい。稜線に青空がのぞき期待した。一昨日、とよぬか荘で会った方は、幌尻が深田百名山最後で好天気の上りたいで、わざわざ、とよぬか荘2泊、幌尻荘2泊した。

しかし、山の天気が果たして思うように上手くいくものか?? 書物にあるように、西からの幌尻は何処がピークかハッキリしない。何となくダラダラっとしている。ズルズル上っていくと、新冠(にいかっぶ)登山道分岐着。

このコースは、グレート・トラバースの田中陽希が上って一躍有名になった。ただ、林道を19kmほど歩く。同時にコース的にイマイチ面白くない。田中は縦走故、ここを選んだのか?? (今年は崩壊で通行止め)

幌尻岳には簡単に着いた。初めて北海道に渡って、実に44年ぶりだった。特に感慨はない。コースタイムよりだいぶ早かった。頂上には、チロロからの若い衆が1名いた。戸蔦別辺りで泊まったようだ。

しかし、我々の今日は12時間行動なのでノンビリは出来ない。感激もそこそこに戸蔦別岳に向かう。多くの登山者は山荘からピストン。しかも行き・帰りで2泊する。我々は、戸蔦別から糠平川源流に降りて一気に帰る。理由はある。戸蔦別からセツ沼カールを抱いた幌尻はサイコーの景観。それを見ないで帰れない。(死ねない??!! 笑い)

つづく







## 7月29日(月)曇・24度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月29日(月)05時59分38秒

つづき

突然来訪の海蔵寺だったが、女性の住職代行さんは歓待だった。境内で良かったが、本堂に冷えた茶を用意してくれた。ウオークは巡礼の仲間も多いので、食事前にお勤めをした。経本はないが、般若心経は完ぺきに暗記している。ま、12年の実績・成果だろうか。

ウオークはここで終了なので、ユックリ昼食を済ませた。余りの暑さか、ビアを4本やってしまった。それでも尿意は全くないから、やっぱり大汗だったのか。

食後、代行さんとお話し。彼女は住職の義娘。住職夫婦には子供はなかった。

3年前、ユニークだった義母が亡くなり、義父は病気がちで動けない。この日も用事があると「オ～イ、オ～イ」と声を掛ける。

それまで埼玉に住んでいた。義娘だが父母は父母。こちらに来た。旦那・子供達は、週末にやって来る。以前は、やや荒廃していた寺だったが、最近はキレイ。旦那が毎週、頑張って整備しているという。

寺は京都・清水寺と懇意で貫主（かんしゅ）が時々来て話をする。そういえば、あいあい岬に県知事・川勝平太の言葉の額があったが、寺の口利きで、あの有名な貫主が書いたという。

埼玉では10名の里親を担ったという。そして里親をした1名が現在、

清水寺で修行中。いずれ寺を継ぐという。

14時半、バスに乗って帰る。兎に角「暑い・熱い・厚い一日」だった。  
お疲れさまでした。合掌。





## 7月26日(金)晴・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月26日(金)06時09分25秒

つづき

眼下の海は、大根（島）を始め、大小の島が点在していた。波が穏やかで太平洋に突出した海は正にキレイだった。目を凝らすと大根の手前の島に沢山の海水浴客がいた。賑やかだった。しかし、ここは陸路で行けない。実は中木から渡し船が出ていた。

売店のオネエさんの話では、1日＝2000ーという。1日というのは何回乗ってもイイそう。理由があった。島にはトイレがないので、トイレの際、中木に戻るそう。ただ、「小は海でやっちゃうね」と返したら、「そうね」と笑っていた。

中木に下る。「中木上」のバス停からショートカット。中木港は、前述の海水浴客で溢れていた。平日だが凄い人出。車は殆ど首都圏だった。港は、ジオの柱状岩壁とか見どころが多いが、このところの大雨で土砂が崩れ通行止めだった。仕方がないが諦めた。

予定では中木で昼食。そんなことで時間が余ったので、昼前に入間への南伊豆歩道を歩く。太陽は真上から容赦なく注ぐ。湿度は100%。セミが五月蠅い。昨日まで雨だった歩道はグズグズ。この「熱地獄」にウォーキング??！海水浴でしょ～う！！

この暑さでも余り感じない会員がいらっしゃるようだが、ちょっと変。年齢を重ねると暑さを感じなくなるというが、それですかね～??（`艸`）

歩道は1時間半かかった。滑ったり、尻もちをついたり、転げ落ちた方もいたが、兎に角、入間に無事着いた。日陰がないので、伊豆札所で世話になっている海蔵寺に寄った。その時、地元の強面のオヤジが来て、バス駐車代金1000ーを請求された。ドライバーは予算がないで、突っぱねたが、喧嘩はイヤだから大人しく支払った。

つづく





## 7月25日(木)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月25日(木)07時04分4秒

昨日は

7月度・伊豆ウオークでした。コースは、石廊崎港～石廊崎～あいあい岬～中木～南伊豆歩道～入間（いるま）～海蔵寺（昼食）。天気＝晴れ・蒸し暑い。

距離＝13km（南伊豆歩道は難路）。参加＝15名

当初、高気温予報で延期のお知らせ。その後、最高気温が29度になり、会員の

強い希望があり実施。それも有り参加者が減った。

ウオーク前に、今満開であろうハマボウを吉佐美・大賀茂川に見に行った。

予想は

ドンピシャで満開のハマボウを堪能した。皆さんは大いに喜んだ。

前回最終の石廊崎港から出発。早くも汗がしたたる。以前あった「ジャングル・

パーク」は、「石廊崎オーシャンパーク」に変わった。相当、お金を使ったと

思うが閑散としていた。広大な駐車場は、自家用車500。駐車場が有料では

寄っていく方は少ない。結局、10年もすれば閉鎖だろう。

石廊崎灯台下でオジサンが朝の清掃。聞けばここを管理している南伊豆町の

事務局長さんだった。しばし、世間話で盛り上がった。以前あった大きな灯台

（ではないが）みたいな気象観測塔は既になくなっていた。オジサンにも、駐車場

有料を話すと、「そうだそうだ」といった。地元もそう思っている訳。

石廊崎はなかなか素晴らしい。綺麗な海と風化現象が荒々しい岩壁が見事。

上り返し県道に戻る。ピカピカの岬への進入道路と未だに撤去されていない過去の

お化け屋敷みたいな廃屋が実にチグハグ。

あいあい岬で「ゆうすげの丘」に上る。ただ、ユウスゲは、夕方開花するので、昼は

ややしぼんでいる。それでも広大なお花畑は見事。休憩店に入り「ソフトクリーム」

「アイスモナカ」を楽しんだ。

つづく





## 7月24日(水)晴・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月24日(水)04時25分31秒

つづき

7月15日(月)曇り時々晴れ

コース 起床3:45-幌尻山荘発4:45-命の水4:58-幌尻岳  
6:52-最低コル8:03-戸蔦別岳9:04-幌尻山荘分岐  
9:41-額平川10:57-幌尻山荘11:39~55-林  
道終点13:37-バス停15:55-バス17:00-ぬかひ  
ら荘18:00(泊)

標高差 上り 幌尻山荘約950m~幌尻岳2052m=約1102m  
最低コル約1750m~戸蔦別岳1959m=約209m  
下り 幌尻岳2052m~最低コル約1750m=約302m  
戸蔦別岳1959m~バス停車場約770m=約1189m

44年ぶりの幌尻岳・行動は12時間！！

雨は止んだ。夜、寒かったので天気を期待する。5時前山荘発。既に十分  
明るかった。

下草を刈ってあるので、カッパは履かなかった。休養は十分なのでグング  
ン上る。

山腹を回り込むと尾根に出た。標高1500m付近に「命の水」がある。  
初めての日高の山々が朝もやに煙っていた。この辺りから本格的な上りに  
なる。

つづく





## 7月23日(火)曇・22度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月22日(月)16時32分47秒

つづき

幌尻山荘（小屋）は、ログハウス風の二階建ての立派な作り。素泊まり2000ー。食料は自分で上げる。水はある。ビア350mlが700ー。板の間に敷く毛布が一枚出る。元々、営林署の施設を町が払い下げで山荘にした。

しかし、道路がない山で機材・部材を上げるのは、容易なことではなかった  
だろう。古の関係者の情熱には、感謝の一言しかない。



収容人員は45名。完全予約制。つまり日帰りを除けば、一日45名しか登山出来ない。電灯はある。電源は、水力発電という。電気は、同時にバイオトイレにも使っている。

トイレは一杯になったら人力で下すという。地元の方々が、正に「ふんとう」して頭が下がる。ちなみに、早池峰も地元の労山が下ろしている。遡行するだけで大変な沢を背負って下す。詳しくは下記にあるので、読んでいただきたい。

href="https://bavarde.exblog.jp/16314408/">  
<https://bavarde.exblog.jp/16314408/>

北海道に初めて渡ったのは1975年。その時、幌尻岳を上る機会がなかった訳でもなかったが、何故か上らなかった。理由があった。その5年前、日高のカムイエクウチカウチ山で福岡大学生がヒグマに襲われ3名亡くなる事件があった。それ以来、世間では、ヒグマに一定のイメージが出来てしまった。

小屋は空いていた。17時ころ、ツアーの方が10余名来た。ガイドは有名な方らしい。若い女性が多かった。殆ど無所属だろう。一説には、1日3万円以上の高いガイド料支払っての参加。山岳会に入る気持ちはないだろうか。

雨が激しくなった。その中、単独の自衛隊員が周遊コースで下って来た。45歳くらいで馬力はある。周遊コースは少ない。多くはピストン。我々も明日、周遊コースだ。聞けば「ハイ松が酷かった」だった。福島から単身赴任で来ているという。いろいろ聞けば現在、自衛隊は予算が厳しく、装備は古く、月給も低い。「ほとんど、ブラック企業」の言葉が印象的だった。夜は、シュラフカバー2枚は、やや寒かった。

つづく





## 7月22日(月)曇・22度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月22日(月)06時57分2秒

先週

は北海道遠征でした。北海道は今年で3年連続。今回の主な目的は、懸案の幌尻岳登山。過去、2年は上れなかった。一昨年は北面のチロロから目指したが、台風で林道が流され4時間歩き時間切れ。

去年は、大雨で額平川（ぬかひらかわ）が増水し、四の沢付近までしか行けず我々3名は下山。一緒だった、管理人のみ小屋に入った。今回、管理人と再会したが、彼は2週間小屋に閉じ込められたとのこと。我々は上らなくて良かった。



大洗から19:45夕方便フェリーで14:00苫小牧着。フェリーは、往復約4万。寢室はカプセルホテル風のベッドで、一応個室。レストラン夕食は1500円でマズマズ。風呂が完備。朝も6:30から利用できる。

船はサンフラワー。帰りは少し揺れた。深夜便が揺れないという。深夜便は元々、日本海用の船で荒波に強い設計だという。揺れている時、廊下を移動するとフラフラする。時間が長いのでやや退屈。本などを持参したほうがイイ。

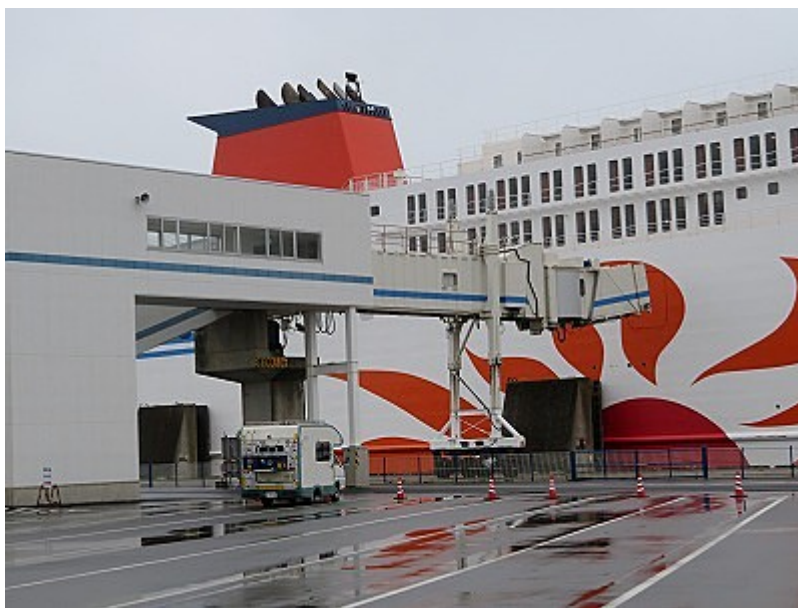
天気はまあまあだった。今回は、天気を精査し臨んだ。フェリーは当日でも空いていれば変更が可能。結局、2~3回日程を変更した。苫小牧から車で取手町の「ぬかひら荘」着。丸坊主で強面の管理人は、去年の我々を覚えていてくれた。兎に角、去年の前半は大変だったらしい。

山荘は空いていた。今日、日帰りの女性と情報交換。多忙なので日帰りだったという。額平川の水は少ないという。翌日は、4時のバスもあるが、8時のバス

で入山。ドライバーは、虫が嫌いね若い方。1時間で終点。ここから林道を約2時間歩く。昨年、雪代で流された終点の橋は、すでに修復されていた。随分、早い対応だった。

額平川は全く問題なく幌尻山荘着。小屋は空いていた。去年の管理人と再会。年齢は50歳くらいだった。いろいろ話をしたが、自宅の庭に「コマクサのお花畑」があるで写真を見せてくれた。北海道ならではの話である。

つづく





## 7月11日(木)晴・17度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月11日(木)05時59分46秒

御殿場人さん

投稿、有難うございます。富士山は、問題が多いですね。そもそも、富士山頂は県のものではない。勝手に？入山料を取れるか??!!

昨日は、7月度・伊豆巡礼でした。

コースは、52番・曹洞院～53番・宝徳院～54番・長谷寺～55番・修福寺。天気＝晴・風あり・湿度低。歩数＝約21000。距離＝約15km。



梅雨の晴れ間で天気は良かった。湿度も低く歩きやすい。曹洞院から出発。大賀茂川から53番・宝徳院に入る。御詠歌で集うご婦人が何人かいた。何人か、裏山の三十三観音を見学。

大賀茂川河口の「ハマボウ道」を進む。先日、ウオーク時は開花していなかったが、パラパラ咲いていた。クリーム色の美しい花。一同、感激・感動。碁石が浜からサンドスキー場を歩き、竜宮窟に寄って、54番・長谷寺着。

寺は大きくないが、本尊の阿弥陀如来は以前、国宝だった。現在は国の重文。大昔、浜に打ち上げられたという。金ピカでないのが美しい。自然の感じがする。お勤め後、本堂で昼食。境内にセミが鳴いていた。こちらは早い。

つづく（しばらく休載します）





## 同感

[返信・引用](#)

投稿者:御殿場人 投稿日:2019年7月9日(火)11時07分42秒

富士文化遺産センターに三十数億円もかける前に富士山ゴミを撤去をするべきであったと思います。

トイレも小屋前を通過するだけでトイレ臭がしガッカリします。且つ入山料も強制ではないが徴収したりと県は何を考えているんだろうか？

## 7月9日(火)曇・16度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月9日(火)05時47分2秒

つづき

沢は幕岩下で終わり、右岸を上る。(山の場合、右岸は下から見て左の岸) 適当に湿っているので、サクサクと上りやすい。ただ、今日の私の荷物は重かった。

「歩荷」と呼ばれる訓練だった。通常、日帰りの荷物は多くても10kg程度。大きな山は16~18kgになるから、それを想定した荷物で上って心身を鍛える。

しかし、今日の他のメンバーは、山行のテーマ「夏山訓練」にも関わらず、荷物は軽量だった。しかも、私より若い。1名の男子に至っては、49歳で約二回り、23歳違った。



当然、歩行スピードは違う。でも、彼らはそんなことはどこ吹く風で、「今日は楽でイイな〜」とノンビリ登山を満喫していた。私は「自分のため」と決め込み、覚悟で上る。早くも出たキノコを物色したり、ま、急がなければ、全く問題はない。

小さな尾根を越えると、後ろから若い男子が二名やって来た。ランナーだった。結構、寒い日だったが、二人は半ズボンだった。聞けば「頂上まで行く」という。しかし、2350m峰で風がかなり強かったので、頂上は無理でなかったか。

御殿庭上り途中の登山道に昔のものと思われるゴミが埋まっていた。私の54年の登山記憶では、過去、ここに小屋・人工的施設はなかったと思うが、調べてみる必要もある。仮に掘ったら大規模なゴミ跡なら、処分が必要になる。

先日も富士宮六合小屋付近に「埋まった過去のゴミ遺産」があった。本来、小屋は直ちに処分しなければならないが、その努力を怠っている。それが、皆さんが知らない「世界遺産の現状」である。

つづく





## 7月8日(月)晴・17度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月8日(月)04時46分26秒

土曜日は

富士山・宝永山2352mでした。

上り=約4H、標高差=約1000m、参加=3名

天気は最悪だった。ただ、このところ悪天候がつづき、山に行けず欲求不満。加えて、夏山を迎え、体力低下が心配。「少々雨でも歩きたい！！」で出かけた。

御殿場はショボショボの小雨。しかし、西の上空は案外明るい。今回は幕岩沢（仮称）～幕岩～ニツ塚分岐～御殿庭～2352mを目指した。

沢は物凄い土砂の押し出して、以前の景観はなかった。このところそれほどの豪雨はなかったと感じていたが、お山は必ずしもそうではないようだ。

ツルツルの溶岩床を進み滝を上る。Kさんに写真用に上って貰ったが途中で「スルスルスル～」と落ちて、小さな滝つぼにドボン。靴の中は水びだして最悪だった。

沢の樹間に唐突に富士山が現れた。一同感嘆。いつの間にか雨は止んで、上空は晴れた。富士山の場合、こんなシーンが案外多い。雲の上は青空が



見えた。

つづく



## 7月5日(金)曇・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月5日(金)05時04分57秒

6月13日

7月度・伊豆巡礼のつづき

この林道を最初に歩いたのは、2010年5月だった。  
林道が歩けなかったら、再び車道を蓮台寺まで戻り、車道の峠越えになる。  
どちらが効率的か??

車道の距離は倍。ただし、厳しい上り下りはない。林道の距離は半分  
だが、上り下りが多い。四国お遍路もそうだが、一部、戻りダブって  
歩く部分がある。戻らないで行くコースもあるが、出来れば「一筆書き」  
が望ましい。

伊豆も出来るだけ「一筆書き」がイイ。山越え林道を歩いているのは、  
恐らく、我々だけではないかと思う。そもそも、伊豆巡礼を歩きでやって  
いる方を聞いたことはない。仮にいたとしたら、是非、この山越えコース  
を歩いて貰いたいものだ。

林道が終わると名もない峠。いや、名前は調べればあるかもしれない。  
何故なら、下った途中には多くの道祖神・石碑が点在する。大昔、この  
道が頻繁に使われていた証拠である。

一度調べたことがあるが、名もない峠の脇の竹林には、杣道が存在する。  
林道が出来る以前は、この杣道を使っていた可能性はある。時間があれば、  
地元の方に聞く必要がある。

つづく







## **7月4日(木)雨・18度**

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月4日(木)05時53分54秒

### 山の会

のAさんが、先日、尾瀬で遊びました。  
尾瀬は5月に至仏岳にスキーで行きましたが、雪はすっかり  
なくなりました。

Aさんの報告です。  
至仏岳に燧ヶ岳、水芭蕉といつもと変わらない尾瀬をのんびりと散策。  
山の鼻から牛首に向かう途中の木道を横切る子熊に遭遇！

親熊が出て来なくて良かったです。

今回の楽しみの一つに、日本酒の「水芭蕉」を使用した、  
大人のスイーツを食べたかったのですが、至仏山荘では売り切れ、  
鳩待峠では仕込中で食べられず残念！  
水芭蕉、リュウキンカが見頃でした。

ありがとうございました。







## 7月3日(水)曇・17度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月3日(水)05時40分59秒

昨日は

時間があつたので、夕食に「オムライス」を作った。  
料理は嫌いでないので時々作る。  
昨日、料理番組で作っていたのが影響かも。

その番組は、まず大きなフライパンで卵を焼く。黄身だけのキレイな  
タマゴ焼きだった。タマゴ焼きはラップに乗せる。そこに四角いタッパに  
詰めたゴハンを乗せてタマゴを閉じる。それをひっくり返す。

タマゴに抱かれた、四角いキレイな「オムレツ」が出来る。ただ、  
これだけでは面白くない。上面の四角いところに×(バツ)印に  
包丁を入れる。そうすると、どうだろう、タマゴがめくれ、中の  
ゴハンが顔を出す。見事な「オムライス」が出来た。

ただ、我が家は大きなフライパンがないので、大きなタマギ焼きは  
出来ない。仕方がないから、普通の「オムライス」になった。  
ゴハンの具は、畑のタマネギ・グリーンピースを使った。鶏肉も入れた。

ゴハンをタマゴで包み、畑のミニトマト・シシトウを添えて完成。  
味は??!!。サイコーでした。美味しかったデス。ワインを  
いただければ更に良いですね。





## 7月2日(火)曇・18度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月2日(火)07時49分36秒

土曜日は

山の会のT君の送別会だった。

T君は、7月16日から、八ヶ岳・天狗岳の黒百合ヒュッテに就職する。

T君は山が好きで、当会に入った。

仕事は飲食業で、毎日が「夜討ち朝駆け」。当然、土日など休みは取れない。好きな山は行けない。そんな生活を何年も続けてきたが、年齢は26歳になり、一念発起した。

生活環境はガラッと変わる。小屋の仕事は多い。生鮮食料など歩荷（荷上げ）もあるという。サービス業だから、何でもお客第一に考えなければならない。ちと古いが、「滅私奉公」を地で行く。ちなみに「風呂」は、週一。食事は、低額で三食いただける。

小屋には、夫婦で働く方が2組いるという。1組は、お金を使う環境でないので、ガッチリ貯金をして「パン屋」を開業するのが夢・目標という。T君も研鑽を重ね、山のガイド・指導者になればイイという。

私もかつては、「山の、で仕事」を考えたが、成し得なかった。T君にはしばらく大変だろうが、頑張って貰いたい。冬の天狗岳は毎年上っている。冬になったら皆で遊びに行こう。T君に幸あれ!!!





## 7月1日(月)曇・17度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年7月1日(月)06時10分24秒

つづき

肉食組は、青野川「道の駅」で食べた。木陰で涼しい風が吹いていた。午後は、バスで肉食組を迎えに行き、弓ヶ浜大橋で降りて歩く。日差しが強く照り返しが暑かった。青野川にも「ハマボウ」があった。

手石～下流（したる）～大瀬（おおせ）を歩く。この辺は、同じ静岡人でも馴染みがないところ。1時間ほど歩き休憩。シルバーの方が、炎天下、草刈りをしていた。海の岩礁には「根性松」があった。岩だけの小さな島に一本の松が生えている。



私はこの松を初めて見たのは12年前の巡礼時。松はある程度乾燥に強い植物だが、ほとんど水分がない岩島で生きていることは驚異だ。地下水は全くないから、天水だけで生きている。シルバーのオジサンも「俺も心配だ」と話していた。いつまでも元気でいてもらいたい。

大瀬から少力で「南伊豆アロエセンター」に着く。向かいに「旭洋丸水産」の干物屋がある。いつも寄る所だ。店頭で魚を焼いていて無料で食べられる。勿論、店は干物を購入して貰いたい。奥に畑があって春は見事な花が咲く。

花畑で花を作っているのは、大瀬に住む、山本喜久世（90）さん。高齢だが若々しい。花の種は10万掛かるといふ。出来た花は店で売るが、通販はしていないので、種代は出ないといふ。まだまだ、頑張つて貰いたい。田舎に元気な方がいると嬉しくなってしまう。

近々、「巡礼でまた来ます」で辞した。石廊崎港で記念写真を撮つてお終い。皆さん、よく歩きました。

おわり





## 6月28日(金)曇・17度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月28日(金)05時03分13秒

今期初の台風襲来。静岡は、たいしたことがなく良かった。  
台風は畑が心配です。昨年はナスなどが全滅だった。(´;ω;`)ウウ  
日本の夏は、台風との戦いだ。

つづき

「ハマボウ」の林は延々とつづき見事だった。来月が楽しみ。  
碁石ヶ浜に出た。ここもサーファー・海水浴者が多い。  
キレイ入り江が多い。夏は人で溢れるだろう。暑さの中、甲羅干しの方が  
何人かいた。

先は浜が無くなり、荒磯がつづく。トンネルが多く、風洞現象でイイ風が  
吹く。皆で大休止。程なく、サンドスキーと竜宮窟着。竜宮窟は、平日だ  
が観光客で賑わっていた。見れば、地元のオジサンがしっかり駐車代を取  
っていた。

どこでもあるが、地元の老人会か何かがやっている。ま、こづかい稼ぎと  
いえばそんな感じ。聞けば「夏の間だけだよ」とはにかんだ。結構、シャ  
イだね。山路を歩くので、竹製のツエが数本用意してあった。聞きそびれ  
たが、まさか、有料ではないと思うが・・・。(´艸`)

この先、田牛(とうじ)～タライ岬～弓ヶ浜～青野川は、3月のお花見で  
ウオーク済なのでパス。バスで青野川に向かう。このような場合、バスは



有難い。

青野川で昼食。今回は外食組（食事処・おか田）と内食（お弁当・道の駅）と分かれた。大方の予想を反し、外食は5名で、内食が多かった。外食は、金目・ジャンボエビ・刺身定食・いわくら定食など楽しんだようだ。

つづく（土・日は休載日です）



## 6月27日(木)曇・17度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2019年6月27日(木)05時44分27秒

昨日は

6月度・伊豆ウオーキングでした。  
コースは、下田・海中水族館～多々戸浜～海岸～入田浜～R136  
～吉佐美～ハマボウ道（大賀茂川堤防）～大浜～竜宮窟～バス～  
青野川・道の駅（昼食・外食＝おか田）～青野川大橋～下流（したる）  
～大瀬（おおせ）～アロエ店～石廊崎港。天気＝晴・湿気少。距離＝  
実働5h・17km。参加＝17名。

天気は良かった。前回、最終の下田・海中水族館からスタート。水槽で  
イルカが2回ジャンプ。1回は2頭揃ってだったが、予兆なしで  
いきなりだったので写真が撮れず口惜し～！！

水族館裏から赤根島を目指す。入口で地元のジイさんが、「道が狭い」  
とガイド。草ボウボウの道。上は良かったが、道は頂上までなかった。  
やむなくUターン。

磯道を歩く。岩礁とキレイな海水が良い。ご夫婦が釣を楽しんでいた。  
東急ホテル下を通過して、一旦、R136に出て、多々戸浜に降りる。  
美しい白砂の浜が大きい。サーファー・海水浴者がたわむれる。

浜を進み岬の岩礁道を進む。道と行っても道はない。大きな岩を右に左に  
上ったり下ったり、何とか歩く。以前に比べ、やや荒れた感じだった。  
スカシユリが咲いていた。それでも皆さんの踏ん張りで、何とか入田浜着。

やや小規模だが、白浜がつづく。ここで私の記憶が途絶えていた。  
ここが次の大浜と思っていたが、そうでなかった。帰って記録を調べたら、  
引き続き磯道を歩き、大浜に出るべきだった。

記憶がなかったので、再びR136に出た。納経印を貰うKさんは  
先行し印をいただいたようだ。日陰で大休憩後、吉佐美に向かった。  
大賀茂川堤防の「ハマボウ」を観察するが、開花には1ヶ月早かった。

つづく





## 6月26日(水)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月26日(水)04時33分15秒

つづき

自衛隊応援者さま

投稿有難うございます。「訓練」には違いないですね。私が思ったのは、「仕事か趣味」かです。土曜日ですから、「仕事」ではない??もっとも、自衛隊が「仕事」で富士山マラソン出場なら、「訓練」も仕事かも??。

ザックザック、快適に下る。ほどなく大石茶屋着。ここで本日最初の休憩。茶屋には、軽トラックがあった。覗くと主人の勝又さんがいた。7月営業開始で準備に来たという。勝又さんは木製のベンチを出してくれた。有難い。小屋がたびたび、「雪代(ゆきしろ)」でやられるが話題になった。ただ、最近は降雪の標高が上がり、被害は少なくなったとのこと。温暖化の影響か。

小屋の柵で濡れた衣服を干した。上から男女数名のランナーが下って来た。宝永山中腹まで往復のようだ。皆は「腹が減った」で、オムスビなどを食べていた。私は食べると昼食がマズクなるので飲み物だけにした。

再び雨が降りそうなので、早々に下山。洞門に下るところで見事な「ヤマボウシ」が見られた。洞門の駐車場(正式なものではない)に例の「立ち入り禁止」の看板がある。大昔はなかったが、最近見られる。ただ、何処で表示してあるか、理由も不明は二合目まで上がれず、登山者は駐車場に苦労する。

諸般の事情はあるだろうが、ならば正式な駐車場を作って貰いたいのは、私だけではないでしょう。

おわり







## これは仕事か趣味か??

[返信・引用](#)

投稿者:自衛隊応援者 投稿日:2019年6月25日(火)20時32分53秒  
訓練に決まっているでしょう。

## 6月25日(火)晴・15度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月25日(火)05時49分28秒  
つづき

自衛隊員は足早に去っていった。これは仕事か趣味か??  
コルで一休み。

意外??だったが、HとGが速かった。KとIは遅れた。  
Iは出向で5kg体重が増えたという。しばらく大変だろう。  
雨は止んだのでカッパを脱いだ。

見える範囲なのでKと先行する。冬、雪の季節に来ることが多い  
ニッ塚だが、無雪期も案外新鮮だった。  
上から早くも男女二名降りて来た。聞けば、今朝、御殿場口二合目から  
上ったという。やっぱり悪天候で転戦したという。

上塚に着いた。このピークは寄生火山だが、2000mに少し欠ける。  
樹木が皆無なので気持ち良い。登山・スキーの訓練にイイ山でその存在が有  
難い。  
下山は西のコルに降りる。

フジハタザオ・ミヤマオトコヨモギ・タカネツメクサ・オンタデ・イタド  
リが咲いていた。  
広大な砂礫地帯に点々とサークルがあった。草花がテリトリーを守ってい  
る「島」  
だった。

所々にこぶし大の足跡が伸びている。シカの足跡だった。こんなところま  
でシカは  
食べ物を探しに来るのか。しかも各所に穴があった。シカが植物の根を食  
べるため  
掘った穴のようだ。

ザックザックと快適に下る。砂礫は適度に湿っているので「ホコリ」が立  
たなくて  
よろしい。気温が上昇し水蒸気が地表にまとわりつくように流れ、幻想的  
な雰囲気  
かもしだしていた。以前、谷川岳でみた、超自然現象のようで皆一同に歓  
声を上げた。

つづく





## 6月24日(月)雨・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月24日(月)06時58分9秒

先週

土曜日は、富士山・ニッ塚（双子山・1929m）でした。  
天気は、雨～曇。標高差＝629m。参加＝6名。

愛知出向から戻ったI君の歓迎山行。予定は西丹沢・屏風岩山バリエーションだった。が、山北まで行くとザンザン降りの雨。即、Uターンして他山域をさがす。沼津ALPSの案があったが、既に雲の中。

富士山五合目に上り、雲の上に出ようで向かうが、やはり雲が掛ってきた。どこもいずれ降るだろうから、素早い行動でニッ塚を目指す。最初は「キリション」（霧雨）だったが、やがて本降り。

ただ、富士山は樹木がないので、案外、快適。火山礫をザクザクと上っていく。風はなかった。寒くもなかった。初夏の草花が咲いていた。下塚・上塚のコルに達した。後ろから走って来る人がいた。

富士山マラソン訓練の自衛隊員だった。脚の筋肉が凄かったと仲間がいていた。全部で10名程度。「富士宮口まで行く」といていたが、標高約2380mまで上るのか??それは、なかなか厳しい。最後の一人は苦しそうだった。

つづく







## 6月21日(金)曇・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月21日(金)05時21分51秒

つづき

後で聞いた話だが、今日はとりあえず下るという。  
また、上るのも大変なこと。ちなみに夏は九合 小屋に宿泊するという。  
下るタイミングが遅れたKY、GMIは、だいぶ待たされた。

ブル道は、雪が圧縮され歩き易くなった。九合五勺で大休止。  
頂上は早くも怪しげな雲が湧いてきた。

九合五勺から雪渓を下る。富士山登山は、ほとんど残雪期。

理由はある。「残雪期は下りが楽」だからである。過去、歩きで最1時間48分。夏では不可能な時間だ。雪渓は六合下まであった。先日のスキー時とさほど変わらなかった

六合下に登山道整備のオジサンがいた。富士宮の方だった。ご苦労様です。早い時間に五合目着。時間があつたので「お胎内温泉」で汗を流した。今回もイイ山でした。

(了)





## 6月20日(木)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月20日(木)06時19分53秒

つづき

快調なペースで9合目、9合5勺を超えて、剣ヶ峰に到着したが、頂上は風が強く、休む暇もなく下山。9合5勺から7合目までGTさん、KHさんのサポートを受けながら、生まれて初めての雪渓下り。一般の登山道を下るより、遥に気分爽快である。

7合目から歩き難い火山瓦礫の登山道を転ばないようにゆっくり下って何とか5合目に到着。途中、足が疲れていたせいか、2度も尻もちをついてしまった。2度目の富士登山でしたが、やはり、火山瓦礫の登山道で足がかなりダメージを受けました。また、開山前にブルドーザーや年配のおじさんが登山道を整備していて、面白く思った。

【後藤記】ブル道を辿り頂上着。約5時間は、まあまあの時間。2012年・65歳からデータをとっているが、時間は案外変わらない。変わるの  
は「辛さの度合」である。頂上には誰も居なかった。風が強いので写真を撮り下山。ブル道を下ると、七合辺りから聞こえていたブルが2台上って来た。

先頭は除雪用、後ろはユンボを積んでいた。丁度、カーブの所で停車し、我々を待っていてくれた。年配のオジサンだった。てっきり小屋関係の方  
と思ったが聞けば、「頂上のトイレを掘りに来た」そうだ。開山が近いからである。

つづく





## 6月19日(水)晴・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月19日(水)06時00分27秒

つづき

4時半に起きて、朝食時に KYさんと合流 (KYさんは前日21時過ぎに到着し、車中泊)。5時半に5合目を出発、いよいよ、30数年振りの富士登山の始まりである。

6合目までは雪もなく、火山瓦礫の歩き難い登山道が続く。最初の登山の時もそうだったが、私は火山瓦礫の上を歩くのが苦手なのか、どうしても富士登山を好きになれそうもない。



6 合小屋（新 7 合目 御来光山荘）の手前に大きな雪渓が残っており、雪渓歩きに慣れていない私は いよいよ初めての 12 本爪のアイゼンを使うことになった。一度、家でアイゼンの取り付け方を練習はしていたが、いざ現場でアイゼンを取り付けようとする とスムーズに行かず、GT さんからお叱りを受けてしまった。無事に雪渓を渡り、そこから、また 8 合目まで、火山瓦礫の厳しい登りが続いた。

8 合目を過ぎてから残雪が多くなってきたので、再度、12 本爪のアイゼンを取り付けて頂上を目指した。雪の上は瓦礫の登山道より、ずいぶん歩き易い。

つづく





## 6月17日(月)晴・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月17日(月)05時54分45秒

先週

金曜日は、富士山頂でした。

山行NO. 1822

日時 2019.06.14(金)晴・上部やや風

山域 富士山(3774m) コース 富士宮五合目発5:30

一六合目6:43(15分ロス)一七合目7:19一八合目7:56

一九合目8:43一九合五勺9:34—ブル道—頂上10:42

一九合五勺11:19~40—最終雪渓12:47—五合目13:25

標高差 上り 五合駐車場約2380m~頂上3774m=約1394mm

下り //

参加者 後藤、加藤、勝又、合谷=4名

今年の富士山は残雪が多かった。しかも2~3日前、またまた寒の戻りで八合目以上は降雪。仰ぐお山は真っ白だった。5月末スキーに続き二回目の富士山。前回、日帰りで余りに厳しかったので、今回は前泊とした。

16時、富士宮五合目は閑散としていた。思ったほど寒くない。来る時、下で見た外人さんがいた。聞けば千葉から来た親子だった。軍人らしいが、横田・横須賀ではないらしい。今日、帰るというが、「何処かにスシはないか」という。御殿場にサイコーに旨い「魚がし」があると教えて上げた。陽気な親子。車はレンタカーだった。



下山してきたオジサンがいた。清水市の76歳の方で昨夜来たという。高齢で迷惑を掛けるから山岳会には入っていないという。清水登山は知っていた。上りは8時間掛ったそうだ。上部は新雪だがピッケルの必要はないとの情報を得た。年齢だが、その情熱に感服。

天気が良く温かいのでトイレ入口脇のテラスで外（そと）食。ビアとワインが旨かった。下界は一面の雲海だった。こんな時は好天が続く。テントは下がコンクリで硬く、いささか寝難くかった。フライシートがパタパタ煩かった。KYは21時ころ来たらしいが車中泊した。

つづく





## 6月13日(木)晴・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月13日(木)06時41分15秒

昨日は、

6月度・伊豆巡礼でした。

巡路は、48番・報本寺～49番・太梅寺～第一山越え～蓮台寺～バス～広台寺（昼食）～バス～蓮台寺～第二山越え～52番・曹洞院。天気＝曇り。参加＝22名。距離＝約18km。

前夜、大雨だったが、何とか止んだ。前回最終の報本寺から巡礼。太梅寺まで4kmは下りなので有難い。小1時間で49番・太梅寺着。

寺は以前無住だったが、今回は修行に行っていた別寺にいる住職の息子さんが住職を務めていた。無住の頃は、境内は草ぼうぼうで、見かねて草取りをしたことがある。若い住職はイイ感じだった。

巡路はここからが試練だった。52番・曹洞院まで、「山越えが2回」ある。古の巡路は蓮台寺高原から大賀茂に抜けていたといわれるが、現在は廃道で使えない。

「山越え」をしないと、再び下田駅まで戻り52番を目指すことになる。これは効率的でなく労力を費やす。そこで2010年、私が新しい山越えコースを開拓した。

幸運にも49番がある横川から、下大沢に通じる林道が整備されて使えた。



この林道がなければ、第一山越えは不可だったろう。

つづく



## 6月11日(火)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月11日(火)06時20分57秒

昨日は

雨で畑仕事もなし。

資料を整理していたら、昔の山の写真が大量にあった。

中には、セピア色もあった。

亡くなった方も何人かいた。

余りに懐かしく、HPに上げた

「温故知新」。新たな奮起を期待したいですね。







## 6月10日(月)曇・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月10日(月)06時43分58秒

昨日は

雨で山が中止になったので、懸案だった「ソバ打ち」を裾野のG宅で行った。講師は私。

しかし、またまた計画が甘かった。「そば粉」がない！！殆どの米屋が日曜日休み。また、最近はスーパーにも置いていない。あれこれ探してやっと清水町のサントムーンの米屋に「500g」あった。

250gに分けてヤマトイモを使ってこねた。2：8とかでなく、10割ソバである。最初はものは全く水は使わなかった。

こねは上手くいったが、打ち粉がなく、普通の粉を使ったら、べとつきソバがくっついてしまい悪戦苦闘。それでも何とかソバになった。

昨日は気温が低かったこともあり、シイタケベースの汁で温かい煮込みソバを食べた。美味しかった！！シイタケと甘いソバがよく合った。

次回は年末に準備万端で再度挑戦しようです。





## 6月7日(金)曇・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月7日(金)08時37分8秒

今年は

畑でタマネギ・ジャガイモが豊作だった。とても、食べきれないので、皆さんに配った。配ったNさんから、絵手紙を貰った。なかなか上手。

私も下手な絵手紙をやっているが、私は色は使わない。これは小学校の頃、墨絵の授業で色を使わない技法を学んでから実践している。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-43.html>

ま、カラーのがキレイでいいですね。



## 6月6日(木)晴・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月6日(木)03時43分23秒

つづき

宿は「ちぐさ旅館」。名前は、旅館だが民宿とっていいだろう。福田湾がすぐで部屋から潮騒が聞こえた。風呂に入り夕食。港が近いだけに、魚料理が凄かった。

大きなウマズラの刺身・キモがたくさん並んだ。女将に言わせると、「ここは、魚以外、何もないからね～」だった。兎に角、魚は食べきれ

なかった。残してしまい申し訳なかった。残った刺身は、朝、醤油漬けで出してくれた。

5月18日（土）曇・強風

最終日で帰るだけだった。「朝寝・朝湯・朝酒」だった。

最終日に天気が崩れた。降雨こそないが、黒雲が流れ強風だった。

少し観光で「寒霞溪（かんかけい）」にバスで上った。山頂は物凄い

風だった。俯瞰すると、奇岩・巨岩が林立していた。激しい火山で出来た岩だった。先日上った、恵門の滝は、山頂下にある。

気になっていた「大観音像」に寄った。入場料が500円。中は様々なモニュメントがあった。広間で坊様と般若心経のお勤め。「十句観音経」もやったが、いつもやっているのので、躊躇することなく出来た。

恐らく観音経をサッと出来る方は多くないだろう。ああ、これも「修行」のたまものでしょう。坊様は、元サラリーマンで焼津にいたことがあると聞いた。しばし、静岡の話題で盛り上がった。感じの良い方だった。頂上部に上り、のぞき穴から展望だったが、テラスでないの、イマイチだった。

再び岡田長栄堂に戻り買い物。前述の大バアさまが仕切っている。サービスは良い。フェリーは、予定より早いのに乗った。皆さんは、早くも空腹で、船内で「うどん」を食べた。

小豆島を愛でながら高松港着。無事、全行程を終えて何よりだった。皆さんもよく歩きました。頑張りました。新しい発見・経験・体験もありました。日本は広い。まだまだ、行きたいところは多い。また、次回、楽しみましょう。

おわり







## 6月5日(水)晴・15度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月5日(水)06時31分55秒

つづき

吉田ダムに降りた。ダムサイトに大きなモニュメントがある。  
題名は「恵」。一つの花崗岩で作られた、高さ10mほどのもの。  
作者は、京都市の高松 清氏。有名な方のような。

他、対岸に水に浮き指で回せる「石の地球儀」があるようだが、対岸には  
行かなかった。小豆島は花崗岩の島。いたるところに花崗岩の立派な石垣  
が見られる。また、ロッククライミングも有名で本土からクライマーが  
多く訪れる。

ダム高さは75m。長い階段を下って吉田川に降りる。その先に吉田庵がある。お勤め後、二回目（ピーク的には三回目）の峠越え。時間も遅く皆さんバテバテ。氣力を振り絞り峠を越えた。越えれば福田港が見渡せた。

下れば集落の中のヒっそリとした83番・福田庵。こんな庵がなかなかステキ。少し山道で、84番・雲海寺と85番・本地堂。ここで今回の計画書通り、全て歩き切った。時間は17時01分。皆さん、よく頑張った。

雲海寺は高台にある大きく立派な寺だった。何故か多くの方が墓参り?? 墓掃除?? に来ていた。お墓は、こちらのもので違いシンプルでサッパリしている。ゴテゴテしてなくイイ。

境内には何と「井戸」があった。実際、墓に使う水は、井戸から汲んで使っていた。

また、ピラミッド型の無縁墓もあった。これは、墓を作り替えたり、島を出て行く人が役目を終えた墓を積み上げたモノ。島では普通らしいが、静岡では見られない。

寺を辞し、バスで宿に向かった。宿の予約は問題なかった。（`艸`）  
民宿はジジ・ババさま二人でやっている民宿だった。

つづく







## 6月4日(火)晴・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月4日(火)05時14分55秒

小豆島おへんろ続き

5月17日(金)晴

歩きは最終日。宿からバスで道の駅に戻り出発。天気は良い。風があり案外涼しい。この日の行程は、峠越えが2回あり、なかなか厳しい。

海岸線を歩く。程なく反対から来た車が止まった。僧侶だった。「何処に行きますか」「薬師庵から観音寺です」と答えると、「観音寺で、うどんのお接待をします」と、携帯で人数を寺に伝えた。僧侶は、80番・観音

寺の方だった。

「へ～、こんなお接待は、四国でもなかった」と痛く感心。観音寺に到着し、お勤め後大広間でお接待があった。うどんも寺で作っているそう。昼食までまだ早かったので、私はいただかなかった。Mさんもトイレに行っていて、時間がなくて食べられなかった。Mさんには申し訳なかった。

昨夜の宿「かつや旅館」先で右折し、山に向かう。次の81番・恵門の滝は、標高約400m。ほぼ海拔0mから上るので厳しい。道路が狭くバスも入れない。寺は凝灰岩の洞穴内にあった。寺まで階段もあるが、鎖が下がった岩場を40m上るコースもあった。後で聞いたら、小柄なWさんも上ったといい驚いた。

不動明王が祭ってあった。あまり愛想の良くない若い坊様がいた。毎日、車で上ってくるという。前寺の観音寺の末寺だから観音寺の方だろう。赤い建屋は清水の舞台な感じで岩場からせり出していた。外観はなかなか美しい。紅葉のシーズンは見事だろう。階段を下り、ここで昼食にした。

午後は一気に海拔0mまで下り、吉田ダムに向う。再び標高約350mの峠越え。ただ、比較的路は歩き易かった。下りもパイプの手すりがあり有難い。手すりに手を添えて下ると安定し下り易い。眼下に吉田ダムが見えた。湧水で貯水量は少なかった。

小豆島にはダムがニッあるという。ダムがない時代は、水枯れで生活は大変だったという。ちなみに水は美味しくなかった。生水はなるべく避けた方がよい。長泉は生水が美味しいが

・・・。

つづく







## 6月3日(月)晴・14度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年6月3日(月)09時28分35秒

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・写真 GT

山行NO 山行NO. 1821

日時 2019.06.01(日)無風快晴

山域 西丹沢・上権現山(1138m)北東尾根

コース 西丹沢・マウントブリッジキャンプ場橋駐車場7:30-

大堰堤上の尾根取りつき7:46-権現山9:00~26-途中で会った  
登山者

9:51-西沢10:18-駐車場10:35

標高差 上り 駐車場約550m～上権現山1138m＝約588m  
下り //

藪 度 殆どなし

西丹沢には、権現山が二つある。一つは、丹沢湖西の権現山（1018m）、ひとつは、西沢南の権現山（1138m）。同山域に同名の山が二つは、ややっこしい。便宜上、前記を下権現山・後者を上権現山とした。今回は、上権現山の北東尾根バリエーションを狙った。西丹沢自然教室に着くと駐車場は満杯。何か行事と聞けば、「何もない」だった。昨今の「登山ブーム」である。少し下って橋の袂に駐車した。

初見の山だから取り付きは不明。地図を見て大体の所から入った。最初は超急だが、少し上は落ち着いた。キレイなイイ尾根が続いていた。大勢の登山者は、概ね檜洞丸方面と思うが、ここは誰もいない。尾根は木立の日陰で、涼しい風が吹く。簡単に頂上着。30分休憩。

下山の最短コースの同コースを下る。急だが快適に下る。中ほどで下から一人上って来た。聞けばバリエーションが好きで、一般コースはあまり行かないといった。「情報を交換しましょう」で名刺を渡した。奇特有な方がいるものだ。

程なく西沢着。短いコースだが、素晴らしい尾根だった。畦ヶ丸と繋げれば、更に充実したコースになるだろう。







## 5月31日(金)晴・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月31日(金)05時55分24秒

つづき

歩き終え、道の駅に着いて、バスの乗り、今日の宿の向かった。  
宿は、小部（こべ）の「はまや」。私の計画書が「はまや」になっていた。  
バスから携帯をする。

私           もしもし、「はまや」さんですか??  
相手        違います「はまや」ではありません。  
私           えええ～、「はまや」でない??  
              何方ですか??「かつや」です。分かりました。

私 「はまや」に携帯する。  
静岡のゴトーですが、「今日、予約してますね」  
相手 「はまや」ですが、予約は伺っていません。  
私 えええ～、聞いていない??おかしいな。

私は顔面蒼白。心臓はドキドキだった。もし今日、宿がなかったらどうしよう。  
皆を路頭に迷わせる訳にはいかない。何よりも私の沽券にも関わる。  
サポーターのKは「私っちは何処でも（野宿）でも、大丈夫だよ」と剛毅なことをいってくれたが、年配者はそうもいかない。気を取り直して、もう一度「はまや」に携帯。

私 「静岡のゴトーですが、今日の予約は??」  
相手 「名古屋の方が10名入っています」  
私 「名古屋??!!携帯は何番ですか??」  
相手 「090-8956~0000です」  
私 「えええ～、それって私の番号です!!」

今回のトラブルは、まず、

1. 私が計画書で「宿名」を間違えた。
2. 「かつや」が私の予約を静岡のゴトーでなく、名古屋の〇〇と間違えた。

それにしても、「かつや」も気が利かない。宿の古さからして長年この仕事をやっていると思うが「勘」で分からないモノか??私も何故か「宿名」を間違えた。ま、旅（トラベル）は、「トラブル」というが、正にその通り。

しかし、宿は案外よかった。瀬戸内海を望む風呂は今回の宿でサイコーだった。食事もまあまあ。何よりも、旅人を思った「朝食時、お弁当を無料で作ってもOK」は有難かった。

つづく







## 5月30日(木)晴・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月30日(木)05時10分4秒

つづき

聞けば、大観音像は30億掛ったという。しかし、最終的な話では、15億くらいとのこと。原資は、檀家・一般に一体15万の胎内仏を1万體購入してもらったという。それにしても大きな話である。観音様の見ている方向が話題になった。西の方角。やっぱりスリランカだろう。

大聖寺を辞して、76番奥の院・三暎庵着。オジサンがいて「サツマイモ」のお接待。温かい方だった。暑い日だったが、お茶が美味しかった。77

番・

歓喜寺から76番・金剛寺。途中に農家の夫婦がいた。

イモのツルをぼちぼち植える準備をしていた。鈴木新ちゃんが「少し欲しい」

といったら、奥さんはOKだったが、旦那は渋ってダメだった。この日は、頑張っで番外・藤原寺から雲胡庵まで歩き、道の駅「大阪城残石記念公園」まで足を伸ばしバスで宿に向かった。しかし、このあと大事件が発生する。

ツアーで一番気を遣うのが宿泊場所。概ね初見の所が多い。情報はネットしかない。皆さんに安価で如何にイイところに泊まって貰うか難しい。お金を出せば豪華な宿はいくらでもある。しかし、探せば安く温かい宿もある。四国などは、そんな宿が多い。

宿が決まったら予約をする。間違ていけないのは日時。従って予約・中押し・最終確認と3回確かめる。だから今まで何十年もこんなことをやっているが、トラブルはなかった。イヤ、3回も確認していればないはずである……。だったが、そうでなかった??!!

つづく







## 5月29日(水)雨・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月29日(水)05時28分24秒

つづき

5月16日(木)晴

バスで旭屋旅館を後にする。昨日の最終の等空庵から歩く。天気は良い。集落の細い路地を進む。小高い所に68番・松林寺があった。お勤めをする。早朝だったが、寺の方(住職?)がいてお経の合間合間に鐘を鳴らしてくれた。

松林寺を辞し、67番・瑞雲堂着。ここも小高い所にあった。瀬戸海が一望できた。7:30だったが係の方がいた。写真・上の方だが、何か親しみを感じる方だった。そう「だるまさん」にソックリだった。眉毛が特徴的だった。

係の方と般若心経を唱えた。ちょっと早い調子だった。途中、一か所寄って、峠を越える。下ると70番・長勝寺・大きな立派な寺だった。山門が鐘楼になっていた。記念写真を撮った。

巡路は山に向かっていった。険しい岩山だった。先は72番・滝湖寺(りょうこうじ)の奥の院「笠ヶ瀧」の更に奥奥の社だった。看板があって、「観光・登山者は通行禁止」だった。なら、「おへんろ」はOKと解釈し上った。頂上は岩山で見晴らは素晴らしい。

岩山を下ると奥の院「笠ヶ瀧」。険しい岩場に手すりがあり、それを攀じ

上る。下も岩場が続き、なかなか面白い。昼食はここで頂いた。午後は、73番・救世堂から75番・大聖寺。キレイな女性が対応。左手に巨大な観音像があった。先にある80番・観音寺で作ったという。ここは最終日に観光で寄った。

・・・スリランカの仏教聖地、キャンディに位置する佛歯寺（ダラダー・マーリガーワ寺院）

から1985年に釈迦の犬歯を寄贈されたのをきっかけに、大観音像を建立。1994年に竣工、1995年に公開された。大観音像の高さは明らかにされていないが、約50～60mといわれる。胎内には本尊をはじめ、寄贈された約1万体の胎内仏が並ぶ。エレベーターで胎内を登ると、仏歯を納めた仏歯の間に至る。ここからは瀬戸内海や岡山港を望むことができる。大観音像以外に、目立った堂宇は置かれていない。・・・ネットから

つづく







## 5月28日(火)曇・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年 5月28日(火)05時44分43秒

5月21日の小豆島つづき

5月16日(木)晴

14日の宿は、土庄港すぐ近くの「岡田長栄堂」。名称は変わっているが、普通の旅館。この辺りでは老舗。宿のほかにお菓子製造業で、おみやげは自社製品が多い。

帰路時、寄ってみやげを購入した。82歳の大ババさまが店を仕切っている。

入るとすぐ自社の「お茶と大師まんじゅう」をサッと出してくれた。大師まんじゅうは美味しかった。オリーブの製品も多かった。大枚をはたいて、W用の3000-のオイルを買ってしまった。(´艸`)

15日は、向かいの「旭屋旅館」。岡田で連泊予定だったが、奈良・薬師寺から信徒が大勢泊まるで変更した。結果的に良かった。夜、就寝時、何か賑やかと思ったら、岡田から信徒が夜のお勤めで「ドンつく、ドンつく」太鼓を叩きお勤めだった。宿は数mしか離れていないので音はよく通る。

ただ、建物・風呂・食事など全般的にこちらのほうが新しく良い。料金も岡田＝6500-＋税、旭＝6800-＋税。みやげは、同じものが、こちらのが高いの報告があった。ロビーにピアノがあった。朝、出発時前、下手なピアノを弾いていると、同宿した高僧??!!みたいな先達

みたいな方が来て、「なかなか良かったです。私はBSの駅ピアノが好きです」といって、立派な「お札を」置いていった。

その方がいうには、高いお札で一枚、10000ーくらするといったが本当か??!!裏には大阪市・山田晃照と印があった。ネットで検索したが、特にヒットはなかった。車おへんろの客らしき女性を数人連れていたので、先達の感じだった。

つづく







## 5月27日(月)晴・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月27日(月)06時29分29秒

昨日は

富士山・山岳スキーでした。

コースは、富士宮登山口6:30-九合五勺12:00~30-滑降一五合目14:15。天気は無風快晴高温。上り標高差=約1200m、滑降標高差=約1000m

富士宮口駐車場は車が溢れていた。天気は無風快晴高温。夏のペラペラの衣服でも全く寒くない。条件はサイコーだが、早朝発で体調はイマイチ。

六合・七合・八合と上るが苦しい登山が続く。若い衆にガンガン抜かされる。スキーを背負っての荷物が重い。八合で脈拍を計ったら120だった。

ここで横になり大休憩。心臓が時々苦しさを感じた。横になったら少し楽になった。再び上り、ようやく九合五勺着。12時を回った。5時間半掛った。

過去のデータを見ると、

2018年=剣ヶ峰まで(スキーなし)・・・約5時間半

2015年05月27日(水)3名 68歳 上り=5時間25分 下り=1時間56分

2015年05月17日(日)単独・スキーなし 68歳 上り=5時間1分

下り=1時間48分

2014年06月29日（2名・8合から1名） 67歳 上り＝4時間  
33分  
下り＝1時間53分  
2013年06月09日（男2名、女1名＝雪不慣れ） 66歳 上り＝4  
時間45分  
下り＝2時間40分  
2012年05月23日（雪多し 男2名、女1名＝雪不慣れ） 65歳 上  
り＝5時間13分  
下り＝3時間18分  
2012年05月19日（男3名＝スキー背負って） 65歳 上り＝5時間  
50分  
下り＝1時間30分（スキー滑降）  
2011年 記録なし  
2010年 記録なし  
2009年05月02日（男2名＝スキー背負って） 62歳 上り＝5時間  
10分、  
下り＝1時間10分（スキー滑降・剣ヶ峰まで）

記録を見ると概ね5時間半で剣ヶ峰に達している。ま、72歳・早朝日帰  
りではこんなものか。  
結局、九合五勺から滑降。雪量はバッチリだが、前日、土曜日のスキー跡  
で荒れていた。でも、まあ、富士山の滑降は特別なモノがある。ここしか  
経験できないモノ。素晴らしき世界。雄大な自然美。そして厳しい試練・・・。

約1000mの滑降に大いに満足。いつまでも続けていきたいものですね。







## 5月24日(金)晴・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月24日(金)06時32分5秒

つづき

昼前、玉泉寺に寄った。

受付は住職の息子さんだった。以前、巡礼時、息子さんの話を聞いたことがある。温厚な感じの方だった。

皆さんは、名物の牛乳を飲んだり、木陰で暑さをしのいだりくつろいでいた。息子さんから「何方からですか？」の問いに、「長泉です。今日は巡礼でなくウォーキングです。以前、巡礼時貴方の話を本堂で聞きました」と伝えると、「ああ、ゴ・ゴトーさん」

といった。

寺の方は、おそらく我々より多くの人に会う。いちいち名前は覚えきれないだろう。しかし、彼は覚えていた。ま、何回も寺は訪れているが、その記憶力・記録力には舌をまいた。

昼食後、バスで再び玉泉寺に戻りウォーキング。下田港をグルっと一周して海中水族館着。池には、青・赤ウミガメが泳いでいた。プールが狭くて気の毒。駐車場に恵比寿島で見た大きなバスがあった。広場で中学生らしき生徒が50名くらい記念写真を撮っていた。

<https://www.elna.or.jp/180724aoaka/>

ウミガメは神秘的な動物のようです。ネットを読んで下さい。

ワイワイガヤガヤ、実に元気イッパイ。聞けば、伊東の学生さんだった。やっぱり恵比寿島にもいたという。今年入学した中学一年生だった。今が一番楽しい時期だろう。二年・三年になれば悩みが増えるだろう。いじめ・受験・異性（??）。頑張ってもらいたいね。

我々の記念撮影時、「お調子者が一名」一緒に入るみたいな感じで、はしゃいでいた。どこでも元気者はいるものだ。ウォークは、水族館で終了。今回もいいコースで楽しめました。







## 5月23日(木)晴・14度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月23日(木)06時52分57秒

昨日は

5月度・伊豆ウオークでした。コースは、須崎・御用邸前～海岸道～須崎灯台～須崎歩道～須崎～恵比寿島～下田・道の駅（昼食）～ハリスの小径～弁天島～玉泉寺～三嶋神社～市内～海中水族館。天気＝晴れ。歩数＝約3万。距離＝約19km。参加＝16名

前日、大荒れの天気だったが快晴。風が爽やかだった。御用邸前から出発。海岸線を歩き、須崎の灯台。海が大きい。西に柱状節理がある。見学。須崎歩道に入る。イイ感じの歩道が続く。ただ、昔に比べ、整備し過ぎか

も。

海はキレイだった。須崎港に到着。漁師が自船をメンテしていた。一年に一回船底のペンキを塗る直すという。炎天下、なかなかの重労働。恵比寿島を一周してハリスの小径着。

昼時間になり、バスで道の駅着。前回、巡礼時は回転寿司だったが、今回は金目屋に入った。何故か皆さんもゾロゾロ。1500-の刺身定食をいただいた。コリコリ・シコシコで美味しかった。

皆さんは、三色丼・大金目（一匹）、小金目（半身）などを楽しんだ。凄く混んでいて、人気の店だった。バスで昼寝をして、午後の部に入った。

つづく







## 5月21日(火)大雨・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月21日(火)06時42分59秒

15日(晴)

バスで総本院まで行き、お勤めを済ませ、おへんろ開始。  
総本院は弘法大師を祭ってあった。  
最初の64番・松風庵の看板が左側にあって入口を過ぎでしまい戻った。記念すべき、小豆島で最初の庵だった。

左手に赤い搭が見えた。近づくと、次の58番・西光寺だった。  
大きな立派な寺だった。本堂の裏が花崗岩の小高い山で、そこに三重塔が立っていた。見晴らしは良い。記念写真を撮った。

今回、感じたのは寺は大きく立派。庵・堂は、小規模なものが多い。  
早朝だったが、本堂に寺の方がいて、一緒にお勤めを済ませた。  
穏やかなイイ感じの方だった。寺の歴史を聞いたが、ハッキリしなかった。

59番・甘露庵に寄って、60番・江洞窟着。入り江の岩壁の中が本堂だった。ここも係の方がいた。聞けば、西光寺の傘下で係を勤めているという。ご本尊は、「弁財天女」で美しい天女の姿があった。本堂が海面と同じで、台風時は海水が入るそうです。

海岸線を進み、61番・浄土庵で昼食。ここは係の方はいなかった。午後は4・5km歩き62・63番の大乗殿・蓮華庵～57番・浄源坊～53・

65番の本覚寺・光明庵に進んだ。

本覚寺も立派な寺だった。住職がいて一緒にお勤めを終えた。境内に大きな塔があった。聞けば、インドの寺にある塔・インドから職人が来て作った・特別な許可がないと作れない、といった。確かにこの手の塔は、他で見たことはなかった。

本覚寺を辞して、再び海岸線を歩く。海風が気持ち良かった。66番・等空庵着。

小さな集落の庵で係はいなかった。今日はここでお終い。暑くて疲れた。歩数=約3万歩。距離=約19kmでした。

つづく







## 5月20日(月)晴・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月20日(月)06時35分28秒

14日～18日

まで、小豆島お遍路でした。巡路は、15日＝総本院～64番・松風庵～58番・西光院～59番・甘露庵～60番・江洞窟～61番・浄土庵～62/63番・大乘殿、蓮華庵～57番・浄源坊～53/65番・本覚寺、光明庵～66番・等空庵。天気は晴れが続いた。参加は9名。

14日晴れ。三島発4:00。途中、下土狩駅と富士ICに寄る。バスは順調に進み、予定の1時間前に高松港着。15:10のフェリーで小豆島に渡る。瀬戸内の島影が美しい。

土庄(どのしょう)港着後、総本院に赴き、グッズを揃える。小豆島は、庵・堂が多く無住職のうえ、連続して続くので、ご朱印は一括したご朱印帳を購入する。多くの方が購入した。

総本院の係は若い坊様(?)が1名。そこに9名押しかけ、いっぺんに色々なことを尋ねたり、依頼をしたので、係は対応出来ず「とにかく、ちょっと私も話を聞いて下さい」と嘆願された。この言葉は、その後、我々の間で流行語になった。(´艸`)

初日は渡島のみで歩きはなし。すぐ近くの「岡田長栄堂」で宿泊。明日からのおへんろの英気を養った。

つづく





## 5月13日(月)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月13日(月)09時21分33秒

昨日は

丹沢・菰釣山北尾根でした。コースは、道志川・杣山沢～北東尾根（男子班）～北尾根（女子班）～ブナノ丸～菰釣山～下山は男女入れ替えコース～杣山沢。天気＝快晴。参加＝5名。標高差＝約609m

天気は快晴で湿度が少なく爽やか。杣山沢を挟んで右（左岸）・女子班、左（右岸）・男子班とそれぞれのコースを上る。

男子班は、「山口さん」ちの別荘裏から取りつく。シカ柵があったが、ドアがあり問題なかった。丸い平らな大きな1130m峰まで急登がつづく。

1130m付近は平坦な地形が続き気持ち良い。ピークの南には、この辺りでは珍しい「カラマツ林」が広がっていた。カラマツの新緑が何とも美しい。

整備されたような杣道を南下し西に方向転換し、1280m峰に出る。直下は激上りだった。尾根に出ると道は無いと思っていたが、道志川スカイバレー・キャンプ場まで50分の手製の看板があった。

スカイバレー・キャンプ場は、この先の1230m峰西下に位置する。あとで分かったことだが、道は1230mから消えていた。夏にまた整備する可能性はあるが・・・。

1280m峰で女子班と合流予定だったが、女子はまだ来ていなかった。合流し聞いたら、「下部でスマホが不調でトラブった」とのこと。ま、2万5千円でルートを示してあるので、上りはスマホが不調でも問題ないと思うが・・・。ひと上りで、ブナノ丸着。稜線は主縦走路で、山伏峠へ続く道。

ひと上りで菰釣山着。山岳マラソンの世話人の方が2名、暇そうにランナーを待っていた。いろいろ問題が多い山岳マラソンだが、まだやっていたとは知らなかった。

マラソンは約800名参加という。ただ、ここまで来る・来れるのは

半分くらいという。山伏峠がチェックポイントで、遅い者は、はじかれるという。

早い昼食を済ませ下山。帰路は1280m峰でコースを男女入れ替える。男子は2ヶ所ルートの間違えたが、無事杣山沢着。程なく女子も帰着。楽しいバリエーション・登山は終えた。





## 5月10日(金)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月10日(金)05時53分26秒

つづき

御池に上がった。時間はやや遅かった。一昨日の道選択誤りが、まだ影響していた。  
駐車場の車は多かった。殆ど燧ヶ岳が目的の登山者・スキーヤー。  
雪は多く周りは3mの雪壁だった。

燧ヶ岳は、2000年に既に上って滑っている。時間が遅いこと、初見の山がイで反対側の大杉岳に向かった。  
ここで上からゾロゾロ降りて来た。朝上った方々だった。

ブナのイイ感じの森を上る。天気は良かった。誰も居ない。  
今日は風もなかった。  
空が切れたら、簡単に頂上着。あっけなかった。標高差400mでは、こんなものだろう。ま、たまにはイイか。

ノンビリ頂上で休憩。会津駒方面にトレースが多くあったが、何処に行ったのか。南に燧ヶ岳が大きかった。  
ほどなく滑降。雪はまあまあだった。

最低コルから尾根を外れ、山腹を飛ばす。  
そこに落とし穴。オオシラビソの枝を潜ったかと思ったら、どっこい、枯れ枝が伸びていた。

その枯れ枝が顔面に直撃。「ワ~ツツ」と叫んで倒れた。  
「やばい」「出血が多かったら、どうしよう」と一瞬思った。が、幸い眼もかすめ、出血は少しだった。

それにしても危なかった。ツリーランは飛ばしてはいけない。  
顔面は「切られ与三郎」状態。バンソコウで手当てをして休憩。  
ヒリヒリ、かなり痛かったが、眼が問題なく良かった。

つづく





## 5月9日(水)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月9日(木)06時48分50秒

昨日は

5月度・伊豆札所巡礼でした。ちなみに先月は雨中止でした。  
巡路は、下田の46番・米山寺～47番・龍門院～48番・報本寺。

米山寺でお参りを済ませる。この寺は無住職。ご朱印は近くの龍巢院  
でいただく。龍巢院の住職は元校長。  
今回参加者の元教師の富士市・Sご夫妻は、50年前、住職の校長に世話  
になったという。

S夫妻は、皆が米山寺でお参り中、ご朱印係と一緒に龍巢院に赴き、  
50年ぶりの再会を果たした。住職は現在82歳。少し病気もあるが元気。  
トレッキングが好きで、今月中旬もヨーロッパでトレッキング予定という。  
S夫妻は再会し、お礼をいえて良かったと話していた。

龍門院から報本寺に向かう。約1時間。ダラダラ上り。天気は無風快晴。  
湿度が少なく快適巡礼。田んぼは田植えが既に終わり、水面が光っていた。  
路傍には「ネモフィラ」が満開。色が何ともイイ。

報本寺着。有名な「しだれ桜」は終わっていた。昨日は、2016期の方  
が、「結願(けちがん)、満願成就、完歩、皆勤」で最後のお勤めをした。  
奥様が出してくれた熱い緑茶が実に美味しかった。ご馳走様でした。

午後は、白浜の「よこお荘」で祝賀会。「よこお荘」は、安価でサービ  
スもよく有難い。食事・歓談・温泉入浴・終了者挨拶・表彰で終了。完歩・  
皆勤は、10名中1名でした。今回は少なかった。2年以上、全て参加は  
案外、難しいもの。

最後は、T夫妻の哀愁タップリのハーモニカ合奏でしめました。ご苦労様  
でした。





## 5月7日(火)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月7日(火)05時27分11秒

つづき

桧枝岐に移動。距離はある。  
会津若松では磐梯山が大きかった。雪があればスキーをしたい山。  
山麓は、何処も美しい桜・梨・桃の花が楽しめた。さながら「桃源郷」  
天気は良い。車は混雑していない。人も少ない。

桧枝岐に来た目的は、初見の大戸沢岳に上り滑ることだった。  
しかし、現地に着くと、既に下部の雪は切れていた。  
南面で日当たりが良い、標高が低いが理由だった。  
大戸沢は断念し御池（みいけ）に向かう。

途中、桧枝岐の道の駅で浜松のソロの方に会った。  
聞けば、「4月から来ている（放浪??）」という。  
何時までに、「6月まで」といった。目的は、「写真撮影」だった。  
家は大丈夫に、「俺は一人だから、問題なし」だった。道の駅に車中泊する  
という。

御池に上がった。時間はやや遅かった。一昨日の道選択誤りが、まだ影響  
していた。駐車場の車は多かった。殆ど燧ヶ岳が目的の登山者・スキーヤ  
ー。雪は多く周りは3mの雪壁だった。

燧ヶ岳は、2000年に既に上って滑っている。時間が遅いこと、初見の  
山がイイで反対側の大杉岳に向かった。

つづく





## 5月6日(月)曇・14度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年 5月 6日(月)06時 24分 9秒

つづき

頂上で写真を撮って貰った。特に頼まなかったが、居た方が「撮りましょうか」でお願いした。世の中には、フレンドリーな方がいらっしゃる。お返しに、その方達も撮って上げた。

頂上から滑降。トップから直接の滑降はサイコーの気分。  
ただ、右手は崖だから要注意。  
上部はアイスパーンでカリカリ。中部は、やや新雪が重い。



飛ばしたら、珍しく「大コケ」。変な格好で起き上がれない。  
相方を呼んで、ビンディングを外して貰った。パーティーで  
行動の場合、離れても「見える範囲」にいないといけない。

何かあった時に「何も出来ない」からだ。これは登山だけでなく、  
巡礼やウオーキングも同じことだ。頂上に居た男性も駆けつけ  
（といっても、スキーでだが）てくれ、「大丈夫ですか」のお声  
掛けをしてくれた。他人でも「仲間を気遣う心」に痛く感心。

下部はまあまあだった。総じて新雪はダメ。旧雪は快適。  
しかし、相方は「サイコー」だったという。理由は何故か。  
いわく、「体重の差」という。軽量の場合は、あまり沈まないので  
良いという。ま、ある程度は、当てはまるかもしれない。

下部は比較的快適に飛ばし直接、車まで滑った。車まで滑降は  
一番イイ形だ。出発時、あんなにあった車は3台しかなかった。  
隣の若い衆は、、頂上まで行かなかったといった。

いこいの村で温泉をして尾瀬・檜枝岐に移動。山麓は、広大な  
湿原に水芭蕉が見頃。山麓は、桜が満開だった。

つづく





## 5月5日(日)晴・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月5日(日)05時02分35秒

つづき

風はとにかく強かった。が、めげなかった。気合は十分だった。  
風が冷たくないのが幸いした。  
雪は硬く締まっていた。従ってシール登行は楽だった。  
暑くないのも大いに助かった。

グングン上る。前を何人が上っていた。  
程なく一人抜かした。最近では若い衆に抜かれることが多いが、  
抜くのは「珍しかった」。何処かのオジサンだったが、随分、



苦しそうだった。

ブッシュ帯を抜けて右手に回り込んで、頂上に続く大斜面に入る。夏は何回か上っている栗駒山だが、雪山は初めて。当初、「雪が少ないのでは」の懸念があったが、とんでもない、雪は豊富にタップリあった。

しかし、こんなに美しい純白のドレスを纏った「栗駒姫」に会えたのは、大いなる喜びで嬉しかった。遠路、訪ねた甲斐があった。大斜面は、新雪が積もっていた。やや重そうだった。

早くも頂上から一名滑って来た。上手い方だったが、新雪で滑らない、ストップ雪にやや苦戦。気持ちの良い斜面を上りきると頂上だった。直下は氷だった。頂上のブッシュには、シュカブラ（エビの尻尾）が伸びていた。

風は相変わらずだが、天気は良く大展望が広がっていた。ただ、東北の山は、なじみが薄いので山岳同定は難しかった。今回は頂上まで、標高差は約800m。時間は約2時間15分。まあまあ、いいタイムだった。

つづく





## 5月4日(土)晴・14度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月4日(土)04時28分47秒

つづき

4月28日(日)

鳥海山は諦め、早朝、次の目的地の栗駒山に向かった。  
今回のツアーの主な目的は、新しい山岳スキーの山、  
新しい山岳スキーのコース・ルートの追求だった。

栗駒山まで各道路があった。スマホで最短道路を検索した。  
ただ、スマホは単に最短を提示するだけで、道路状況まで  
吟味しない。



結果、最短道路を行ったが、峠がまだ未開通で越えられなかった。スマホに頼りすぎた結果だった。大いに反省。何だかんだで、栗駒山着 11 時前だった。

栗駒山も新雪が積もり、いわかがみ平まで行けず、いこいの村上の駐車場でお終い。加えて昨日の L が抜けて、H からの猛烈な風が吹きまくっていた。ただ、風はあまり冷たくなかったので有難い。ここからシールで歩く。

懸念された、雪はバッチリだった。今年は 3 ~ 4 月に降雪が続き何処も雪は多かった。こんな年もある。いわかがみ平まで標高差約 300m 弱。ここを滑れるのは、得した気分だった。

いわかがみ平着。仰げば、純白のドレスを纏った「栗駒姫」がほほ笑んでいた。スキーでは初見の山。新鮮だった。さあ、行くぞ。この日は、長いドライブにも関わらず、体調はサイコーだった。

つづく





## 5月3日(金)晴・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年5月3日(金)09時14分57秒

連休は

山岳スキーで鳥海山、栗駒山、尾瀬・大杉岳、至仏山でした。  
27日、鳥海山・稜川に車で向かった。  
しかし、またまた「寒の戻り」で大雪。

今期、「寒の戻り」で大雪に遭うのは3回目。  
気まぐれな春の雪に振り回される。・・・と、言っても  
自然が相手では、どうにもならない。

稜川は標高約1200m。富士山・富士宮口五合目より、やや  
低い位だが、かなり高い。直下まで上ったが、雪がバンバン積もる。  
仮に上っても、今日・明日、下れない可能性がある。

結局、直下で潔く撤退し、吹浦に向かった。しかしTELで確認すると、  
こちらは「通行止」だった。長駆600km、19年ぶりに稜川に来たが、  
結果は残念なものだった。

つづく





## 4月26日(金)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月25日(木)17時22分40秒

巡礼の

仲間に裾野のNさんがいらっしゃる。年齢は、私より少し上。  
Nさんは、巡礼も熱心だが、「海釣50年」の超ベテラン。  
50年といえば、私の登山年数とほぼ同じ。何の道・どの道にしても、  
50年は凄く半端でない。

Nさんは、主に船釣だ。ゴルフも好きだが、釣りも大好きだ。  
今期は何故か絶好調。大物をバンバン上げている。  
3月12日は、「2.5kgの石鯛」をゲットした。

2.5kgの石鯛は大きく、肩幅以上ある。写真を見て凄いが、  
こんな石鯛はめったに上がらないだろう。  
3月30日は、6.5kgの真鯛」をゲットした。

6.5kgというと、小さな赤ちゃんくらいある。丸々太った  
写真を見ると信じられない大きさ。養殖でも、なかなかここまで  
大きくはならないだろう。

最近の流行言葉でいえば、「神がかかっている」だろうが、Nさんは、  
巡礼徒なので、「仏がかかっている」ということでしょうか。(´艸`)

そのNさんが昨日、真鯛を届けてくれた。私がいつも、卑しい目つきで  
釣果を羨んでいるので、気を使ってくれたのだ。  
刺身に裁くに包丁・場所がなく、意外に難しい。  
無駄が多いので、近くの魚屋に依頼しました。

そしたら何故か、またまたタイミングよく、同じ巡礼仲間のK嬢が  
本物のワサビを届けてくれました。何と間が良いことか。感謝感激雨あら  
れでした。

そんなこんなで、今回は美味しい「真鯛をいただきました」

なお、「アラ」も相当、イケました。  
この日、グリーンピースも畑で初収穫でした。  
有難うございました。ご馳走様でした。  
合掌





## 4月25日(木)雨・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月25日(木)04時59分5秒

昨日は

4月度・伊豆ウオーキングでした。

コースは、河津～縄地～板戸・竜宮島～白浜～白浜神社～外浦～須崎。天気＝曇り時々小雨。距離＝約18km。参加＝22名

伊豆ウオーキングは、昨年4月に再開し、河津まで歩いて、忘年会を行った。その後、伊豆は花の季節に入り、1月＝土肥・土肥桜、2月＝下田・青野川の河津桜、3月＝雲見を歩いた。

そして、半年ぶりに本来のコースに戻って来た。12月、最終のファミリー・マートは閉店していた。コンビニの衰退は、如実に地域の活性度を物語っている。ジオで盛り上げる伊豆だが、実情の厳しさを垣間見た。

R135から旧道に行く。静かでいい。案外、路傍の花が楽しませてくれる。

柑橘類もたわわに実り、思わず喉が鳴る。縄地から板戸に向かう。板戸からR135に降りて、ジオの竜宮島に上陸。

昨日は大きな引き潮で簡単に渡れた。ただ、岩礁はヌルヌル滑るから注意。赤い鳥居の白嶋神社がある。上ればウバメガシに囲まれた社があった。

賽銭箱もあった。

下って近くの弁天神社に寄る。場所が分からず地元の方、数人に聞いたが、どうも要領を得ない。Sさんと写真を見ながら検討の結果、板戸港の脇にある

小山がそれだった。

10分ほど上ると社があった。傍らに伊豆で最も大きいとされる「ウバメガシ」が

聳えていた。ふたまたに分かれているものの、確かに大きなもので、これほどの

モノは見たことがない。

つづく





## 4月24日(水)曇・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月24日(水)04時34分57秒

つづき

しかし、こんにちまでさほど年齢は意識していなかったが、今日は違った。私も気が付いたら、完全な「ジジイ」になっていたのだ。

小倉山をパスしたがピッチは上がらない。過呼吸で胸が苦しかった。最近、特に「ゼ～ゼ～ハ～ハ～」が苦しかった。飲みすぎ??!!もあるか。

上部を見ると駒の小屋手前の急登を数人が蟻のように張り付いていた。「あんな所を上れるだろうか」いや、上れても「滑降が出来るだろうか」一抹の不安がよぎった。

天気は相変わらず良かった。ますます暑かった。モーレツに暑かった。体力はドンドン失われた。

越後駒は標高約2003m。いつも訓練している、富士山・ニッ塚上塚の標高とさほど変わらない。なのに、この苦しさは一体なんなのだろう。

また一人抜かされた。昔は抜く事はあっても、抜かされる事はなかった。夏の百草ノ池付近に達した。標高は約1550m。橋から約800m上った。

頂上まで、まだ450m弱ある。あと2時間以上掛るだろう。時間は10時半。

タイムリミットは12時。今の調子では、とても無理な時間だった。

非常に残念だったが、今回はここまでとした。「越後駒は一流の山」「もっと若い時に来るべきだった」「70歳代の人間が来る山ではない」と痛感した。

つづく





## 4月23日(火)曇・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月23日(火)06時04分49秒

つづき

小倉山に向かう。気がかりだった尾根の「雪割れ」はなかった。地元の「みちぐさ山の会」Mさんの情報では、「雪が少ない」だったが、里と山は降雪量が違うようだ。3月中旬からの「寒の戻り降雪」が大きかったようだ。

天気は良かった。風もない。それ故に非常に暑かった。汗がガンガン流れる。暑さに弱い私は、徐々に疲労が増していった。小倉山はピークを踏まないで、南をトラバースする。頭上には大きな雪庇があった。

あんなものが崩れたらひとたまりもないだろう。思わず急ぎ足になってしまう。この辺りで2名に抜かされた。我々が特に遅いとは思わないが、これで4名抜かされた。先の方は、結局6時に出て、頂上に11時半着いたという。5時間半である。

当然、下りも早く14時前に下り切った。年蓮は52歳だった。今回、何人かに年齢を聞いたが、「島田しらびそ山の会」の方が、最高齢で62歳だった。70代はいなかった。そもそも70代で来るか。

つづく







## 4月22日(月)晴・13度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2019年4月22日(月)07時36分13秒

先週、木曜日は、越後駒でした。

### 裾野麗峰山の会・山行報告書

山行NO 山行NO. 1816-1  
日時 2019.04.18(木)無風快晴高温  
山域 越後駒ヶ岳(2002.7m)  
コース 石抱橋発5:30-林道取り付間違え戻る5:45  
-長い林道-柳沢(尾根取り付)6:16-1064m峰7:36  
-道行山8:35-小倉山トラバース10:00-最高到達点・  
標高約1550m10:40-滑降-道行山11:54-林道

13 : 07 - 石抱橋 14 : 01

標高差 上り 石抱橋約750m～引き返し点約1550m＝約800m  
下り //

### 越後駒は一流の山だった

「今月」二度目の越後駒だった。情熱はあった。  
前は4月4日。意気込んで来たが、寒の戻りで季節外れの大雪。  
地元の方は「1m積もった」と話していた。石抱橋から潔く帰った。

そして今回。天気は良かった。橋から駒が大きかった。既に3名先行。  
北の又川に沿って進んだが、実はこのルートは間違いだった。  
橋の先で林道を行くのが正解だった。20分程ロスした。

雪が締まっていたので、スキーは背負った。  
ただ、前日のスキー跡はカチカチで怖かった。特に崖の上の狭い  
場所のトラバースが悪かった。

滑落すれば10m下の川にドボン。嫌なところだった。  
小一時間で柳沢に出る。  
右折して尾根に取りつく。物凄い急登。道行山まで標高差  
500mはキツイ。  
標高1064m峰で展望が開け、正面に純白の駒ヶ岳が見事だった。  
しばし感動。

目を凝らすと先行した2名が道行山の急登で喘いでいた。  
我々は壺足で上る。  
最低コルの部分だけ少し雪が切れていた。  
下から2名上ってきて抜かされた。彼らはシールで上っていた。  
この程度の斜面をシールで上れなければ時間が掛る。

ようやく道行山手前からシールで上る。ただ、ピークから少し下るので、  
また壺足になる。慣れた方は、そのまま下るようだ。要するに、  
あんなこんなで、ヘボは兎に角時間が掛る。

つづく





## 4月17日(水)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月17日(水)06時15分42秒

先日

群馬・中之条でワラで作った、仏さんを見ました。  
面白いものを作ったものですね。



## 4月16日(火)晴・12度



日曜日は

静岡安倍っ子山の会の40周年記念祝賀会がホテル・シティオ静岡で開催されました。出席は約50名。

司会の立石さんの宣言で開会。会長の渡辺さん謝辞、全国連盟・副理事長の久保さん祝辞、中部ブロック・花澤さん挨拶が続いた。新藤克彦氏の乾杯で祝宴開始。

講演は、「南アルプスとリニアを考える市民代表NW共同代表」の服部 隆氏の「南アルプスの魅力とリニア問題」。クライマーでもある服部氏は、私より少し若い方だが、南アルプスは精通している。

講演者だが着飾ることはなく、普通のパンツに丸首のシャツ。ざっくばらんで親しみ易い。話は、服部氏の魂の籠った熱演で、分かりやすく非常に有意義だった。改めてリニア問題を考える、いい機会であった。

ほか、国内記念山行報告、この10年間の山行スライド、各会代表挨拶、山の歌合唱、ビンゴゲームと盛り上がった。ちなみに私は、ビンゴゲームで、4000-相当の山のカップをいただきました。

また、このような機会で県連の仲間と交流もはかれたのも収穫でした。





## 4月15日(月)曇・12度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月15日(月)05時58分16秒

土曜日は

富士山・ニッ塚、山岳スキーでした。  
今年は3月～4月に降雪が多かった。  
この時期、ニッ塚周辺でスキーが出来るのは奇跡。

1976年からの、長いスキー人生だが、過去の記録を調べてみた。  
そうしたら、意外だったが、4月にスキーをやった年度が何回かあった。  
2006年4月1日、2010年4月18日、そして今回が4月13日。  
2010年は写真をみても凄かった。



<http://susono-reihou.babyblue.jp/20090418hoeizann.pdf>

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page156.html>

しかも今回は、洞門の駐車場（標高約1300m）が一杯で下の駐車場（標高約1100m）から上り滑った。

標高差は約900m。これも富士山では珍しい記録。

富士山で過去最高標高差スキーは、2001年同じく標高約1100mから宝永山頂上まで上って滑ったもので、標高差は約1600m。

ちなみに、5月の5合目から頂上滑降でも約1500m。標高差1600m

は、いかに大きいものか。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/946>

スキーは、雪がなければ出来ない。自然の恩恵は有難い。





## 4月12日(金)雨・10度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月12日(金)08時17分41秒

昨日は

タケノコを掘り、ワラビを採っていただいた。  
美味しかった。

タケノコは、知人の竹やぶで掘った。  
最初慣れなく、なかなか見つからなかったが、慣れると  
ちょっと頭を出したタケノコが、数本見つかった。

スコップで丁寧に周りを掘って、15cmほど姿を現したら  
根元に一撃をして掘り出す。

1時間ほどで、人数分の4本掘ったので終了。今朝、いただきましたが、  
タケノコは美味しい。

更にワラビを見つけに行く。

この所、寒かったので、まだ早いかと思ったが、既に出ていた。  
ワラビも春の味覚。早く食べたい。

早速、持ち帰りアクを抜き、今朝いただいた。

ワラビも美味しかった。

この時期、春の味覚を堪能できるのは、嬉しいことです。





## 4月11日(木)曇・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月11日(木)06時06分43秒

現在

山のGPSは、スマホとガーミン650TCJを使っている。  
今は楽になった。  
昔は、2万5千円・コンパス・高度計を駆使した。

それでも何とかあったから、不思議なものだ。  
高額なGPSを購入したキッカケはあった。  
2016年の連休、八方尾根で「あわや遭難か」の目に遭った。  
<http://susono-reihou.babyblue.jp/630.pdf>

厳しいホワイトアウトで進退が極まった。  
全く何も分からない。10m先の小屋が分からなかった。  
ホワイトアウトは2日続き、下山もままならなかった。

その時、何処かの方のGPSで、かろうじて下山できた。  
「三種の神器」では、どうにもならなかった。  
人知では自然に適わない部分がある。すぐGPSを購入した。

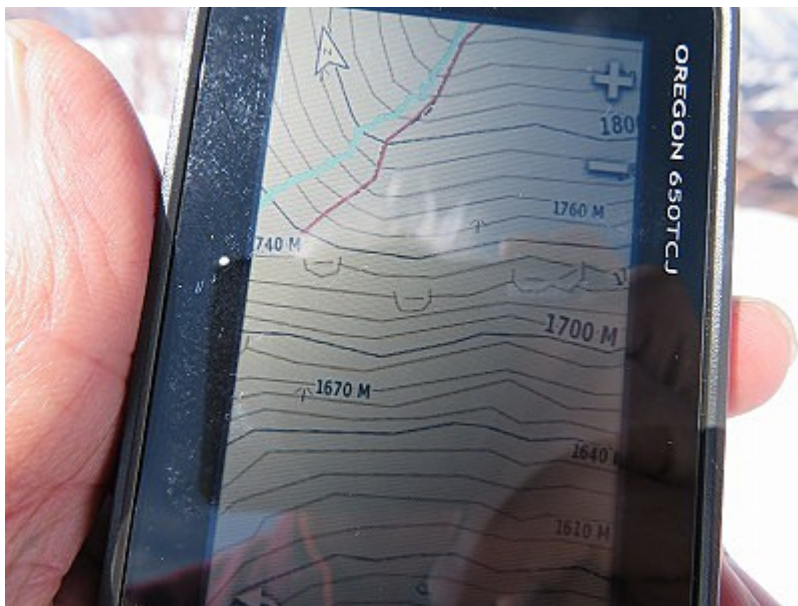
ただ、スマホは陽光が溢れる好天下では、携帯と同じで見にくい。  
かなりバックライトを強くする必要がある。

その点、ガーミンはバックライトを強くしなくても極めて見やすい。  
好天なら好天程、見やすい。  
何故かは不明だが、液晶の構造に違いがあるのか。

いずれにしても、GPSは有難い。  
現在の登山者は、幸せですね。







## 4月10日(水)雨・10度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月10日(水)06時58分16秒

今日は

4月度・伊豆巡礼でしたが、雨中止でした。

4月度・裾野麗峰山の会・会報「れいほう」が出来ました。  
ご覧ください。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-117.pdf>





## 4月9日(火)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月9日(火)05時31分2秒

上信越は

また、雪だって??!!  
う～ん、困ったものですね。

先日の山行報告をまとめました。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-114.pdf>





## 4月8日(月)雨・13度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月8日(月)07時43分35秒

先週は、

木曜～土曜、新潟・群馬の山でした。

今シーズンの山岳スキーは、天候に翻弄されています。

数日前から大寒波が襲来した。

4月に入り大雪とは・・・。

木曜日、関越を飛ばして小出ICから、奥只見シルバーラインに入る。

シルバーラインって、何か名称がイヤだね。

長い長いトンネル。18km!!!を潜り、越後駒・登山口

石抱橋着。

しかし、春の重たい「あんこ雪」が約1m。トレースはなし。

その時点で越後駒は諦めました。

なら、谷川岳西黒尾根で、谷川岳BPまで行きましたが、こちらも同じ状況。

新雪雪崩が恐怖で結局、リスクが少ない平標山(1984m)に転戦。

平標は、97年4月以来だった。懐かしかった。

平標も「あんこ雪」で、少し前のワカンの跡があった。

最初から、モーレツな上りが待っていた。



コースは、97年と同じコースだったが、全く記憶がなかった。  
「あんこ雪」は、最悪だった。  
苦しい上りが続いた・・・。

つづく



**4月3日(水)晴・10度**

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月3日(水)05時54分49秒

先日

[返信・引  
用編集  
済](#)

富士山に周遊道の洞門から上った。  
上り始めてすぐ、シカが数頭、キーンと走り去った。  
雪がなくなり、シカが跋扈（ばっこ）している。

大石茶屋まで雪はなかった。  
雪が消えた跡の砂地に何やら足跡が縦横無尽に残されていた。  
シカだった。

近年、暖冬・少雪・猟師減でシカが減らない。  
夜、周遊道を富士宮五合まで上ると、周遊道の脇の  
草を食むシカが多くみられる。

砂地をよく見ると、まだ葉が出ていない小さな灌木  
（葉が出そろっていないので、何か不明）の根元が  
掘られ、食べられていた。

この食物が少ない時期、シカの食料となっているようだ。  
これでは、植物が堪らない。根を食べられたら枯れてしまう。  
困ったことだが、どうにもならないの現実だ。

以前提案したが、イノシシにウイルス蔓延防止の薬を与える  
ように、「シカピル」が良いと思うのだが・・・。







## 4月2日(火)晴・10度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月2日(火)05時29分8秒

各位殿

当HPは、下記に移りました。  
引き続き、よろしくお願いいたします。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/>

HPで20年以上続けてきた、yahoo ジオティーズが事業を停止した。理由は不明。通常、事業は儲かっていたら、撤退することはないと思う。

以前も書いたが、昨今、HP以外のSNSが拡大し、無料のHPも多い。yahooは、老舗で料金もやや高め。事実、今度のプロバイダーは、yahooより、容量が多く料金は安い。

儲からなくなり撤退しても不思議ではない。ただ、当サイトの様に内容が多いと、移動も大変だった。慣れない作業で一時はパニック状態だった。yahooも罪なことをやってくれと思った。

しかし、結果的には無事移動した。お蔭でかなり勉強はさせて貰い、分からなかったことが、分かったことは大きい。ただ、県連の仲間の会のHPが、2件引っかかってHPが閲覧できなくなったのは残念だった。







## 4月1日(月)晴・10度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年4月1日(月)06時09分36秒

先週

金曜日は、富士山・ニッ塚周遊でした。  
コースは、洞門～御殿場口～下塚・上塚コル～上塚～  
上塚・宝永山コル～幕岩上～下塚・上塚コル～下塚～  
洞門。天気＝モーレツな風。単独。

先々週、同コースでスキーだった。  
一週間経って雪の変化を見たいのと、雪山に上りたいで  
再び訪れた。

洞門駐車場は横浜NOのジープが1台。さすがに少ない。  
周辺には全く雪はない。  
雪は「融ける」の悲しい宿命がある。また、同時に生命の  
躍動でもある。

雪は大石茶屋から出て来た。ニッ塚北面は、かなり残っていた。  
トラバースしてニッ塚に向かう。双子沢（仮称）はスキーが出来る  
くらい残っていた。

雪質は先々週と違い最高級だった。宝永山は、まだべったり残っ  
ているので、頑張れば楽しめそう。ただ、歩いて上るのは、まだイイが  
スキーが終わって長時間の歩きはイヤだね。

つづく



**3月29日(金)晴・11度**

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年 3月29日(金)05時29分2秒  
オーバー手袋

[返信・引  
用 編集  
済](#)



フィンガースルーミトン（KKアクシーズ・クイン）5000ー

オーバー手袋の5本指は、強風で指が冷えて堪らない。  
2本指が理想的。

風で飛ばされないように、ゴムバンドが付いている。  
これは安心。

胴体の一部がチャックで開いて指が出せる。  
手袋を脱がなくても、細かい作業が出来る配慮。

最近、「痒いところに手が届く」山の装備が増えた。  
これは嬉しいね～！！





### 3月27日(水)晴・12度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月27日(水)07時31分17秒

今日は

3月度・伊豆ウオーキングでしたが、親戚に不幸があり私は不参加になりました。

皆さま（17名）は、高通山登山口～雲見～千貫門～烏帽子山～雲見海岸～雲見霊廟～三競歩道～石部を歩きます。好天でいいウオークでしょう。

超早生のタマネギを収穫している。  
甘くて美味しい。

放射状に包丁を入れ、バターを乗せて2分～3分レンジする。  
バターが程よく溶け、タマネギはしんなりする。

サイコーに美味しいです。





### 3月26日(火)曇・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月26日(火)08時11分32秒  
つづき

[返信・引  
用編集  
済](#)

旧測候所小屋跡から本格的な上りが始まる。  
雪は新雪で硬くないので、アイゼンはいらない。  
また、深く潜らないので、シール登行でなく、歩きのが  
楽だ。

御殿場口は宝永山の広大な斜面を上る。  
ガスされるとホワイトアウトで方角が全く分からなくなる。  
過去に何回か難しい場面に遭遇した。

そのため御殿場口には一定間隔で木柱が設置されている。  
間隔は100mほど。木柱は延々と続いている。  
上を見ながら上ると、なかなか進まない錯覚に陥るので  
下を向き呪文を唱えるように黙々と上る。

天気は相変わらず安定していた。風も強くない。時間は  
10:30。洞門発7:30だから3H上った。もう少し  
頑張ってみようと思った。

11時前になった。ここで終了とした。標高は約2500m  
くらいか。同行の日本山岳会は、更に上を目指した。暑かったので  
脱いでいたヤッケ・ズボンを纏って滑降。宝永から滑降は久しぶり  
だった。

雪は最上ではなかった。旧雪は硬く、新雪は重かった。そんな雪が  
交互に現れる。それでも転倒するほどの雪ではない。自身の体力・  
技術でこなせる雪だった。滑降は早い。アツという間にニッ塚の  
コル。南面を少し滑ったが、上り返しが面倒で途中で止めた。

雪質は下部も同じだった。新雪をだましだまし滑り、大石茶屋上  
で終了。まあまあスキーだった。この時期、富士山で滑れるのは  
嬉しい。雪は自然の恵みなので、本当に有難い。





## 3月25日(月)晴・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月25日(月)06時55分3秒

昨日は

富士山・宝永山で山岳スキーでした。  
天気は無風快晴。標高差=1200m。  
参加者=単独+ (日本山岳会)

洞門から出発。昨日の新雪が15cmほど積もっていた。  
この時期の新雪は珍しい。  
富士山は3月に入って降雪が多い。近場でスキーが出来るのは有難い。

新雪は多くないのでスキーは担いで行く。今回は、駐車場からニッ塚でなく宝永山に向かう。宝永山に向かうのは久しぶり。  
旧測候所の中継小屋まで長く忍耐がいる歩き。

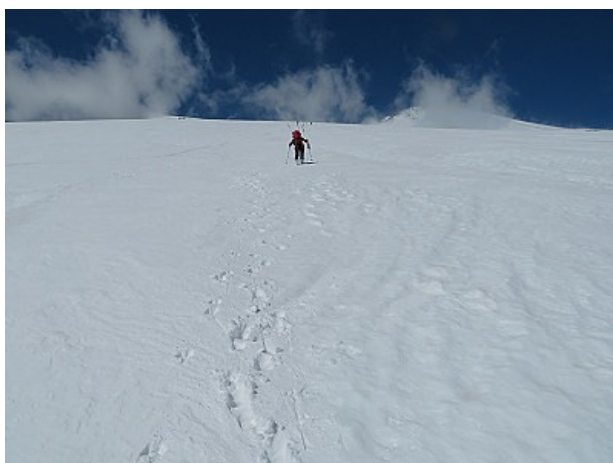
上から早くも下山してくる方がいた。聞けば、昨夜は水ヶ塚に泊まり朝一番で洞門から宝永中腹まで上ったという。静岡市の方々だった。先頭の男性は私と同じくらいの年齢の方だった。

旧測候所小屋は撤去され既に何もなく、やや平坦地だけ残っていた。少し休憩する。宝永山はここから本格的な上りになる。天気は良く風はなく高温で温かい。

富士山の冬山登山は、無風・快晴・高温・霧(ガス)が出ないが必須条件。昨日の天候はその条件だった。スキーの場合、それに雪質が良いことが加わる。

つづく





**3月22日(金)曇・12度**

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月22日(金)06時39分51秒

[返信・引  
用編集  
済](#)

## つづき

上りきれば、権現山。明るく広い頂上は春の陽光が溢れていた。時間はやや早かったがここで昼食。皆で車座になり弁当を広げる。様々なものが回ってくる。山は食べることが一番の幸せだ。これは、昔から変わらない。

宴は1時間ほど。お腹は満腹だった。普段、昼食は軽めなので苦しい。頂上の杭を利用して記念写真後下山。下のベンチには登山者が数名休んでいた。

頂上から急坂を下って行くと二本杉峠。峠から上ノ原に向かう。何処かの女子2名に抜かされた。天気は相変わらず良かった。下りきれば上ノ原集落。車を回収する。

近くにはイイ温泉がある。時の栖が新しく開店した。時間がある方は温泉に入る。ただ、多忙な5名は早帰した。時の栖はJAF割引で400ー。広くキレイな温泉で400ーは有難かった。

今回は、お目当てのミツバ（三極）は最盛期で素晴らしかった。皆さんもよく歩きました。次回も頑張りましょう。







## 3月21日(木)雨・10度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月21日(木)05時03分12秒

昨日は

3月度・まったりハイクで、西丹沢・ミツバ岳～世附（ゆずく・よずく）  
・権現山でした。コースは、丹沢湖～ミツバ岳～権現山～二本杉峠～  
上ノ原。天気は快晴・高温。参加は11名。

長泉6時発。丹沢湖登山口から登山開始。下山は上ノ原  
なので、車を1台回しておいた。  
最初から急登。登山口に「マムシクサ」が芽吹いていた。

しばらく人工林が続いたが、上部は美しい自然林が広がっていた。林には春の温かな陽光が溢れていた。野鳥が、「チッチチッチ」と忙しい。

地表をよく観察すると、小さな小さなフデリンドウが咲いていた。本日お目当ての「ミツマタ（三桮・の花＝ミツバ）」が、チラホラ現れる。時期的には丁度良いようだ。三角点の834. 2m着。このピークがミツバ岳。

花は凄かった。満開状態でサイコーのタイミング。皆さんの歓声が響く。香りもイイ。沈丁花の香りだ。（三桮はジンチョウゲ科）西には花越しに富士山が大きかった。3月にしては雪が多い。記念写真をおさめて権現山に向かう。

途中、右手の東斜面のミツバ群生も素晴らしかった。50mほど下り、権現山の厳しい上りが200m。上から何人か下って来た。上りきれば権現山だった。

つづく







## 3月19日(火)晴・10度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月19日(火)17時45分53秒  
つづき

晴れ間を見ながら滑降。  
気分は良かった。  
下から何方か上って来た。

見れば上りの時会った方だった。  
友好的な方で話が弾んだ。  
靴がちょっと見慣れない靴だったので、聞けば、  
レース用といった。

レースはどんな所でどんな風にやっていますかと、  
聞いたら意外な返事が返って来た。  
実は、ヨーロッパ・アルプスのオート・ルートの  
レースに参加したという。

「え、え、え～」あのレースは、私にとって因縁の  
山だった。レースは3名・1組で出るという。  
500名くらい出るらしいが、順位はどうしてもイイくらいの  
順位だったという。

もっと詳しい話を聞きたかったが、なんせ雪上での立ち話。  
適当なところで切り上げた。

それにしても海外まで行ってレースに出るとは、驚いたものだ。

下部は早くもザラメ状態で快適そのものだった。  
雪がもう少し多ければ、サイコーでしたが・・・。







## 3月18日(月)晴・10度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月18日(月)07時16分3秒

昨日は

富士山・山岳スキーでした。  
天気は曇り・ホワイトアウト・風強・雪。  
参加は2名。

この時期に及び、富士山は真っ白。  
丹沢にしようか迷ったが、やっぱりスキーを選択。  
ただ、洞門には雪がなかった。

例年、3月中旬雪はない。  
今年は3月に入って降雪が続いた。  
双子沢（仮称）まで歩き雪が出た。

2月と違い火山礫が凍っていないので歩き易かった。  
雪は前回のようなモナカでなく、硬い下雪に昨日の  
粉雪が乗ったイイものだった。  
「今日は期待できる」と思った。

途中で早くも上から滑って来る方がいた。  
聞けば神奈川の方だった。スキーは上手かった。  
この方とは後にも会った。

上塚のコルまで上り、幕岩方面に滑る。

ところが俄かに雲が湧きホワイトアウト。  
凹凸が分からず、スキーにならない。  
途中から上り返す。

コルから北面に滑る。  
雲が切れるのを待ちながら滑る。  
雪はマアマア良かった。  
快適に高度を下げる。

つづく







## 3月15日(金)晴・10度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月15日(金)07時58分2秒

一昨日は

3月度・伊豆八十八札所巡礼でした。

コースは、40番・玉泉寺～42番。長楽寺～43番・大安寺  
～41番・海善寺～44番・廣台寺～45番・向陽院～46番・  
米山寺。天気＝晴れ・風あり。参加＝25名。距離＝15km

2月度最終の玉泉寺から出発。下田港からの風が強い。

街中を通過し、42番・長楽寺着。

お勤めを終わり、了仙寺脇を通過し43番・大安寺着。

立派なお寺。お勤め後、住職にお話をいただいた。住職から  
吉田松陰・山口県・萩などの話をいただいた。住職は温かな  
お顔で話が上手く面白かった。もっと聞きたかったが、時間が  
なくて残念。

隣の41番・海善寺終了後、昼食で下田の街をウロウロ。

知っている「川端」に行きたかったが、分からず時間も  
ないので寺の向かい近くの食堂に入った。

つづく





3月14日(木)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月14日(木)11時34分24秒

[編集済](#)

つづき

あれほどいたスキーヤーは、我々のほか1名。  
皆、富士見沢方面に行った。過激な？スキーヤーはその方がイイか。  
我々はここで終了。何故か大いに疲れた。

寝不足・高高度・ややラッセルの影響だろう。  
少し食べて滑降。カメラは寒さで作動しない。  
後で見たらGPSもアウトだった。  
上部の滑降はマアマア。壁下は深く重いモナカで最悪だった。

一年ぶりの山岳スキーでラッセルとモナカ。ま、お山は厳しかった。  
それに荷物が重かった。皆さんは軽装だ。去年の蓮華もそうだった。  
春の重雪は、重荷では厳しい。  
かくして、初山岳スキーは、何とか終わった。

追記

今回の大雪で、

1. 9日＝白馬乗鞍岳にて雪崩で1名、意識不明。
2. 10日＝尾瀬燧ヶ岳で雪崩で1名死亡。
3. 10日＝八方尾根で2名滑落、1名死亡。

だった。春の大雪は。要注意です。無理は禁物です。





### 3月13日(水)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月13日(水)05時10分14秒

[編集済](#)

つづき

位ヶ原下の壁も全く問題なかった。  
大きな「キスリング」の何処かのオジサンが座って休んでいた。  
聞けば、写真を撮りに来たい。  
今日はテン泊だが、風が強い位ヶ原は、どうしたものかと思案顔だった。

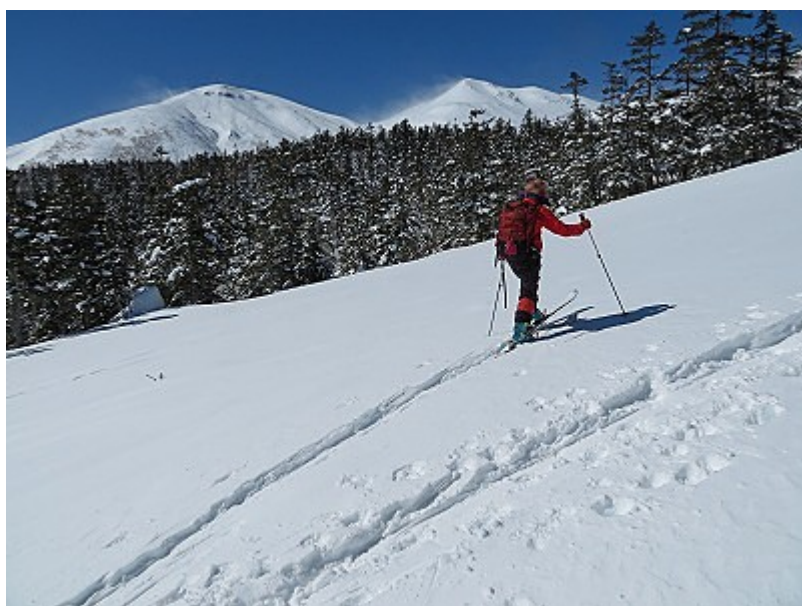
位ヶ原に乗った。  
昔と変わらない。風も相変わらずだ。ただ、今日は「モーレツ」  
という程でなない。なだらかな上りをシーリングして行く。  
神々しい乗鞍が大きい。



肩の下の林道に着いた。夏の出発点だ。

ワカン組の若い衆が2名頂上を目指した。後から1名ワカンなし  
アイゼンの若い衆が続く。

つづく



## 3月12日(火)晴・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月12日(火)06時31分23秒

つづき

久しぶりの乗鞍のスキー。

春は昨年6月に来たが、冬は2009年以来だった。昔は随分来たが・・・。

8:45、リフト代金1200-でリフトに乗る。

天気は良く冷え込んだ。だが、例によって風はもう吹き出した。

かもしか平から歩く。金曜日の平日だが登山者は多い。

ワカン・スノーシューも数名。最初の壁は問題なかったが、季節外れの重い大雪はここも同じ。

滑降が思いやられる。

グングン上るといいたいが、そうはいかなかった。

今期、初スキー。シール上りは、なかなか厳しい。何人かのワカン・スノーシューに抜かれる。

寝不足が効いていた。梓川SAは煩くて休めないのが原因。

そもそも、乗鞍のようなダラダラ上りは好きでない。

それでも切り開きから仰ぐ乗鞍は荘厳で気高い。

強風でポンポンと生き物様な雪煙を上げていた。

「やっぱり来て良かった」と思うのは、こんな時だ。

つづく







## 3月11日(月)曇・11度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月11日(月)07時03分16秒

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・写真 後藤

山行NO 山行NO. 1808

日時 2019.03.08(金)晴・上部風あり

山域 乗鞍岳(3026m)約2610mまで

コース かもしか平(ゲレンデ最上部)発9:25一位ヶ原下

11:05一肩の小屋下(約2610m)12:15一国民宿  
舎14:30

標高差 上り かもしか平約1980m~一肩の小屋下約2610m=

約630m

下り

//

今期初山岳スキー。

焼山北面台地を予定。木曜日、笹倉温泉に向かった。

しかし、久しぶりの大寒気の南下と低気圧。大町を過ぎると雪だった。

糸魚川から笹倉温泉に向かうと、降雪量は更に増えて半端でなかった。笹倉温泉途中まで上ったが、明日、下手をすると車が走れない可能性がある。

しかも、春の重たい雪。雪崩があれば、ひとたまりもない。

断腸の思いでUターンし梅池に向かう。

梅池に着いたが雪はますます凄い。一縷の望みで、とにかく寝た。

2時ころ起きた。降雪量は凄い。朝までいたら車は動けなくなる。

駐車場には数えるほどしか車はない。

スマホで天気を確認すると、何と乗鞍方面は晴れ。

兎に角、この重い大雪では、明日晴れても登山は出来ない。

春先の大雪は雪崩が怖い。

ここは潔く、乗鞍に向かった。

大町を過ぎると雪は小降りになった。梓川SAに入ると、我々の車だけ雪ダルマだった。

妙高方面も雪のハズだが、意外だった。

つづく







## 3月7日(木)雨・10度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月7日(木)06時27分50秒  
過日

下田・青野川で人力車が走っていた。  
立派な人力車が2台あった。  
聞けば、人力車は100万以上するそうだ。

聞けば元々、軽井沢が活動拠点という。今回、観光協会の要請で祭りの間、営業だそうだ。営業は個人経営でなく会社組織。売り上げは会社に入り、給料を貰っているそうだ。

運賃は、一人5分=500円、20分=2000円。  
なかなかのお値段。青野川のサクラの下、爽快に  
乗ってみたいものですね。





## 3月6日(水)雨・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月6日(水)06時47分46秒

結局、

あさぎり山の会の遭難者は、五宗山で下山道を間違えた。

五宗山は、毛無山塊の熊森山西稜線にある山。

地図を見れば分かるが、南北に長く広い山頂。

素人が間違えやすい典型的な山。・・・問題1. 地図・コンパスを未持参

その上、転倒した際、携帯を紛失した・・・問題2. 転倒の規模は現在不明だが、携帯は

ザックに入れる

のが基本。

恐らく、何処かで道間違いに気が付いたはず。

しかし、「戻らず」(戻っても道がわからない)

下に下に下ってしまった。・・・問題3. この辺りの心理は、余り経験がないので分からないが、

「道を間違ったら戻るは基本中

の基本」

その上、単独登山で相談すべき仲間もいなかった。

通常、登山はよほどのことがない限り、単独は禁止。

何かあっても対応が出来ない。素人ならなおさらだ。・・・問題4. 単独登山は禁止。

最後に、重大な問題。登山届がなかった。

行方不明だが、何処の山か不明だった。山を特定するに

時間が掛った。・・・問題5. 登山届未提出。

遭難とはそもそもこんなものだ。様々なケチがついている。

つまり遭難は人なのだ。遭難以前に人に問題があった。





## 3月5日(火)曇・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月5日(火)07時06分14秒

日曜日は、

静岡勤労者山岳連盟の53期総会でした。私は総会で、  
遭難対策部長を任命された。しかし、総会中に県連傘下の  
富士宮・あさぎり山の会、Tさん（女性・65歳）が、土曜日  
毛無山塊・五宗山（ごそうやま・1639m）に上ったが、  
帰らないの情報が入った。

毛無山塊で行方不明だった、あさぎり山の会会員、Tさん（女性・65歳）  
は正午ころ自力下山し無事が判明した。  
Tさんは、携帯を紛失し、途中で連絡が出来なかったという。  
連絡した場所は、身延線・井出駅。

搜索は、あさぎり10名、きさらぎ山の会4名、静岡県警数名、  
山梨県警数名で行われた。遭難対策本部は、麗峰・山楽歩・清水・  
あさぎりの4名が詰めた。そのほか、湯之奥トンネル現地登山口に、  
あさぎり2名・遭難者夫・息子が入った。

雨の中、主に尾根を中心に搜索したが、決定的な証拠・  
本人は見つからなかった。  
結局、本人は2日間、雨の中ビバークをして生還したが、  
その足跡は現時点では分からない。

推測では、熊森山西の五宗山（ごそうやま・1634m）  
で下山道を迷い、戻ることなく南の尾根を下り、三石山（1173m）  
を經由し、佐野峠から井出駅に至った可能性がある。三石山には神社  
があるので泊まった可能性がある・・・。

以上が今回の概要です。詳細は、いずれ、あさぎり山の会で明確  
にされると思います。行方不明が判明した土曜日夜から奮闘した皆様  
には感謝の一言です。お疲れさあでした。ご苦労様でした。





## 3月4日(月)雨・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月4日(月)04時50分50秒

土曜日は

裏丹沢・加入道山(1418m)・北西尾根でした。  
コースは、道志の湯―北西尾根―加入道山―避難小屋―一般道―道志の湯。天気=曇り。標高差=約818m。参加=7名。

久しぶりの道志山塊。この山域は、案外遠く、訪れることは少ない。女子3名は北尾根、男子4名は北西尾根を上る。取りつきから、兎に角急な尾根だった。

下部尾根は、ほとんどヤブはない。標高点1262m下には、枯れた竹があるが、うるさい程ではない。  
標高点1262mは、大きな岩があるちょっとしたピークだった。

ここで北尾根の女子隊と合流する予定だったが、まだ着いていなかった。少し下って最後の上り。空が切れてベンチが見えたらピークだった。兎に角、凄い尾根だった。

女子に携帯すると、まだ1262m下だった。  
ピーク南にキレイな避難小屋がある。まだ新しく木目が眩しい。  
小屋は明るく暖かかった。ここで昼食。

Gさんが育てたシイタケの煮物が美味しかった。気温が低いのでビアは温めて頂いた。五臓六腑に染み渡る。30分遅れで女子隊が到着。北尾根は少しヤブがあり難儀したようだ。皆で賑やかな昼食。途中で男性が1名やって来た。

下山は交互に上った尾根を下る予定だったが、余りの急尾根だったので一般道を下る。ただ、この道はガレ道で、前日の大雨でぬかるみ悪路・難路だった。

下部は全く問題なし。天気も良くなり温かい。程なく道志の湯着。温泉で暖まり帰着した。新しいバリエーションを上れて大いに満足でした。





## 3月1日(金)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年3月1日(金)06時22分26秒

田牛先、トンネル通行止め顛末

これでいいのか通行止め対応

27日、伊豆ジオパーク一周ウォーキングで南伊豆歩道を、  
下田市・田牛(とうじ)から青野川まで22名で歩いた。

歩道入口に、この先のトンネル工事で「車両通行禁止」の立て看板があった。

「車両通行禁止」だから「歩行者は通行出来る」と思い歩いて行くと  
トンネル手前で工事関係者が5~6名、歩道脇の樹木伐採作業をしていた。

一人の方が「トンネルは通行止めで歩けないから帰ってくれ」

「先日は、浜松から来たウォーカーにも帰って貰った」「迂回路はない」  
「弓ヶ浜まで車で行ってくれ」とかなり高圧的・威圧的な上から目線口調  
でいった。

恐らく気弱な人、素直な方、大人しい方は引き返してしまうだろう。

しかし、「そうですか」と簡単に引き下がれない。「看板には歩行者  
禁止とは書いてない」「トンネル内を見たが、機材は全く置いてなく、  
特に歩けない状況ではないと」反論する。

すったもんだ20分ほどやりあったが埒が明かない。結局、下田市建設課  
に電話で確認したら「注意して通行して下さい」だった。

現在、伊豆はジオパークで盛り上げている。期待して遠くから訪れる方は  
多い。

ジオパークは伊豆観光の目玉だ。かつ、市町村は、人口減・過疎でいかに  
伊豆  
を振興していくか苦勞をしている。

私たちは同じ県東部の在住者として、伊豆八十八札所巡礼・伊豆一周  
ウォーキングなどの行事で伊豆振興の一役を買っている。

その中でこのような理不尽な作業員の対応は到底納得出来るものではない。

遠路はるばるやって来る観光者に地元の方は最大限の対応・おもてなしを  
すべきだ。

一部の人の誤った対応で伊豆のイメージは良くない方向に行ってしまう。  
市役所・現場作業者はコミュニケーションを密にし、訪れる観光者に温かな眼差しで対応することを期待いたします。





## 2月28日(木)雨・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月28日(木)05時44分55秒

昨日は

2月度・伊豆ジオパーク一周ウォーキングでした。  
コースは、田牛（とうじ）サンド・スキー場～竜宮窟～タライ岬  
～弓ヶ浜～青野川（お花見）。天気は晴れ・風あり。距離＝約10  
km。参加＝22名。

伊豆ウォーク・お花見シリーズNO. 2で青野川に向かう。  
田牛、サンド・スキー場から出発。スキー場でSさんが用意した  
ダンボールで滑ったが、摩擦が大きく全く滑らなかった。やっぱり  
ソリでないとダメ。ただ、その情熱に拍手喝采。

すぐ下の竜宮窟に上り俯瞰すると波打ち際がハート型に見えた。  
下って中に入ると規制線があった。先日、落木があったようだ。  
ここは女優のYが宣伝している。

田牛集落から南伊豆歩道に入る。入口に「車は通行止め」になっていた。  
この先にトンネルがある。トンネルの手前で男が数人道路わきの樹木の  
伐採をしていた。

一人の男が「トンネルは通行止めで通れない」「引き返してくれ」  
「先日、浜松から来たウォーカーも返した」という。一応、トンネルを  
確かめると何もやっていないし、何も障害物はない。

すったもんだしたが、頭に来ないで、ここは一番冷静に下田市役所建設課  
のTELNOを聞き出し尋ねたら、簡単に「OK」だった。あの男たちの  
「上から目線は」一体何だったのか??!

確かに工事中なら危険かもしれないが、通れるものなら通すべきだ。  
物事をあまり杓子定規で見ない方が良く。それでなくても現在伊豆は  
集客が落ちている。最大限のサービスはすべきだ。

また、反対側の弓ヶ浜には、通行止めの看板はなかった。二人、田牛  
に向かうウォーカーがいたので、12時から1H通行OKと知らせて  
あげた。時間外に弓ヶ浜側から行って最後に通れなかったらどうする  
つもりなのか??!!ちなみに迂回路の知らせもないし、地元の方も  
迂回路はないと言っていた。

つづく





## 2月26日(火)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月26日(火)04時20分26秒

土曜日は

アサマ2000パークスキー場でゲレスキでした。

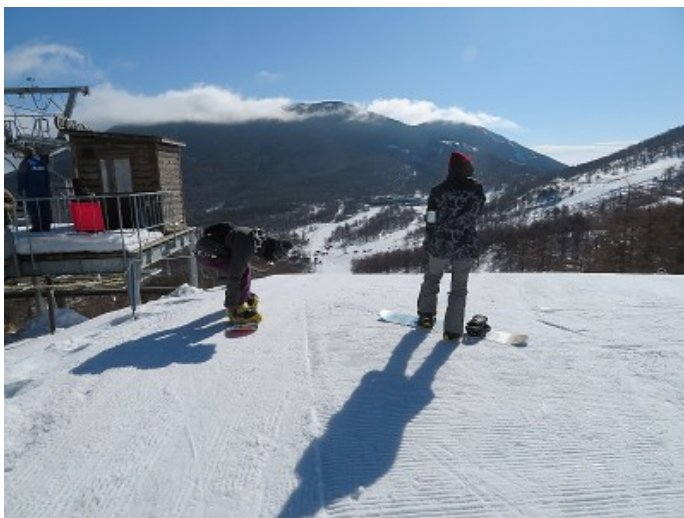
シニア1日券が2500-は安い。

購入時、身分証明を必要としなかった。歳に見えた??!!

比較的空いている。ボーダーが少ない。

ただ、コースは単調ですね。

ま、たまには他のゲレスキもイイものです。





## 2月25日(月)曇・10度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月25日(月)05時22分39秒

金曜日は

浅間・水の搭山(2202m)でした。  
天気=無風快晴。標高差=252m。参加=7名。

数十年ぶりの浅間山域。前回はいつだったか調べたら、何と草津・白根山山岳スキーが2002だった。

懐かしい車坂峠を車で上る。こちらは南面なので雪は全くない。峠を越えると北面で浅間2000スキー場があり雪が出てくる。

宿泊する「高峰温泉」の雪上車で宿に向かう。こんな車に乗るのは初めての経験。宿に入り荷物を置いて、水の搭山に向かう。天気は素晴らしく槍が見えた。

標高差は少ないので簡単に頂上着。頂上の標高は2202mだった。日付は2月22日で私に誕生日。標高・日にちはバッチリだった。

山岳同定をして下山。温泉は素晴らしかった。ただ、料金が割に料理は良くなかったです。





## 2月20日(水)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月20日(水)05時39分41秒

つづき

スマホとGPSを出してコースを確認。屏風岩山には山名表示板、道標がなく  
南尾根方向に立派なふみ跡があるので、引っ張られやすい。

間違っただかもしれないの思いはあったらしいが、ズルズル来てしまったようだ。

南尾根方面に樹木には×マークがあるので、よく観察すれば分かる。  
そもそも、二本杉峠から大滝峠は一般道扱いになっていないのも、間違える一因かも。

頂上から二本杉峠に下る。  
割合、ふみ跡がなくガスっていると支尾根に入りやすい。

スマホでコースを確認するのは楽しい。イイ時代になった。  
ただ、基本は「三種の神器」。スマホは、バッテリーが切れれば御終い。

途中に「屏風岩山」の立派な看板があった。  
二本杉峠から昼食を済ませ上ノ原に下る。  
権現山から流れる沢に大きな堰堤がいくつもあった。







**2月19日(火)晴・10度**

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月19日(火)05時52分52秒

つづき

最初からモーレツな上り。  
気温が高く汗が噴き出る。植林樹のヒノキを間伐してあった。  
間引きされたものは、斜面に規則正しくキレイに並べられていた。

途中、ミツマタが咲き始めていた。  
まだ、少し早く花は完全に開いていない。

ミツマタを見て、いつも思うのは大木を見たことがないことだ。

以前、ぶなの湯で聞いたら、大きくなると枯れるだったが、本当だろうか。

標高1000mで尾根は北西に向かう。

分岐から東にもイイ道があるので要注意。

標高1050mで尾根は西に向かう。下から単独が上って来た。

何故と思ったが、聞けば「畦ヶ丸に行く」という。

つづく







## 2月18日(月)晴・10度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月18日(月)10時52分34秒

土曜日は、

西丹沢・屏風岩山・南尾根でした。

山行NO 山行NO. 1805

日時 2019.02.16(土)晴・高温

山域 西丹沢＝屏風岩山(1051m)・南尾根

コース 上ノ原発8:18～道に迷った単独行10:15－屏風岩山  
10:34－二本杉峠11:31－昼食－大きな堰堤－上ノ原  
13:41－喫茶店「一茶」－温泉「時の栖」

標高差 上り 上ノ原約350m～屏風岩山1051m＝約701m  
下り //

西丹沢のバリエーション。

適当なところがなく探した結果は、屏風岩山・南尾根。

上ノ原の喫茶店「一茶」下の第二東名工事宿舎に駐車。

「一茶」のババさまに挨拶し、キャンプ場裏の尾根に取りつく。  
ところが、何か見覚えがある。やってしまった。以前、やった尾根だった。  
ああ～、焼きが回った。  
ただ、相方は初見なのでそのまま上った。記録は、2016年5月14日  
だった。

つづく





<http://>

[返信・引用](#)

[編集済](#)

## 2月15日(金)晴・8度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月15日(金)06時28分39秒

今日は、釈迦の入滅日

つづき

回転寿司は、やや高めだったが、味はマアママアだった。  
中とろ、金目、アジ、アカハタ、ビア、日本酒をいただいた。  
シャリが案外、美味しかった。

午後はバスで再び白浜に戻って巡礼再開。  
白浜がキレイだった。  
しばし歩き外浦浜に降りる。冬の浜は静かだった。

ここで営業のD観光バスと同色の宿は休業中だった。  
ただ、ベントは置いてあった。2か所ドアを押したが開かなかった。  
隣家で聞いたら、「居るはず」だったが、分からなかった。  
巡礼・ウオークで何回か食事をしたが残念。

外浦の奥から山道を辿り須崎に出る。昔、あった東京の学校は  
跡形もなく片づけられていた。須崎から急坂を下り、観音寺着。  
饒舌の住職がいた。

寺には以前、ピアノを弾くババさまがいた。寺に着くなり、  
裏の廊下でピアノを弾いてくれた。音楽学校出身といった。  
嫁ぎ先がこんな田舎でガッカリしたそうだ。「故郷」を皆で歌った。  
12年巡礼をやっていると状況は変わる。いた方がいなくなる  
のが一番淋しい。

今週は、釈迦の入滅した週。寺には涅槃図が掲げられていた。  
恵比寿島に下り、玉泉寺に上って行く。

つづく





## 2月14日(木)曇・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月14日(木)06時57分5秒

昨日は

2月度・伊豆札所巡礼でした。巡路は、縄地～37番・地福院～38番・禅福寺～白浜～下田・道の駅(昼食)～白浜～須崎～39番・観音寺～40番・玉泉寺。天気=晴。距離=約16km。参加=25名。

巡礼前に河津川の桜を見に行く。まだ3分でちょっと早かった。前回最終の河津・縄地の地福院から出発。天気はまあまあ。R135から上り坂の河津サクラがキレイだった。

旧道を進む。随所のサクラが良い。38番・禅福寺着。先に行ったご朱印係+2名がいない。寺をパスし白浜まで行ってしまったらしい。困ったものだ。

寺の高齢のババさまはお元気。御歳は、87歳になられた。お勤め後、3名が到着。ヤレヤレ。寺を辞しR135を歩く。白浜に降りて浜をたどる。波は荒いがサーファーが4～5名。冬の海もイイな～。

昼食時間になった。バスで下田・道の駅に向かう。回転すしの「魚どんや」に入る。何人かは別の所に入った。

つづく





## 2月13日(水)晴・7度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月13日(水)05時29分42秒

池江さん

の件は、ショックだった。若いだけに残念。  
天には二物を与えず、美人薄命か。

富士山で犬を連れた方を見た。  
ちょっと、寒そうでした。

児童虐待ならぬ、動物虐待??!!





## 2月12日(火)晴・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月12日(火)06時59分3秒

スキー靴

で痛めた、左足親指はこんな具合です。  
昨日は結構、痛かったですが、今日はマアマアです。  
明日は、巡礼ですから、痛むと問題です。

で、何気なく右足を見たら、薬指がやっぱり黒かったです。  
何時何処で痛めたか不明。  
足の指は、痛みやすいことが、改めて分かりました。







## 2月11日(月)曇・18度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月11日(月)06時33分48秒

宝剣岳で3名死亡。2名は滑落。宝剣は滑落事故が多い。強風が吹いていたようだが、風は要注意です。

昨日は、藤山ニツ塚・上塚で雪山訓練でした。天気は=雪、上部強風。標高差=649m。参加2名。

一昨日、雪模様でどの程度降ったか疑問だったが、やはり降雪は少なかった。とても、スキーは無理だった。帰るのも芸がないのでスキーを担いで歩荷訓練とした。雪は少ないが、やっぱり雪山は気持ちが良い。

グングン上る。登山者は3~4名。既に下って来る方もいた。吹き溜まりは、サラサラのイイ雪だった。上塚に立った。モーレッツな風が襲う。下から一人上って来た。平塚から来たという。

すぐ下る。所々、硬い雪だった。そのたびに踏ん張る。スキー靴で長い下りは余り経験がない。次第に足の各所が痛くなって来た。右足は何故か、くるぶしの下が当たる。ここは結果的に豆となった。

左足は、親指が靴に当たっている。足首のバンドを締めていないので体重をスネで受けられず、足が靴先に動き当たっているようだ。余り

経験がないことなので、特に対処しなかった。

結果的には、親指の爪が変色し死んでしまった。早くバンドを締めるべきだった。

こんなに簡単に爪が死ぬとは思わなかった。

今回の反省でした。







## 2月8日(金)曇・10度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月8日(金)06時01分59秒

矢倉岳

帰路、足柄峠でマンサクの花を見た。  
この花は春一番で咲く花。

春一番まず咲くので、この名前が付いたという。  
(花が多いので、豊年満作の説もある)

香りはとてもいい。  
3月、山岳スキーで雪山に上ると良く見かける。  
やはり、静岡は早い。  
春が来たと実感する花です。





## 2月7日(木)晴・8度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月7日(木)06時07分27秒

つづき

鷹落場から20分下った所で女子班と合流した。  
結構、ガジガジだったが、アイゼンも着けずに頑張って来た。  
聞けば、上から男性が一名降りてきたという。

フラフラ・ヨレヨレだったという。えええ～、私は上から来たが誰も居なかった。洒水の滝方面から来たのだろうか？それとも先ほど鳥手山で会った方か。姿格好は似ていたが、ミステリーだった。



飛ばして足柄分岐。ここから矢倉まで150mが案外厳しい。時間はすでに12時を回った。昼食を終えた登山者がゾロゾロ下って来る。ようやく頂上着。無風快晴。報われる頂上だった。

男子班はゆっくり来たので着いたばかりとのこと。丁度よかった。のんびり昼食を頂いた。登山者は少なかった。何人か雪ダルマを作っている。一つ借りて記念撮影。

帰路は足柄峠まで上りが長い。峠から足柄駅に下る。今回のコースは、電車で来て縦走が出来るから充実した山が出来る。標高は低い山だが、なかなかの手ごたえ。

新しいコースを開拓出来て良かったです。





[返信・引用](#)  
[編集済](#)

## 2月6日(水)雨・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月6日(水)06時39分52秒

つづき

矢倉岳から来た登山者は一体何処に行ったのだろうか??  
ミステリーだった。ただ、女子が必ず上りで会う訳ではない。  
バリエーションの場合、登山道はないから、ある意味「自由」  
に歩ける。従って、多少コースはズレて会わなくてもおかしくはない。

鳥手山は、「とりでやま」でなく、「とでやま」と山頂標識にルビが  
ふってあった。この辺りは現地に来ないと分からないこと。頂上から  
ルートは、南に下る。東に見通しが良い大きな尾根がある。周りは杉  
木立なのでルート選択が難しい。ここはコンパス、スマホ地図で乗り切る。

最低コルから三角点・鷹落場に向かう。標高差は約200mの厳しい上り。  
洒水の滝に下るピークを巻くように上る。ここまではコースがあるようで  
階段が作られていた。雪はかなり深くなってきた。

ここまで男子三名が先行してきたが、女子は現在、鳥手山付近。  
男子三名で鷹落場を往復したが、余り先行もマズいので、二人に  
行ってもらい、私が女子班を途中まで迎えに行く。

つづく





## 2月5日(火)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月5日(火)06時09分17秒

つづき

鳥手山北ピークから鳥手山に着いた。ここで女子班に携帯を掛けると、尾根に取りついた、林道を二回横断したと妙なことを言っている。

妙というのは理由があって、本来女子が上る北尾根は林道がない。その情報を仲間に話すと、Mが「それは、こちらの尾根じゃない」と言った。

後で分かったが、北尾根付近に取りついたが結局、北西尾根に入ってしまったようだ。ま、ともかく無事でよかった。鳥手山ピークで何やら動いている。登山者だった。時間は10時20分。ずいぶん早い。

聞けば矢倉岳から来たという。何処から矢倉に上ったのか。眼鏡を掛けた中年だった。谷峨に下ると言った。しかし、後で同じコースを上った女子に聞いたら「会わなかった」と証言。何処に行ってしまったか。

登山は下りが難しい。上りは高いところを目指せば、いつかピークに着く。下りはそうは行かない。ピークで少し角度が違えば、あらぬ所に下ってしまう。

つづく







## 2月4日(月)曇・12度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月4日(月)05時53分3秒

土曜日は

箱根・矢倉岳(870m)北西尾根(仮称)でした。  
コースは、谷峨駅～畑～北西尾根～鳥手山(とでやま)  
～三角点・鷹落場～足柄峠分岐～矢倉岳～足柄峠～足柄駅。  
天気は、無風快晴。累計標高差=845m。参加者=6名。

久しぶりに電車で行く山。単線の御殿場線は、反対電車の待ち合わせで遅いことおびただしい。谷峨駅で下車。天気は無風快晴。よく冷えた朝だった。

矢倉岳北面は3年前、北尾根（仮称）を一度上った。今回は参加者が男子3名、女子3名だったので、地図読みを兼ねて、女子は初見の北尾根、男子も初見の北西尾根を上り、三角点の鷹落場で合流の計画を立てた。

駅から出発。女子班は早くもあらぬ方向に行ってしまった。男子班はスマホで下道をアプローチ。バリエーションは当然、案内板は一切ないので、案外とアプローチが分かりにくい。

早朝からダンプが行き交う、碎石場に至る埃っぽい道を進み、二つ目の橋から北西尾根に乗った。女子班はR246方面に行ってしまったので、戻るように連絡。

尾根はほとんど藪はなく、快適に上れた。林道を二回横断する。鳥手山北ピーク下から雪が出て来た。気温が低かったので適当に硬く、蹴とばしながらグングンと上った。

つづく







## 2月1日(金)晴・7度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年2月1日(金)05時05分56秒

一昨日は

フジテンでゲレスキでした。  
スキーは、今期初めて。

フジテンは、この周辺では貴重なスキー場。  
手軽で安価で、マアマア楽しめる。

水曜日は、レディースデーで2200ー。女性客が多かった。  
人工雪の割には、雪質が良かった。

久しぶりに飛ばして気持ち良かった。  
やっぱり、スキーはサイコーだ。

仲間は道具まで揃えたが、殆ど止めてしまった。  
こんなにイイスポーツを続けないのは分からない。

静岡県人はスキーをあまりやらない。  
そこは残念だね。







[返信・引用](#)

[編集済](#)

## 1月30日(水)晴・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月30日(水)06時28分41秒

伊豆の風景

小下田・最福寺のシダ。  
獅子頭か??

厳冬期でも青々としている、おめでたい(??!!)シダ。  
なかなか美しいです。





## 1月29日(火)晴・7度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月29日(火)06時16分25秒

八丁池

山行の帰り、丁度、その日開通だった天城北道路を通行した。下山し月ヶ瀬に来たのが、15時40分。開通は15時だったから、タイミングはバッチリ。

何故か北行はガラガラ。南行は物凄い渋滞。開通を待っていたと思われる。いつも混む出口付近をパスしてスイスイ。途中、正面に富士山が見えた。



新しい道路は自然破壊など問題がない訳ではないが、渋滞がないのは地域住民にとっても有難い。料金は修善寺までと同額だった。これで天城方面の山行・ウオーキングは楽になりますね。



## 1月28日(月)晴・6度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月28日(月)06時33分46秒

今朝は、結構、寒かった。

先週、土曜日は、天城・八丁池でした。

コースは、水生地下バス停～旧天城トンネル～旧天城峠～

トラバース道～八丁池～水生地歩道～林道～バス停。

天気＝晴れ。参加＝4名

久しぶりに八丁池が凍結したニュースで鑑賞に行く。

20年位前、会員のSが天城から帰らないで、翌日、

捜索に向かった。

その時、見事な凍結でピッケルで穴を空けたら、15cmほど

(手の親指から人差し指を広げたくらい)だった。勿論、乗ってもビクともしない氷だった。今回は、やや薄かったので沖には行けなかった。

8:00バス停発。旧天城峠からトラバース道を進む。

ブナ・ヒメシャラの冬枯れが見事。途中、放置されたワサビ田があった。

いつもは稜線を上るが、トラ道は案外と長い。

11時過ぎ八丁池着。三島の先客が三名。池は案外日当たりが良い。

南側の山影はしっかり凍っているが、北側は薄く水も見えた。20年前とは比べようもなかった。しかし、美しい。綺麗だった。

昼食を済ませ、池を一周した。八丁池名の由来は、池周が八丁＝約

870mから来ているといわれる。確かにその程度だろうか。簡単に

一周出来た。南側はカチンカチンの氷だった。雪が乗った部分は普通に歩けるが、無いところは滑って怖い。

中ほどに「諏訪湖の御神渡り」みたいな、クラックが伸びていた。

この時期、寒い日が続くが、季節を楽しみました。





## 1月25日(金)晴・8度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月25日(金)06時09分52秒  
土肥

丸山城址公園の土肥桜。  
見事な咲きっぷりでした。







[返信・引用](#)  
[編集済](#)

## 1月25日(木)晴・9度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月24日(木)07時03分31秒

昨日は

1月度・伊豆ジオパーク一周ウォーキングでした。  
コースは、恋人岬～小下田港～小下田～丸山城址（昼食）  
～松原公園～萬福寺～小土肥。天気は快晴、やや風あり。  
距離＝16km。参加者＝18名。

この時期、花が良いのでコースはランダムに行っている。  
今回の目的は「土肥桜鑑賞」。恋人岬から8:40出発。  
ところがトイレが施設内で使えない。9:00開館か。  
使えない施設だ!!!

岬で皆さん「I LOVE YOU」の指型で記念写真。  
小下田港に下降しトイレを済ませる。小下田に上がり、  
裏街道を歩く。この道はなかなかイイ雰囲気。富士山が  
見えそうで見えなかったが、ようやく顔を出した。

「○○○狩り」を楽しみ??!!!、丸山城址公園で昼食。  
素晴らしい桜が咲いていた。ここは風がなく暖かい。美味しい  
昼食をいただいた。

午後は満開の菜の花を見ながら松原公園着。無料サービスの  
桜葉茶をいただき、足湯で温まった。この先、原木といわれる

萬福寺の土肥桜を鑑賞。ほぼ満開は見事だった。

時間があつたので、小土肥先まで足を延ばし終了。今回は、見事な桜鑑賞ウォーキングでした。





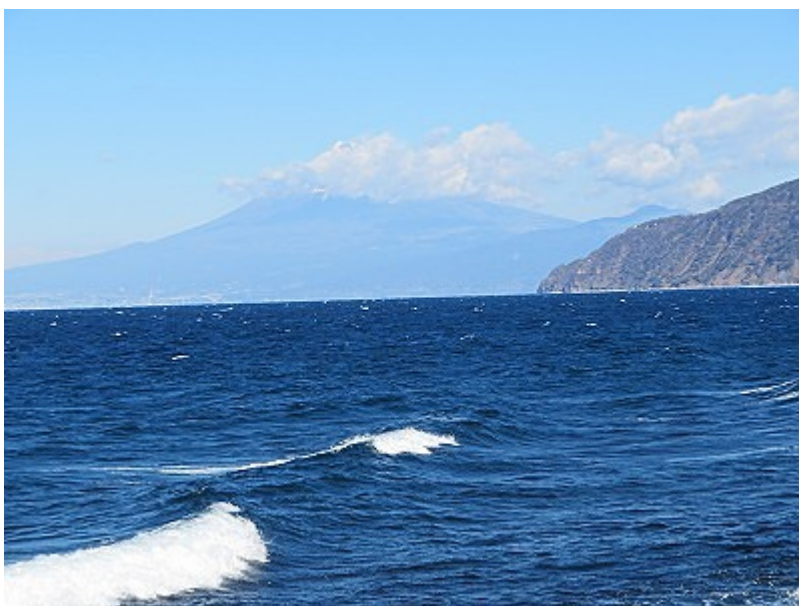
## 1月23日(水)晴・9度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月23日(水)05時00分51秒

昨日

土肥方面にウォーキングの下見で「土肥桜」を見に行ってきました。

「土肥桜」河津桜より早く咲くことで知られています。今年も順調で、なかなか良かったです。





[返信・引用](#)  
[編集済](#)

## 1月22日(火)晴・5度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月22日(火)06時03分37秒

先日

山の帰りに、朝霧高原で牛の大軍を見た。  
その数は半端でなかった。

多くの場合、立って草を食むシーンが多いが、  
今回は食事後なのか、皆さま寝そべってマッタリ。

快晴のフジヤマをバックに何とも、微笑ましい光景  
でした。







## 1月21日(月)晴・7度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月21日(月)09時03分39秒

先週

17日(木)は、恒例の八ヶ岳＝横岳(2829m)  
・ 杣添尾根でした。天気＝午前晴れ、午後ガス。  
標高差＝1142m。

事情があって3時起床、4時半発。久しぶりの朝駆けで  
眠い眠い。清里から更に進み、海ノ口別荘地発7:20。

今年はやっぱり全体的に雪は少ない。下部樹林帯を上る。

この尾根の樹林帯は長い。兎に角、寝不足で頭はボ～っとしている。今回は展望台（約2500m）で止めようかと思った。

ところが、9時50分、テント場に着き少し食べて暖かいお湯を飲んだ。すると何故か頭・体がシャキッとなった。理由は分からない。その後は、順調に歩が進んだ。

左手に12月上った赤岳・県界尾根が、まるで龍の背中のように持ち上がっていた。尾根も例年より雪は少なかった。お陰でブッシュ・灌木が覗き極めて歩きにくい。

それでも粘り強く上り続ける。上部が急激にガスって来た。最後の凍った斜面を上り切れれば縦走路に飛び出た。三叉峰の標識があった。

天気が急変したので、今回はここまでとした。朝駆けで来た割には頑張った。下りは早く楽。展望台で大休憩。上部は全く見えず風も強くなった。下山は良いタイミングだった。

例年上っている杣添尾根。雪はちょっと少なかったが満足な山でした。







## 1月16日(水)晴・9度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月16日(水)06時10分11秒  
登山靴を

新調した。今まで履いていたものは、

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page180.html>

2014年7月購入した同型のもの。約4年履いたが、随分傷んだ。

ほとんど、毎週使っている訳だから、よく頑張ったと

言えるだろう。調べてみたら、山行回数は、約200回だった。一般の方なら、経年劣化がなければ、おそらく10年は履けるかもしれない。

驚いたのが価格。今回はアマゾンで購入した。今回＝32,832円、前回＝38,000円、前々回＝35,985円。

今回以外は、スエデンで購入。全く同じものだが、送料はなし。如何に通販が安価か分かる。これでは小売店は潰れる訳ですね。







[返信・引用](#)  
[編集済](#)

## 1月15日(火)曇・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月15日(火)05時29分38秒

13日

は、日本勤労者山岳連盟・静岡県連盟の新年交流ハイキングが遠州・三岳山(467m)でありました。天気は無風快晴。参加は東部=44名、中部・西部=50名。

東部ブロック・七団体は毎回大型バスで参加。今回は一団体不参加だったが、44名を乗せて出発。快晴の東名を快適に走行。

9時過ぎ、引佐町総合運動公園から出発。初見の山で道を間違え30分ロス。正規コースに乗り急坂を上る。周りはミカン畑が続く。

初見の山の里山はコースが錯綜し選択が難しい。地元の方の浜松労山から地図と歩くルートが送られ、それを見て行くが中間部で間違え、ヤブ漕ぎを強いられた。

冷静に見て考えればそんなことは無かったが、地元の方のコースのアドバイスも間違っていたことも原因。まあ、何とか正規コースに出たが、皆さんの地図読みは、結果的には、大したことはなかった。(笑い)

何とか頂上着。陽光があふれ、展望が素晴らしい頂上だった。  
昼食を済まし、各会の挨拶、交流で下山。帰りはブラブラと  
「ミカン狩り」を楽しみながら下った。

一年一回の交流ハイク。それなりに楽しく充実したものでした。





## 1月11日(金)晴・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月11日(金)06時31分16秒

巡礼で

河津川堤防を歩いていたら、反対側の右岸河原に  
ドンドン焼き（ドンド焼き）の素屋が三基あった。

長泉は、最近では都市化が進み、なかなか見られなくなった。  
そもそも、場所がなくなった。

子供のころは、竹に刺した団子を持ち込み、焼いて食べた。  
また、素屋が荒らされないように、中で遊んだり、泊まったり（？）したものだ。

ドンドン焼きを知らない子供たちは、ちょっと寂しいね。





## 1月10日(木)晴・7度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月10日(木)06時43分39秒

昨日は

2019・初巡礼。1月度・伊豆札所巡礼でした。  
巡路は、伊豆横道・小峯堂～さわだ・涅槃堂～34番・三養院  
～35番・栖足寺～桜公園（昼食）～36番・乗安寺～37番・  
地福院～縄地バス停。天気＝無風晴。距離＝約16km。参加者  
＝22名。

209年・初巡礼。清新な心で臨む。天城峠は雪が舞っていた。  
往路バスで新年の抱負を述べあう。河津に下ると早くも、河津桜？



が濃いピンクの花を開いていた。

前回、最終の伊豆横道・小峯堂から出発。天気はハッキリしない。ただ、厳しい寒さではなかった。沢田の涅槃堂に寄る。ダラダラ上りで三養院着。お勤め後、住職と記念撮影。住職は「皆さんにお参りして頂くと、仏様が喜んでいるのが分かります」とエールを送ってくれた。

桜公園を経て、栖足寺着。住職が入り口で待っていてくれた。住職はいろいろ工夫して寺・地元を盛り上げている。住職の情報は時々、フェイスブックで覗いている。

昼食は桜公園でいただいた。足湯がうれしい。平日でも、やっているのが有難い。午後は、近くの乗安寺に寄り、旧道を下田に向かう。時間があって予定外の37番・地福院まで歩けた。

午後は天気が回復して、珍しく伊豆七島がハッキリ確認できた。今回は、初巡礼にふさわしい、とても気持ちが良い巡礼でした。





## 1月9日(水)晴・10度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月8日(火)19時20分18秒

つづき

2日目 12月29日(土)曇り霧・風は弱い・それほど低温でない  
起床5:00—小屋発6:15—八合目7:10—クラック岩  
7:48  
—オットセイ岩—甲斐駒頂上8:51—八合目9:41—七丈  
小屋10:  
20~11:00—駐車場15:29~17:00—尾白の湯—  
帰静

トップで小屋発。K・Oはラッセルを懸念して後発するといっていた。  
若い衆がジジ・ババのラッセルを当てにするようじゃ世も末だ。

通常、七丈小屋から八合はモーレツな風道で吹き溜まりが出来る。  
しかし、今年は少雪もあいまってラッセルは少なかった。  
八合から霧が深く薄暗く道が分かりづらい。

クラックの鎖場でテント泊の若者3名に抜かれた。聞けば、  
彼らは黄蓮谷クライミングの予定だったが、事情があってピークハント  
に変更したようだ。最近、若い衆に抜かれることが多い。

九合のオットセイ岩着。ただ、相方が弱気。気合・叱咤激励を入れる。  
先ほどの3名が下りてきた。頂上の祠が見え、ほどなく頂上着。



何回上っても、相変わらず苦しい山だった。

つづく



## 1月8日(火)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月8日(火)06時46分59秒

つづき

登山者は76歳といった。黒戸尾根は20代のころ一度来ただけという。驚いた。家族とか仲間とか、そんな行動を懸念しないのか。近年、単独の年配者の遭難事故は多い。

その後、同宿者と情報を交換。Oは、何と北沢峠まで縦走したいといった。しかし、黒戸尾根～甲斐駒は初見である。それを聞いた小屋番は、「大丈夫だよ、行けるよ」「みんな行ってるよ」と信じられない発言をした。

常識的に小屋番は、遭難防止・遭難救助などの業務も担う。いかに、登山者に安全で楽しい登山を提供するか、常に考える必要がある。そんな危険な登山を「煽るような」小屋番がいるだろうか??!! 若いだけで選んだ小屋番は問題がある。

私は思わず「やめた方がイイ」「登山で一番安全なのは、往復登山」「縦走は上っていない未知の部分で下降するので危険が大きい」「行くな、夏に歩いてからの方がよい」とアドバイスした。

結果、彼は往復登山にしたが、冬山の怖さを知らない登山者が多すぎる。ほとんど感覚は夏山気分なのだ。小屋番も事があれば自身が一番大変なはずだが・・・。

夜はゴーゴーと風が唸っていた。一昨年の仙丈ヶ岳、昨年の北沢峠～甲斐駒と

二年連続年末登山は強風で敗退している。今年もダメか、と一抹の不安が過った。

ただ、黒戸尾根は東面なので、ある程度風は避けられる。無事登頂を願った。

つづく





## 1月7日(月)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月7日(月)08時56分55秒

5日は

2019年・初登山で、天城・猿山(1000m)でした。  
河津七滝林道を進み、ゲートから登山開始。天気は、高曇り。

東尾根を上る。以前よりヤブは少なくなった。  
下部は大汗をかき、上部は風が強く、寒かった。

急登りをしのぎ頂上着。台風の影響か倒木が多かった。  
風が強いので南のコルまで下り昼食。

午後は鉢巻き道をたどるが、この道は以前に比べ荒れ放題  
で大変だった。あまり歩かれていないのだろう。GPSを  
出してルートを確認する始末。昔はこんなことはなかった。

ようやく東のコルに達した。本来、更に鉢巻き道を北に向かい  
萩ノ入川上部に降りるが、道が荒れていることが予想され、往路  
を下った。

1時間強で萩ノ入川着。林道を辿りゲート着。2019・初登山  
でしたが、イイ汗をかきました。







## 1月5日(土)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月5日(土)04時51分50秒

つづき

下山中の4名に会った。単独で黒戸尾根日帰りの方。ただ、七丈で退却。強風の中、登頂を果たしたアベック。黄蓮谷をやった36歳の単独。ライターが点火せず、昨夜は温かいものを食べれなかったという。もうじき子供が生まれるので、早く帰りたいと下山を急いだ。

岩場を越えると小屋は近い。13:39、七丈小屋着。14時前は早い到着。お客はまだ誰もいない。今日一番だった。以前の小屋は登山靴で入れたが、新しい管理人が改修して、

上がり框で靴を脱がなければならず、いささか不便。

登山客が多いときは、出発時、混雑は避けられない。

今までが余程便利と思うが・・・。

ホーリーが茶を出してくれた。以前は、お汁粉がサッと出た。

結局、今日の宿泊客は、時期がまだ早く、その時点で40代のK、奥様が地元の50代のOと我々の4名だった。小屋は寒く、いつものビアを飲む気はしなかった。持参のワインを飲み、まったり過ごした。

7時過ぎ、夕食を済ませる。小屋番がしきりに、今日はあと1名来るはずだと気を揉む。外はすでに暗くなった。

こんな遅く来る方がいるだろうか??そんな時、入り口でガタゴト音がしたかと思うと、雪まみれの単独登山客が現れた。聞けば駐車場を9時ころ出たという。それにしても時間が掛かった。しかも、ランプが切れて無灯で来たという。ランプが切れた場合、誰かに照らして貰わないと、電池交換等出来ない。単独はそれが叶わない。

つづく





## 1月4日(金)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月4日(金)06時19分8秒

つづき

アイゼンを装着し先行する。刃渡り上は更に風が強い。風上の右手中指が痛くて仕方がない。黒戸山下で後ろから足音が聞こえた。ホーリーだった。若い。脱兎の如く行ってしまった。

そのうち小屋番も来て抜き去って行った。五合に着いた。風が更に強くなった。

以前、五合には山小屋があった。

最後に利用したのは、2003年10月、日向八丁をやった時。

当時、小屋は傾き崩壊寸前だった。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page082.html>

昔、小屋番だった古屋義成氏は1999年亡くなった。初めて会ったのは、1967年11月、鋸をやった時。初めての甲斐駒だった。

口うるさくて暗い感じの方。古典的な山小屋番だった。その後も何度か会ったが、

良い印象はない。何故、あんなに排他的だったのか。

現在も農鳥小屋番は有名。ぶっきらぼうで温かい感じは皆無。

ネットでもかなり悪名だ。五合から幾つかの梯子・鎖場を上る。

一か所イヤらしい岩場がある。ここはいつも上り難い。

つづく





## 1月3日(木)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月3日(木)07時09分36秒

つづき

神社駐車場でK小屋番と助手の若い女性二名と会った。相方は小屋番と10月上った際、知り合った。何でも明日が何回目の誕生日という。小屋番は35～6歳で髭面だった。

女性二人は共に25～6歳。一人は蕪崎在住のホーリー(H?)と東京のGだった。

後で知ったが、K小屋番とGは以前、甲武信小屋で働いていたという。Gは私の山仲間、SのHPに顔写真が出ていた。小屋番達は先行した。



我々も出発。下空はまあまあだが、上空は時雨れて気温は低く、強い西風が吹いていた。

1 H程で小屋番に追いついた。しばし歓談。順調に上り、横手口分岐まで約2 H。手前の急坂が少雪で凍結してなく助かった。笹平を経て刃渡り着。再び小屋番達に追いついた。しかし様子がおかしい。G嬢が「悪寒が酷く、寒くてどうしようもない」言っていた。

ヤッケを着て温水を飲んだが改善しないようだ。結局、ここから降りることになった。体調が悪いのだろう。無理は禁物だ。

つづく





[返信・引用](#)

## 1月2日(水)晴・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月2日(水)05時48分37秒

### 裾野麗峰山の会山行報告書

文・写真 G

T

山行番 NO. 1799

日時 2018. 12. 27 (木) ~ 29 (土)

山域 甲斐駒ヶ岳 (2967m) 黒戸尾根

標高差 上り=駒ヶ岳神社駐車場約775m~七条小屋約2420m  
=約1645m

七条小屋約2420m~甲斐駒ヶ岳2967m=約5  
36m

下り=甲斐駒ヶ岳2967m~駒ヶ岳神社約775m=約2  
181m

1日目 12月28日(金)晴・気温低く強風

駒ヶ岳駐車場7:07—横手口分岐9:12—刃

渡り

8:05—五合目12:22—垂直の梯子13:

16

—七条小屋13:39(泊)

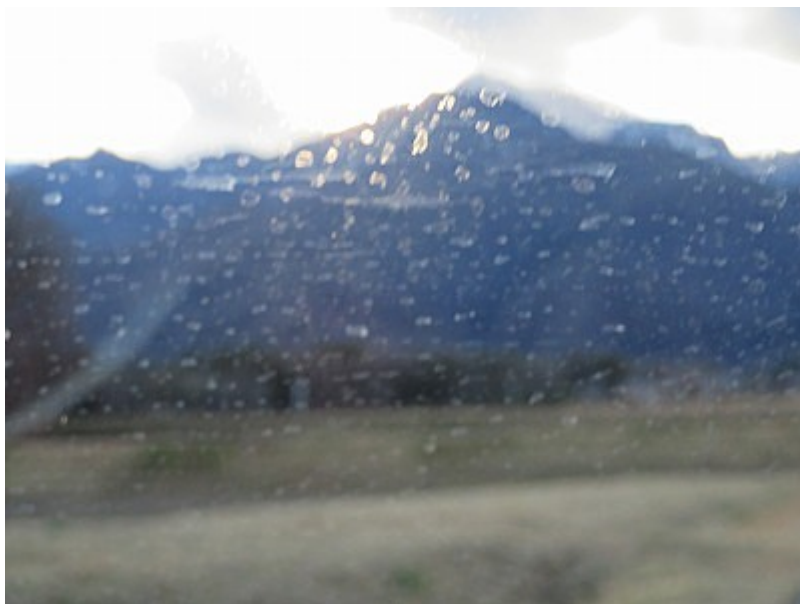
当初、年末の山は、霞沢岳西尾根だった。ただ、年末寒波来襲と近親者が入院中でやや危ない状態だったので山域を身近な山に変更した。甲斐駒なら有事の際もすぐ下山できる。



黒戸尾根を上げるのは久しぶり。最近、下ったのは2015年、日向八丁～甲斐駒～黒戸。あの時は厳しい山だった。一緒に上った三名中、二人が指を凍傷。一名は七条小屋からヘリで救助され、甲府中央病院に入院した。

二人はこれを契機に会から去った。痛恨の結果だった。

つづく





## 2019年1月1日(火)晴・12度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2019年1月2日(水)05時40分12秒

あけまして

おめでとう

ございます

本年もよろしくお願いたします。

2019・元旦





